

令和4年度  
水道事業統計年報

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

長野市上下水道局

# 目 次

## 第1章 機構と職員

1	上下水道局機構図	1
2	所属別・会計別職員配置状況	2
3	部門・性質別職員数、給与費の状況	3

## 第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

1	主な施設の状況	4
2	機械器具及び車両等の保有数	5
(1)	所属別車両保有台数	5
(2)	無線施設一覧表	5
(3)	給水タンク一覧表	5

## 第3章 水道事業

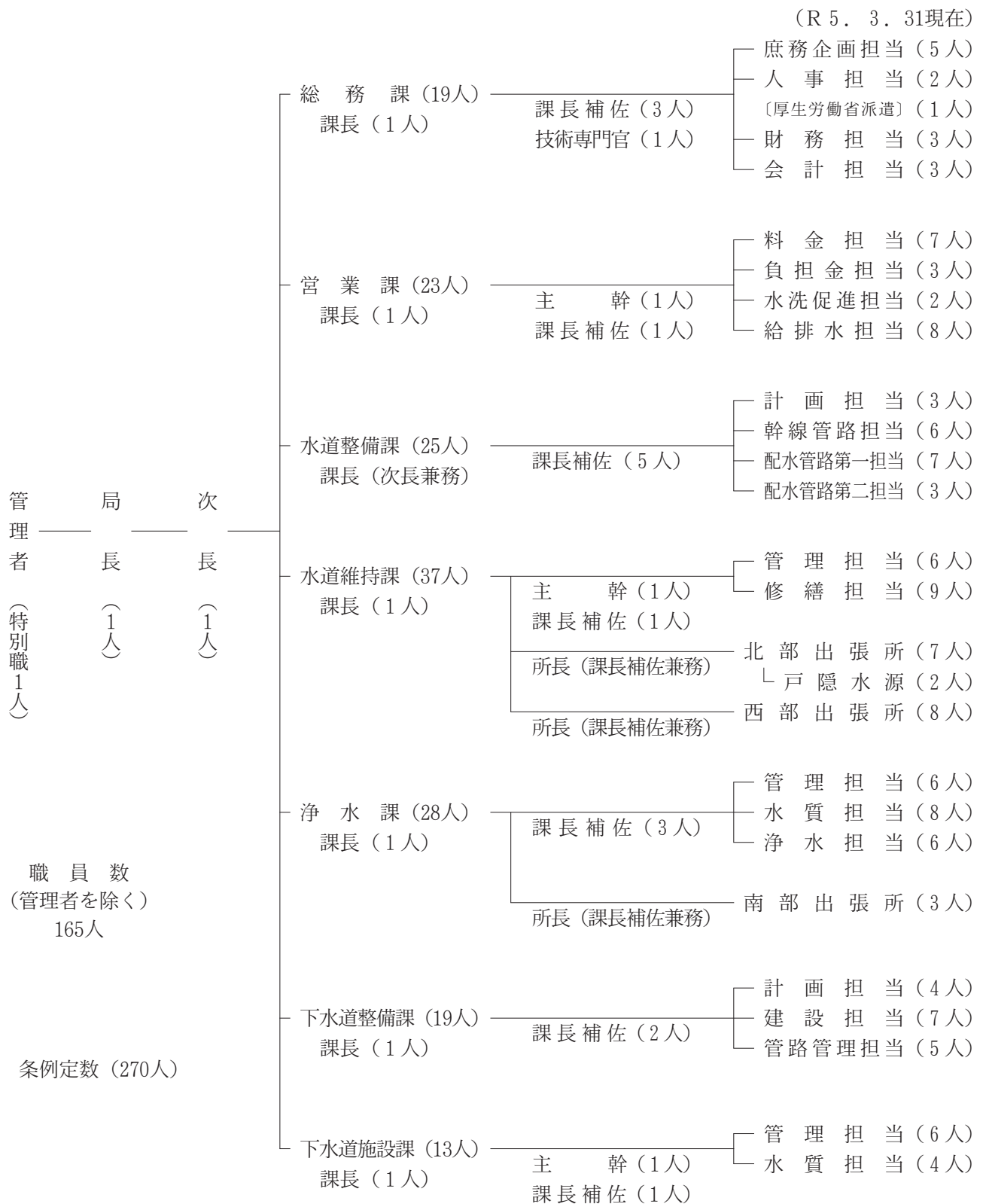
1	水道事業の概要	6
(1)	水道事業全体の概要	6
(2)	旧上水道事業の概要	7
(3)	旧簡易水道事業の概要	8
(4)	水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法	9
2	水道の沿革	11
(1)	長野市水道のあゆみ	11
(2)	沿 革	19
(3)	拡張事業の経過	21
(4)	送配水系統図	23
(5)	給水区域図	43
(6)	水系図	45
3	水道の維持管理統計	47
(1)	給水普及状況	47
(2)	各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）	47
(3)	各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水事業）	48
(4)	取水量及び配水量	49
①	取 水 量	49
②	配 水 量	50
1)	1日最大配水量及び平均配水量の推移	51
2)	月別1日最大・最小配水量	51
3)	配水量・有効水量・無効水量の内訳	52
4)	無収水量の内訳	52
5)	無効水量の内訳	52
6)	温度と配水量の関係	53
(5)	量 水 器	54
①	年度別量水器取付・取替工事	54
②	口径別設置個数	54

(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況	54
(7) 給水栓における苦情（処理）件数	55
(8) 漏水調査及び内訳	55
① 音聴調査	55
② 漏水調査・修繕状況	56
③ 「地下」漏水防止状況	56
(9) 薬品使用量	57
① パック年間使用量	57
② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量	58
③ 水道用消石灰年間使用量	59
④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量	59
⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量	59
⑥ 水道用活性炭年間使用量	59
(10) 動力用電力使用量及び料金	60
4 水道施設	61
(1) 導水管（路）布設延長（全地区）	61
(2) 導水管（路）布設延長（旧上水事業地区）	62
(3) 導水管（路）布設延長（旧簡易水道事業地区）	63
(4) 送・配水管布設延長（全地区）	64
(5) 送・配水管布設延長（旧上水道事業地区）	65
(6) 送・配水管布設延長（旧簡易水道事業地区）	66
(7) 各地区の水道施設	67
① 長野地区	67
② 松代地区	75
③ 若穂地区	78
④ 豊野地区	81
⑤ 戸隠地区	82
⑥ 鬼無里地区	85
⑦ 大岡地区	86
⑧ 信州新町地区	88
⑨ 中条地区	94
⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）	97
⑪ ポンプ場一覧	108
(8) 消火栓数	110
(9) ダムの概要	111
① 水源開発費（ダム負担金）とその財源	112
1) 裾花ダム	112
2) 奥裾花ダム関係	112
3) 大町ダム関係	113
5 経営状況	114
(1) 財務状況	114
① 水道事業決算報告書	114
1) 収益的収入及び支出	114
2) 資本的収入及び支出	115

② 損益計算書	116
③ 貸借対照表	116
④ 水道事業固定資産明細書	118
1) 有形固定資産	118
2) 無形固定資産	119
⑤ 収益費用構成	119
1) 収益構成	119
2) 費用構成	119
3) 性質別費用構成	120
⑥ 経営状況の推移	121
⑦ 資本的支出とその財源の推移	121
⑧ 費目別原価構成	122
⑨ 性質別原価構成	122
⑩ 供給単価と給水原価の推移	123
⑪ 経常収益と料金収入の推移	123
⑫ 一般会計繰入金の推移	124
⑬ 企業債の状況	124
1) 現況	124
2) 企業債の推移	125
3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表	126
4) 建設投資額に占める企業債比率の推移	127
⑭ 経営比較分析	128
⑮ 経営分析	129
⑯ 財務分析	129
(2) 水道料金	130
① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）	130
② 1戸当たり1カ月平均使用水量及び水道料金（税込み）	131
③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）	131
④ 水道料金収納状況（税込み）	131
⑤ 検針件数（隔月検針）	132
⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）	132
⑦ 水道料金表	133
(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）	134
① 概要	134
② 開催状況	135
③ 過去の答申内容（長野市水道料金等審議会時を含む）	135
(4) 主な委託業務（主として100万円以上）	140

# 第1章 機構と職員

## 1 上下水道局機構図



## 2 所属別・会計別職員配置状況

(R 5. 3. 31現在)

補職種名	局	技	次	事務職員						技術職員						技能職員					合計	会計年度任用職員			
				課長	主幹	課長補佐	専門員	係長	主査	主事	主事補	課長	主幹	課長補佐	技術専門官	土木専門員	係長	主査	技師	技師補			技術主任	水道技能員	主任
総務課	管理職	①			①	2①								1										3③	
	庶務企画担当									①	3①													3②	1
	人事担当								①	1							(1)							2①	
	財務担当								1	①	①													1②	
	会計担当								①		1①													1②	
(小計)	①			①	2①	1②	1②	4③				1			1								10⑩	1	
営業課	管理職			①	1						①													1②	
	料金担当						①	1	1①	②	1													3④	1
	負担金担当							②	①															③	
	水洗促進担当							②																②	①
	給排水担当							①					1	①	1②			1		①				3⑤	3②
(小計)			①	1	①	1⑤	1②	②	1	①		1	①	1②			1		①				7⑥	4③	
水道整備課	管理職													5										6	
	計画担当								1						1	1								3	1
	幹線管路担当														1	3	2							6	
	配水管路第一担当														2	2	3							7	
	配水管路第二担当														1	2								3	
(小計)			1			1							5	5	6	7							25	1	
水道維持課	管理職									1	1	3												5	
	管理担当							1							1	4								6	1
	修繕担当														1	5		2		1				9	1
	北部出張所														1	1	1	4						7	2
	戸隠水源																	1	1					2	
	西部出張所														1	3		2		1	1			8	1
(小計)						1			1	1	3			4	13	1	9	1	2	1			37	5	
浄水課	管理職										1	4												5	
	管理担当							1							4	1								6	1
	水質担当														4	2	2							8	1
	浄水担当														2	2	2							6	
	南部出張所														1	1	1							3	
(小計)							1		1	4				11	4	6	1						28	2	
下水道整備課	管理職									①	②													③	
	計画担当							①							①	②								④	
	建設担当														②	③	②							⑦	
	管路管理担当														②		③							⑤	③
(小計)							①		①	②				⑤	⑤	⑤							⑩	③	
下水道施設課	管理職									①	①	①												③	
	管理担当						①								①	③	①							⑥	
	水質担当														①	②	①							④	①
	(小計)						①			①	①	①			②	⑤	②							⑬	①
水道事業会計職員			1		3		4	3	4	1	2	1	12	1	1	20	24	15		11	1	2	1	107	13
下水道事業会計職員	①			②	①	②	⑦	⑤	⑤		②	②	③			⑧	⑫	⑦				①		⑤⑧	⑦
職員合計	1		1	2	4	2	11	8	9	1	4	3	15	1	1	28	36	22		11	1	3	1	165	20

※ ○書は、下水道事業会計負担職員

管理者を除く

※ 総務課人事担当の(1)は、厚生労働省への派遣職員

### 3 部門・性質別職員数、給与費の状況

水道

(R 5. 3. 31現在)

項目		年度					
		30	元	2	3	4	
職	損益勘定所属職員(A)	83人	83人	83人	81人	81人	
	内	原水関係職員	3	3	3	3	3
		浄水	24	24	24	23	23
		配水・給水	41	41	41	39	39
		検針・集金	0	0	0	0	0
		総務・管理	15	15	15	16	16
	資本勘定所属職員(B)	28人	27人	28人	26人	27人	
	職員計(A)+(B)	111人	110人	111人	107人	108人	
	対前年度比率	100.9%	99.1%	100.9%	96.4%	100.9%	
	指数・29年度=100	100.0	99.1	100.0	96.4	98.2	
員	非常勤	原水関係職員	0	0	0	0	0
		浄水	4	4	4	4	4
		配水・給水	6	6	5	7	5
		検針・集金	0	0	0	0	0
		総務・管理	1	3	2	2	4
	計	11人	13人	11人	13人	13人	
給与費	平均給料	329,588円	329,971円	331,707円	328,860円	336,922円	
	対前年度比率	100.7%	100.1%	100.5%	99.1%	102.5%	
	指数・29年度=100	101.0	101.1	101.4	100.8	103.0	
	職員1人当たり給与費年額	8,093千円	8,284千円	8,152千円	8,150千円	8,563千円	
	対前年度比率	100.8%	102.4%	98.4%	100.0%	102.5%	
	指数・29年度=100	102.8	105.2	103.5	103.5	106.7	
平均年齢	44才	45才	45才	45才	46才		
平均勤続年数	20年	20年	21年	21年	22年		

※ 給与費年額(税込)は給料、手当、法定福利費及び退職給与。

※ 管理者を含む。

## 第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

### 1 主な施設の状況

(R5. 3. 31現在)

名 称	所 在 地	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建 物 の 構 造	取得年月日
長野市上下水道局	長野市大字鶴賀緑町 1613番地	—	874.90	(市役所第二庁舎9階)	S62. 9. 1
水道維持課	〃 三輪1丁目2番49号	4,332	801.25	鉄骨陸屋根平屋・他3棟	H14. 9. 13
犀川浄水場	〃 差出南 3丁目10番1号	48,808	5,301.00	鉄筋コンクリート3階・ 他9棟	H13. 3. 31
夏目ヶ原浄水場	〃 大字平柴246番地	41,651.71	2,404.88	鉄筋コンクリート3階・ 地下1階・他3棟	S46. 3. 10
往生地浄水場	〃 大字西長野往生地 1220番地2	19,240	172.46	鉄骨平屋 鉄板葺・他2棟	S53. 5. 15
飯綱浄水場	〃 大字上ヶ屋 2471番地1	27,428	211.25	鉄筋コンクリート平屋	S48. 3. 31
浄水課南部出張所	〃 松代町清野 332番地1	3,927	402.29	鉄骨2階	H元. 11. 30
西条浄水場	〃 松代町西条3222番地	799	67.86	鉄筋コンクリート平屋	H27. 7. 31
豊栄浄水場	〃 松代町豊栄 1387番地2	1,783	261.00	鉄骨平屋 カラー鉄板葺・他1棟	S59. 3. 31
寺尾浄水場	〃 松代町柴302番地	4,005	155.31	鉄筋コンクリート平屋	H28. 3. 31
山内浄水場	〃 若穂保科 6259番地1547	1,318	92.87	鉄筋コンクリート平屋	H29. 3. 10
川合新田水源	〃 大字川合新田 2981番地	12,903	765.00	鉄筋コンクリート2階	H22. 6. 28
戸隠水源	〃 戸隠3105番地	155,377	68.98	木造平屋 鉄板葺	H13. 12. 18
堀浄水場	〃 豊野町浅野 998番地3	1,347.49	316.71	鉄骨2階・他3棟	H 8. 3. 15
西沖浄水場	〃 豊野町浅野 1060番地4	911.00	159.56	鉄骨コンクリート・他2 棟	S63. 3. 31
戸隠浄水場	〃 戸隠字向林 2428番地6	3,082.00	420	鉄骨コンクリート	H25. 12. 26
穂刈浄水場	〃 信州新町里穂刈 115番地1	1,084.00	135.11	鉄筋コンクリート平屋・ 他3棟	H 5. 7. 1
三ヶ野浄水場	〃 中条日下野 984番地4	1,575.00	429.00	鉄筋コンクリート地下1 階・地上1階	H11. 3. 31



## 2 機械器具及び車両等の保有数

### (1) 所属別車両保有台数

(R 5. 3. 31現在)

	乗用車	給水タンク車	ライトバン	軽	トラック	特 種	計
総 務 課	1 (※)						1
営 業 課				9⑦			9⑦
水 道 整 備 課			1	7⑥			8⑥
水 道 維 持 課	2	7⑥	3①	19⑩	1①		32⑱
浄 水 課			2	8②	1①		11③
下 水 道 整 備 課				6①			6①
下 水 道 施 設 課	1			3	4	1	9
合 計	4	7⑥	6①	52⑳	6②	1	76㉑

(※) はリース車輛

○書は、スピーカー機能搭載の広報車の台数

### (2) 無線施設一覧表

(R 5. 3. 31現在)

局 名	出 力	数 量	備 考
基 地 局	10 W	0 台	
移 動 局	10 W	0 台	
	5 W	0 台	
	1 W	0 台	
デジタルMCA 半 固 定	2 W	2 台	総務課、水道維持課
デジタルMCA 携 帯	2 W	34 台	総 務 課 1 営 業 課 5 水道整備課 2 水道維持課 14 浄 水 課 5 下水道整備課 5 下水道施設課 2
I P 無 線 機 携 帯	—	32 台	総 務 課 1 営 業 課 1 水道整備課 1 水道維持課 23 (北部 5、西部 6、戸隠 2) 浄 水 課 2 (南部 1) 下水道整備課 1 下水道施設課 3

### (3) 給水タンク一覧表

(R 5. 3. 31現在)

容 量	材 質	数 量
3 m <sup>3</sup>	ステンレス製	4 基
2 m <sup>3</sup>	〃	3 基
2 m <sup>3</sup>	アルミ製	5 基
1 m <sup>3</sup>	〃	2 基
500 ℓ	ポリエチレン製	17 基

## 第3章 水道事業

### 1 水道事業の概要

#### (1) 水道事業全体の概要

(R 5. 3. 31現在)

事業創設認可年月日		明治45年 6月14日		供用開始年月日		大正 4年 4月 1日		
法適用年月日		昭和28年 4月 1日		計画給水区域面積		191.35km <sup>2</sup>		
		計画給水人口				265,000人		
項目	年度	単位	令和 2年度	前年度比	令和 3年度	前年度比	令和 4年度	前年度比
	行政区域内人口	人		372,080	99.5%	369,652	99.3%	366,591
“ 世帯数	世帯		162,599	100.7%	163,228	100.4%	163,928	100.4%
給水区域内人口(A)	人		268,350	99.5%	266,466	99.3%	264,018	99.1%
“ 世帯数	世帯		120,037	100.7%	120,455	100.3%	120,843	100.3%
現在給水人口(B)	人		267,895	99.5%	266,017	99.3%	263,563	99.1%
“ 世帯数	世帯		119,846	100.7%	120,265	100.3%	120,644	100.3%
給水普及率(B/A)	%		99.83	同率	99.83	同率	99.83	同率
配水能力	m <sup>3</sup>		165,039	100.0%	165,030	100.0%	190,548	115.5%
一日最大給水量	m <sup>3</sup>		99,367	100.1%	100,067	100.7%	100,139	100.0%
一日平均給水量	m <sup>3</sup>		91,120	100.5%	91,160	100.0%	90,375	99.1%
一人一日最大給水量	ℓ		371	100.8%	376	101.3%	380	101.1%
一人一日平均給水量	ℓ		340	100.9%	343	100.9%	343	100.0%
年間総給水量(C)	m <sup>3</sup>		33,258,878	100.2%	33,273,301	100.0%	32,986,969	99.1%
年間総有収水量(D)	m <sup>3</sup>		28,542,826	100.4%	28,523,729	99.9%	28,149,496	98.7%
有収率(D/C)	%		85.8	0.2増	85.7	0.1減	85.3	0.4減
年間有効水量(E)	m <sup>3</sup>		29,800,498	100.5%	29,565,167	99.2%	29,081,732	98.4%
有効率(E/C)	%		89.6	0.3増	88.9	0.7減	88.2	0.7減
供給単価	円/m <sup>3</sup>		210.31	99.0%	211.89	100.8%	213.36	100.7%
給水原価	円/m <sup>3</sup>		175.73	95.8%	182.33	103.8%	182.43	100.1%
総収入(税抜)	千円		6,935,024	98.0%	6,946,734	100.2%	6,838,017	98.4%
総費用(税抜)	千円		5,517,293	94.8%	5,728,217	103.8%	5,615,994	98.0%
企業債残高	千円		30,560,191	100.2%	30,729,253	100.6%	30,436,994	99.0%
職員数	人		111	99.1%	107	96.4%	108	100.9%

※ 職員数には管理者を含む。

## (2) 旧上水道事業の概要

(R 5. 3. 31現在)

項目	単位	令和2年度	前年度 対 比	令和3年度	前年度 対 比	令和4年度	前年度 対 比
給水区域内人口(A)	人	258,667	99.5%	257,128	99.4%	254,947	99.2%
“ 世帯数	世帯	115,334	100.8%	115,825	100.4%	116,262	100.4%
現在給水人口(B)	人	258,328	99.5%	256,789	99.4%	254,598	99.1%
“ 世帯数	世帯	115,201	100.8%	115,692	100.4%	116,120	100.4%
給水普及率(B/A)	%	99.87	同率	99.87	同率	99.86	0.01減
配水能力	m <sup>3</sup>	155,814	100.0%	155,814	100.0%	180,714	116.0%
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	94,341	100.4%	95,196	100.9%	94,908	99.7%
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	86,440	100.6%	86,439	100.0%	85,487	98.9%
一人一日最大給水量	ℓ	365	100.8%	371	101.6%	373	100.5%
一人一日平均給水量	ℓ	335	101.2%	337	100.6%	336	99.7%
年間総給水量(C)	m <sup>3</sup>	31,550,656	100.3%	31,550,355	100.0%	31,202,725	98.9%
年間総有収水量(D)	m <sup>3</sup>	27,601,183	100.5%	27,604,437	100.0%	27,224,970	98.6%
有収率(D/C)	%	87.5	0.2増	87.5	同率	87.3	0.2減
年間有効水量(E)	m <sup>3</sup>	28,766,862	100.6%	28,548,746	99.2%	28,046,977	98.2%
有効率(E/C)	%	91.2	0.3増	90.5	0.7減	89.9	0.6減
供給単価	円/m <sup>3</sup>	209.85	99.0%	211.46	100.8%	212.93	100.7%
給水原価	円/m <sup>3</sup>	156.38	95.5%	163.01	104.2%	162.79	99.9%
総収入(税抜)	千円	6,391,382	98.2%	6,440,154	100.8%	6,362,584	98.8%
総費用(税抜)	千円	4,743,557	94.4%	4,955,593	104.5%	4,845,629	97.8%
企業債残高	千円	25,393,892	101.2%	25,802,484	101.6%	26,245,618	101.7%

## (3) 旧簡易水道事業の概要

(R 5. 3. 31現在)

項 目	単位	令和2年度	前年度 対 比	令和3年度	前年度 対 比	令和4年度	前年度 対 比
給水区域内人口(A)	人	9,683	97.0%	9,338	96.4%	9,071	97.1%
“ 世帯数	世帯	4,703	98.8%	4,630	98.4%	4,581	98.9%
現在給水人口(B)	人	9,567	97.1%	9,228	96.5%	8,965	97.1%
“ 世帯数	世帯	4,645	98.8%	4,573	98.4%	4,524	98.9%
給水普及率(B/A)	%	98.80	0.01増	98.82	0.02増	98.83	0.01増
配水能力	m <sup>3</sup>	9,225	100.0%	9,216	99.9%	9,834	106.7%
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	5,026	94.4%	4,871	96.9%	5,231	107.4%
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	4,680	97.7%	4,721	100.9%	4,888	103.6%
一人一日最大給水量	ℓ	525	97.2%	528	100.6%	583	110.4%
一人一日平均給水量	ℓ	489	100.6%	512	104.7%	545	106.4%
年間総給水量(C)	m <sup>3</sup>	1,708,222	97.4%	1,722,946	100.9%	1,784,244	103.6%
年間総有収水量(D)	m <sup>3</sup>	941,643	96.6%	919,292	97.6%	924,526	100.6%
有収率(D/C)	%	55.1	0.5減	53.4	1.7減	51.8	1.6減
年間有効水量(E)	m <sup>3</sup>	1,033,636	97.3%	1,016,421	98.3%	1,034,755	101.8%
有効率(E/C)	%	60.5	0.1減	59.0	1.5減	58.0	1.0減
供給単価	円/m <sup>3</sup>	223.93	99.6%	224.80	100.4%	225.93	100.5%
給水原価	円/m <sup>3</sup>	742.92	100.6%	762.64	102.7%	760.73	99.7%
総収入(税抜)	千円	543,642	95.9%	506,580	93.2%	475,433	93.9%
総費用(税抜)	千円	773,736	97.0%	772,623	99.9%	770,365	99.7%
企業債残高	千円	5,166,299	95.5%	4,926,769	95.4%	4,191,376	85.1%

## (4) 水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法

(R 5. 3. 31現在) (単位: m<sup>3</sup>/日)

地区	水 源	浄 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法
長野地区	犀川水源	犀川浄水場	33,420	14,000	伏流水 消石灰+塩素滅菌
			30,800	18,000	ダム水 急速ろ過+塩素滅菌
	裾花水源	夏目ヶ原浄水場	24,900	4,000	地下水 消石灰+塩素滅菌
			54,250	42,000	ダム水 急速ろ過+塩素滅菌
	川合新田水源		29,840	21,000	地下水 塩素滅菌
戸隠水源	飯綱浄水場 往生地浄水場	5,800	4,780	ダム水 緩速ろ過+塩素滅菌	
	小 計		179,010	103,780	
松代地区	寺尾水源	寺尾浄水場	5,029	4,200	地下水 エアレーション+塩素滅菌
	豊栄水源	豊栄浄水場	2,000	700	湧水・表流水 急速ろ過+塩素滅菌
	西条水源	西条浄水場	500	200	湧水・表流水 膜ろ過+塩素滅菌
	小 計		7,529	5,100	
若穂地区	塚本水源		2,000	1,400	地下水 塩素滅菌
	持者水源	持者浄水場	150	5	湧水 緩速ろ過+塩素滅菌
	笹平水源	山内浄水場	500	370	表流水 膜ろ過+塩素滅菌
	高岡水源	高岡浄水場	30	25	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
	小 計		2,680	1,800	
豊野地区	堀水源	堀浄水場	7,000	1,650	地下水 紫外線処理+塩素滅菌
	西沖水源	西沖浄水場	5,870	1,650	地下水 紫外線処理+塩素滅菌
	小 計		12,870	3,300	
旧上水道事業 計			202,089	113,980	
戸隠地区	戸隠水源	戸隠浄水場	(長野地区に含む)	(長野地区に含む)	ダム水 活性炭吸着+膜ろ過+塩素滅菌
	越水第3水源		678	95	地下水 塩素滅菌
	越水第4水源		1,440	215	地下水 塩素滅菌
	宝光社第1水源		336	319	湧水 塩素滅菌
	上野第1水源		60	13	湧水 塩素滅菌
	上野第3水源		290	244	地下水 塩素滅菌
	上野第4水源		1,663	360	地下水 塩素滅菌
	水景苑水源		25	22	地下水 塩素滅菌
	山入水源		17	5	伏流水 塩素滅菌
	宮浦水源		576	137	地下水 塩素滅菌
	谷沢水源		309	299	湧水 塩素滅菌
	銚子口水源		200	107	湧水 塩素滅菌
	下祖山第1水源		22	18	湧水 塩素滅菌
	下祖山第2水源		30	28	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢1号水源		111	111	湧水 塩素滅菌
小 計		5,757	1,973		
鬼無里地区	大清水水源		892	773	湧水 塩素滅菌
	タキノ沢水源		892	773	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢2号水源		62	62	湧水 塩素滅菌
	ひのき沢水源		20	12	湧水 塩素滅菌
	財又水源		343	78	湧水 塩素滅菌
	小 計		2,209	1,698	

地区	水 源	浄 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法
大岡地区	四ヶ村・五ヶ村水源		880	75	湧水 塩素滅菌
	中 牧 水 源		115	112	地下水 塩素滅菌
	小 聖 水 源		426	116	湧水 塩素滅菌
	大岡南部水源		75	20	地下水 塩素滅菌
	椈内南水源		432	30	地下水 塩素滅菌
	聖 山 水 源		1,210	508	地下水 塩素滅菌
	小 計		3,138	861	
信州新町地区	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195	2,143	伏流水 急速ろ過+紫外線処理+塩素滅菌
	花 倉 水 源		100	29	湧水 塩素滅菌
	鹿 道 水 源		95	95	伏流水 塩素滅菌
	日 名 水 源		78	77	伏流水 塩素滅菌
	橋 木 水 源		95	45	伏流水 塩素滅菌
	吐 唄 水 源		26	26	伏流水 塩素滅菌
	牧 田 中 水 源		123	52	湧水 塩素滅菌
	味 藤 水 源	味藤浄水場	144	69	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
	塩 本 水 源	塩本浄水場	158	39	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
	左 右 水 源	左右浄水場	30	23	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
	中 尾 水 源	中尾浄水場	12	5	伏流水 急速ろ過+塩素滅菌
	小 計		3,056	2,603	
中条地区	念仏寺沢水源	三ヶ野浄水場	1,200	862	表流水 膜ろ過+活性炭吸着+塩素滅菌
	不 動 滝 水 源	清水浄水場	173	52	湧水 膜ろ過+塩素滅菌
	清 水 水 源		86	34	
	臥 雲 水 源		51	13	湧水 塩素滅菌
	石 原 水 源		25	12	湧水 塩素滅菌
	下 条 水 源		45	26	湧水 塩素滅菌
	小 計		1,580	999	
旧簡易道事業 計			15,740	8,134	
合 計			217,829	122,114	
水源種別	ダ ム 水		90,850	64,780	
	表 流 水		1,700	1,232	
	伏 流 水		35,938	16,396	
	地 下 水		81,143	35,643	
	湧 水		8,198	4,063	
許可水量	犀 川 水 源	犀川浄水場	33,420		伏流水
			30,800		ダム水
	裾 花 水 源	夏目ヶ原浄水場	54,250		
	戸 隠 水 源	飯綱浄水場 往生地浄水場	5,800		
	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195		
	鹿 道 水 源		95		
	日 名 水 源		78		
	橋 木 水 源		95		
吐 唄 水 源		26			
合 計			126,759		

## 2 水道の沿革

### (1) 長野市水道のあゆみ

年 月 日	事 項
(1908) 明治41. 7. 6	長野市水道調査部設置
(1911) 明治44. 3. 20	水源地決定の件について審議
	4. 25 戸隠を水源とすることを決定
(1913) 大正 2. 3. 14	工事実施認可（往生地浄水場を建設）
	3. 30 上水道（戸隠）着工 費用835千円
(1915) 大正 4. 4. 1	給水戸数2,615戸、給水人口13,100人で給水開始（全国で28番目に開始）
(1922) 大正11. 8. 7	上水道布設について松代町会議決
(1924) 大正13. 12. 30	上水道布設工事竣工
(1928) 昭和 3. 2. 17	第1期拡張認可（犀川伏流水）
(1929) 昭和 4. 7. 9	夏目ヶ原浄水場（緩速ろ過池）竣工（犀川水源取水開始）
(1932) 昭和 7. 5. 12	社団法人日本水道協会設立に伴い加入
(1945) 昭和20. 11. 8	第2期拡張認可（野尻水源、岡田水源新設）
(1946) 昭和21. — —	往生地浄水場及び夏目ヶ原浄水場にて塩素滅菌開始
(1951) 昭和26. 11. 6	岡田水源竣工
(1952) 昭和27. 1. 14	野尻湖の河水利用に関する協定締結
(1953) 昭和28. 4. 1	地方公営企業法に基づき水道事業を営営するため長野市水道公社を設置
(1954) 昭和29. 2. 24	関川水系野尻湖並びに信濃川水系鳥居川の水の使用を承認される。
	11. 6 蚊里田浄水場竣工
(1955) 昭和30. 1. 1	町制を施行し豊野町水道計画を具体化
	9. 20 豊野町上水道（創設）事業認可 工事費59,000千円
(1956) 昭和31. 7. 20	七瀬水源竣工
(1957) 昭和32. 12. 12	第3期拡張認可（犀川水源、七瀬水源新設）
(1958) 昭和33. 10. 30	綿内村上水道竣工
(1959) 昭和34. 4. 1	道島浄水場沈澱池緩速ろ過池竣工
	9. 15 水道公社庁舎竣工（柳町）
	11. 20 川田村簡易水道竣工
	12. 5 保科村 ”
(1960) 昭和35. 3. 30	寺尾 ”
	4. 1 長野市水道局設置
	7. — 犀川浄水場急速ろ過運転開始（30,000m <sup>3</sup> /日）
(1961) 昭和36. 3. 20	西条簡易水道竣工
(1962) 昭和37. 2. 11	管理者 柳原正之 就任（S47. 7. 17退任）
	8. 22 第3期拡張変更認可（岡田水源廃止、更北、青木島、川中島拡張）
(1963) 昭和38. 12. 27	第4期拡張認可（犀川水源増設、川合新田水源、裾花水源新設）
(1964) 昭和39. 7. 14	戸隠水系導水路崩落による災害（有料道路関連）
	12. 26 里島発電所の水路を通じて取水することについての協定締結

年 月 日	事 項
(1965) 昭和40. 4. 1	夏目ヶ原緩速ろ過池使用中止
6. 1	裾花ダム建設に関する基本協定締結
(1966) 昭和41. 3. —	川合新田水源揚水開始
(1967) 昭和42. 3. 20	犀川浄水場急速ろ過拡張竣工
6. 1	四ヶ郷用水（善光寺土地改良区）から取水
12. —	メーター検満取替台帳電算処理開始
12. 20	長野市若穂上水道経営認可（保科、川田簡易水道統合）
12. 30	若松町加圧ポンプ場竣工
(1968) 昭和43. 1. 1	若穂上水道給水開始
3. 30	夏目ヶ原浄水場配水池（P C タンク9,600m <sup>3</sup> /日）竣工 水道料金計算の電算処理委託開始
10. 5	長野大橋 橋梁添架竣工（φ500mm）
(1970) 昭和45. 3. 31	裾花ダムの管理に関する協定締結（長野県88.6%、企業局8.7%、 長野市 2.7%）
7. 20	日本水道協会長野県支部の長野県水道協議会への合併に伴い、同協議会へ加入
(1971) 昭和46. 3. 31	第4期拡張変更認可（川合新田水源増量、芋井、浅川拡張）
6. 18	寺尾水源竣工
8. 9	犀川浄水場送水管φ600mm Y字管破裂（断水世帯数25,000戸）
10. 1	犀川浄水場前塩素処理開始
(1972) 昭和47. 3. 31	第5期拡張認可（奥裾花ダム参画、松代、若穂拡張、七瀬水源廃止）
4. 1	水道料金改定平均70%引上げ
4. 20	西山四地区拡張事業着手
6. 1	夏目ヶ原急速ろ過開始（夏目ヶ原浄水場竣工）
6. 9	裾花川上流総合開発事業に関する基本協定締結 （長野県 $\frac{908}{1000}$ ・企業局 $\frac{11}{1000}$ ・長野市、鬼無里村 $\frac{81}{1000}$ ）
7. —	犀川浄水場硫酸バンドより、P A Cに切替える。
7. 18	管理者 石川敏郎 就任（S59. 7. 17退任）
7. 20	豊栄水道配水池竣工（300m <sup>3</sup> ）
9. 30	寺尾第三水源竣工（480m <sup>3</sup> ）
(1973) 昭和48. 2. 15	飯綱高原専用水道施設の買収（60,000千円）
3. 26	寺尾配水池竣工（300m <sup>3</sup> ）
5. 1	夏目ヶ原浄水場前塩素注入開始
11. 30	関崎橋配水管添架竣工、屋島橋配水管添架竣工
(1974) 昭和49. 1. 21	大日池水源取水協定書締結
3. 30	第6期拡張認可（大町ダム参画 小田切・七二会・信更拡張）
3. 31	象山配水池竣工（722. 5m <sup>3</sup> ）
4. 1	飯綱浄水場給水開始
(1975) 昭和50. 3. 29	大日池水源竣工（500m <sup>3</sup> /日）
4. 1	水道料金改定平均50%引上げ



年 月 日	事 項
	6. 21 湯の瀬ダム費用分担及び管理に関する協定締結
(1976) 昭和51.	3. 28 川合新田水源増量竣工
	4. 1 水道料金改定平均27.2%引上げ
	5. 25 蚊里田浄水場高区配水池竣工
(1977) 昭和52.	7. 1 綿内地区配水系統を川合新田水系に切替える。
(1978) 昭和53.	5. 15 往生地浄水場配水池竣工 (4,160m <sup>3</sup> )
	7. 25 裾花ダム湖にカビ臭発生
	9 (～10) 小田切地区及び七二会一部地域に給水開始
(1979) 昭和54.	10. 6 綿内水源廃止、川田高区 低区配水池廃止
(1980) 昭和55.	10. 1 水道料金改定平均38%引上げ
(1981) 昭和56.	3. 2 湯ノ瀬～里島間隧道竣工
	8. 27 松代西条地区水利使用覚書締結 (500m <sup>3</sup> /日)
(1982) 昭和57.	3. 13 長野大通り共同溝築造に伴う配水管布設竣工
	3. 15 湯ノ瀬取水施設竣工
	3. 20 松代西条浄水場竣工
	4. 1 水道料金改定平均20.25%引上げ
	11. 26 豊栄地区水利使用覚書締結 (1,200m <sup>3</sup> /日)
(1983) 昭和58.	4. 1 信更地区、七二会残地区給水開始
	7. 12 第6期第1次変更認可 (大町ダムに伴う伏流水取水の新設、松代西条等の増量)
(1984) 昭和59.	2. 10 豊栄浄水場竣工
	3. 30 松代テレメーター設置
	東寺尾配水池竣工 (1,500m <sup>3</sup> )
	4. 27 長野運動公園緊急貯水槽竣工 (1,000m <sup>3</sup> )
	7. 18 管理者 岡村 修 就任 (S61. 3. 26退任)
	9. 20 寺尾水源拡張竣工
	10. 1 「使用水量のお知らせ」と「口座振替済のお知らせ」を併記し、検針員が配布する制度とする。
	12. 13 西山地区拡張竣工
(1985) 昭和60.	4. 1 機構改革により水道局を水道部、下水道部の2部制とする。 浅川総合開発事業 浅川ダム建設工事に関する基本協定締結 (工事費12,500,000千円 長野県 $\frac{972}{1000}$ 長野市 $\frac{28}{1000}$ )
	7. 13 梅雨及び台風6号により西部地区に災害発生
	7. 26 地附山地滑りによる大災害 (湯谷配水池流出)
	10. 16 大町ダム完成 (総事業費47,884,745千円)
(1986) 昭和61.	3. 27 管理者 峯村富太 就任 (H4. 3. 26退任)
(1987) 昭和62.	2. 1 西裾花台団地、地蔵平団地各簡易水道を廃止し上水道化する。
	3. 30 川合新田水源ポンプ増設 (8,000m <sup>3</sup> /日、4,000m <sup>3</sup> /日各1台)
	4. 1 機構改革により水道建設課は、水道建設課と浄水管理課に、松代営業所、若穂営業所は松代若穂管理事務所となる。

年 月 日	事 項
(1988) 昭和63. 12. 28	水道料金の郵便局自動払込み準備
1. 30	城山公園緊急貯水槽完成 (330m <sup>3</sup> )
2. 20	地附山地滑りにより流出した湯谷配水池を新設 (700m <sup>3</sup> )
3. 1	水道料金の調定事務処理オンライン化稼働
3. 10	若穂、松代連絡管布設 (φ400mm)
3. 31	犀川浄水場水道資料館完成 φ900mm配水本管裾花川伏越完成
4. 1	水道料金改定平均11.5%引上げ
4. 20	水道料金貯金口座 (自動払込) の取扱を開始 (9月納付分より実施)
(1989) 平成 元 3. 20	公益事業サービスコーナー開設に伴い、同コーナーにて転出入者の水道給水申込及び水道使用休止届事務を受付 (毎年3/20~4/10)
4. 1	消費税導入に伴う水道料金改正 (基本料金及び超過料金の合計額に100分の103を乗じた額)
12. 31	道島浄水場廃止
(1990) 平成 2. 3. 20	清野浄水場竣工
7. 11	第6期第2次変更認可 (犀川水源種別変更、取水地点変更)
12. 25	夏目ヶ原浄水場拡張工事竣工
(1991) 平成 3. 4. 21	日曜日、祝日の工事店待機制度開始
(1992) 平成 4. 3. 27	管理者 内田将夫 就任 (H10. 3. 31退任)
(1993) 平成 5. 3. 31	第7期拡張変更認可 (浅川ダム参画、浅川拡張、犀川浄水場拡張)
4. 1	3階建て建築物直結給水開始
7. 27	駅東口~長野運動公園間配水幹線 (φ700mm) 供用開始
9. 7	第1回ひとり暮らし老人宅の水道、下水道設備点検サービス実施
(1994) 平成 6. 3. 2	上野配水池から市東北部に給水を開始
3. 23	山内配水池増設
4. 1	松代、若穂地区の給水装置工事申請の受付事務を松代若穂管理事務所から業務課へ統合 修繕工事費に係る工事店に対する標準価格の指導を廃止 (上、下水道) 豊野町、戸隠村及び鬼無里村の水質検査を受託
8. 1	高温少雨による渇水のため、節水PRを実施 (チラシ全戸配布、ポスター、懸垂幕、屋外文字放送、節水コマの取付ほか)
8. 9	高温少雨による渇水 (裾花ダム貯水率20%を割る) のため渇水対策本部を設置 (9月14日まで)
12. 1	修繕等受付窓口を給水課へ一本化する。
(1995) 平成 7. 1. 24	兵庫県南部地震による被災地神戸へ水道施設復旧班を派遣 (2月28日まで延べ36人)
3. 20	湯谷ポンプ場移設完了
4. 1	通水80周年を迎える。 機構改革により松代若穂管理事務所が廃止され、総務課、料金課、設備指導課、水道整備課、浄水課、サービス課の6課となる。 水道局財務会計オンラインシステム稼働

年 月 日	事 項
	5. 1 水道料金改定平均8.62%引上げ（一般家事用及び業務用の用途区分及び基本水量を廃止し、口径別料金に改める）
	7. 11 梅雨前線豪雨による堀水水源水没事故
	7. 19 通水80周年記念式典挙行・通水80周年記念誌「暮らしの水の物語」発行 7. 28
	7. 28 通水80周年記念「毛利 衛さん講演会」開催
(1996) 平成 8.	3. 15 上・下水道ガイドブック発行
	4. 1 宅内修繕専門業者による24時間宅内修繕工事受付体制の導入
(1997) 平成 9.	1. 20 犀川系取水を表流水から伏流水に変更
	3. 1 パンフレット「長野市の水道」発行
	4. 1 消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の105を乗じて得た額）
	6. 1 水道週間行事として「水道水源地見学とそば打ち体験バスツアー」実施
	6. 6 水道週間行事として「水道使用者の意見を聞く会」実施
	8. 29 80周年記念公園「夏目ヶ原親水公園」竣工
(1998) 平成10.	4. 1 管理者 西澤清一 就任（H14. 3. 31退任） 川合配水池竣工（5,000m <sup>3</sup> ） 水道料金据置
(2000) 平成12.	3. 31 蚊里田低区配水池竣工（4,000m <sup>3</sup> ）
	4. 1 水道部と下水道部が統合され上下水道部となる。 機構改革により、設備指導課と下水道計画課が統合され下水道業務課となる。
	7. 5 市役所前Y字管破裂事故
(2001) 平成13.	3. 30 犀川浄水場低区配水池竣工（20,000m <sup>3</sup> ） 犀川浄水場更新事業完了
	4. 1 水道料金据え置き
	10. 31（～11. 1） 日本水道協会全国総会が長野市で開催される。
(2002) 平成14.	4. 1 管理者 甘利富雄 就任（H18. 3. 31退任） 機構改革により水道整備課とサービス課を統合し、配水管理課と同課サービスセンターを設置
	11. 5 水道防災給水拠点整備事業によりサービスセンター事務所を旧日本たばこ産業(株)長野支店事務所へ移転
(2003) 平成15.	4. 1 水道局財務会計オンラインシステム更新
	5. 30 早坂水源廃止
	10. - 上下水道料金のコンビニ収納及び郵便局窓口収納を開始（10月調定分から）
(2004) 平成16.	3. 31 機構改革により上下水道部を廃止
	9. 27 上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までを第一環境(株)に委託
	10. 1 機構改革により料金課を経営管理課と改称する。
	12. 27 第7期拡張事業認可変更届（豊野町水道の全部譲り受け）
(2005) 平成17.	1. 1 長野市と豊野町、戸隠村、鬼無里村及び大岡村が合併。豊野町水道を長野市水道に編入する。 戸隠村、鬼無里村、大岡村の簡易水道事業は市長部局（環境部環境管理課）で所管する。

年 月 日	事 項
8. 14	野尻水源からの取水を廃止する。(蚊里田浄水場の浄水処理停止)
(2006) 平成18. 4. 1	長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例を改正し、水道事業及び下水道事業に管理者を置かないこととする。(管理者の権限は市長が執行する) 機構改革により配水管理課サービスセンターをサービスセンターに、下水道業務課を業務課に改称する。
(2007) 平成19. 1. 15	犀川浄水場の運転管理に関わる業務を(株)ジャパンウォーターに委託
2. 14	水道水ペットボトル「戸隠の水」を製造
3. 1	パンフレット「長野市水道」発行
3. 29	夏目ヶ原送水ポンプ更新 (48,096m <sup>3</sup> /日、24,048m <sup>3</sup> /日 各1台)
4. 1	条例を改正し、長野市水道料金等審議会を「長野市上下水道事業経営審議会」へ改称する。
7. 20	7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」に際し、「日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、応援職員を柏崎市に派遣する。(漏水調査 7/20～7/30 延べ22名、復旧作業 7/23～7/31 延べ18名)
7. 23	同地震に際し、「災害等緊急時における出動協力に関する協定」に基づき、長野市水道工事協同組合加盟事業者を柏崎市に派遣する。(復旧作業 7/23～7/31 延べ90名)
(2008) 平成20. 3. 19	東寺尾配水池から清野浄水場への緊急時対応送水ルートが完成する。
4. 1	長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の改正により、水道事業及び下水道事業に上下水道事業管理者を設置するとともに、組織の名称を「長野市上下水道局」へ改称する。管理者 中村治雄 就任 (H24. 3. 31退任)
8. 29	浅野配水池竣工
10. 16 (～17)	日本水道協会中部地方支部合同防災訓練が犀川浄水場で開催される。 (富山県支部、新潟県支部、長野県支部合同)
12. 9	小瀬配水池(高区・低区)を廃止し、浅野配水池に切替える。
(2009) 平成21. 2. 1	長野市水道ビジョン(H21～H30)を策定公表する。
3. 31	第7期第一次変更認可(高岡浄水場膜ろ過設置)
4. 1	戸隠簡易水道、鬼無里簡易水道、大岡簡易水道事業を上下水道局へ一元化する。
7. 10	日本水道協会中部地方支部総会が長野市で開催される。
(2010) 平成22. 1. 1	長野市と信州新町、中条村が合併。信州新町簡易水道、中条簡易水道を上下水道局へ編入する。
3. 17	高岡浄水場膜ろ過設備竣工
3. 31	犀川浄水場 混合井・侵食性遊離炭酸除去設備竣工
4. 1	夏目ヶ原浄水場の運転管理に関わる業務を(株)ジャパンウォーターに委託 機構改革により浄水課松代若穂出張所を浄水課南部出張所に改称する。
6. 1	水道料金改定平均7.71%引上げ
(2011) 平成23. 3. 13	東日本大震災による被災地へ応急給水班を派遣(4月13日まで延べ18人)
3. 14	川合新田水源ポンプ設備竣工
3. 18	上野配水池次亜塩素酸注入設備竣工
4. 1	パンフレット「長野市水道」「水の大冒険」発行

年 月 日	事 項
4. 14	第7期第2次変更認可（堀水源と西沖水源に紫外線処理設備設置、及び西条浄水場と笹平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更）
10.	長野市上下水道局イメージキャラクター「みずなちゃん」制定
12. 21	川合新田水源配水池竣工（4,200m <sup>3</sup> ）
(2012) 平成24. 4. 1	管理者 高見澤裕史 就任（R 2. 3. 31退任）
4. 1	職員による宿日直業務を廃止し、シルバー人材センターに委託
5. 31	西沖水源紫外線処理設備竣工。西沖浄水場に名称変更
10. 1	犀川低区配水開始
12. 1	上下水道局公式ホームページ開設
(2013) 平成25. 3. 31	岩野水源からの取水を休止する。（清野浄水場の浄水処理停止）
4. 1	機構改革により経営管理課が廃止され、業務課を営業課に、配水管理課を水道整備課に、サービスセンターを水道維持課に名称変更する。
6. 1	水道料金改定平均7.86%引上げ
(2014) 平成26. 2. 3	戸隠浄水場供用開始
3. 31	川田水源を廃止する。
4. 1	消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の108を乗じて得た額）
9.	長野市水道ビジョン（改訂版）を策定し、公表する。
10. 1	上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までをシーデーシー情報システム(株)に委託
11. 22	神城断層地震により、上水道施設30箇所、簡易水道施設31箇所が被災した。
11. 29	神城断層地震により被災した白馬村へ応急復旧班を派遣（12月5日まで延べ45人）
12. 24	公益社団法人日本水道協会より「水道水質検査優良試験所規範（略称：水道G L P）」の認定を取得した。（JWWA-G L P115）
(2015) 平成27. 3. 31	「長野市水道百年史」刊行
4. 1	通水開始100周年を迎える。 各種100周年記念事業を実施する。 100周年記念水道水ペットボトル「長野の命水」を製造（犀川浄水場井戸水使用）
4. 1	「ながの水だより」創刊
7. 31	西条浄水場膜ろ過設備竣工
10. 28	長野市水道100周年記念式典
(2016) 平成28. 4. 26	平成28年熊本地震により被災した熊本市へ応急復旧班を派遣（5月6日まで延べ55人）
(2017) 平成29. 3.	長野市水道事業経営戦略（H29～H38）策定
3. 10	笹平浄水場膜ろ過設備竣工
3. 16	笹平浄水場を山内浄水場に名称変更
3. 28	第7期第3次変更認可（長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）の事業統合及び犀川浄水場の粉末活性炭注入設備の追加）

年 月 日	事 項
	4. 1 長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）を長野市水道事業に統合し一元化する。
	6. 1 水道料金改定平均5.49%引上げ
	11. 18 往生地浄水場が土木学会選奨土木遺産に認定される。
(2018) 平成30.	1. 29 寒波に伴う凍結被害に係る応援活動のため新潟市へ応急給水班を派遣（2月1日まで延べ54人）
	2. 22 第7期拡張第3次変更届（簡易給水施設等を給水区域に編入）
	3. 5 穂刈浄水場紫外線処理設備竣工
(2019) 平成31.	2. 13 西条配水池竣工（140m <sup>3</sup> ）
	3. 28 犀川浄水場取水施設竣工
令和元.	10. 1 消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の110を乗じて得た額）
	10. 13 東日本台風により豊野地区の西沖浄水場が浸水、若穂地区の笹平水源から山内浄水場間で導水管の流出など施設が被災した。
	10. 東日本台風により浸水した地区（長沼・豊野・古里・柳原地区）の被災建物に係る水道料金の減免
(2020) 令和2.	4. 1 管理者 上平敏久 就任
	7. 1 堀水源紫外線処理設備竣工、堀浄水場に名称変更
	12. 28 平柴配水池更新工事竣工（300m <sup>3</sup> ）
(2021) 令和3.	3. 1 水道料金収納にてスマートフォン決済を開始（PayPay・LINE Pay）
	3. 10 犀川浄水場活性炭注入設備竣工
	4. 1 水道料金の口座振替WEB申込サービスを開始（対象は一部金融機関）
(2022) 令和4.	2. 10 大岡地区聖北水源・聖北配水池廃止
	3. 15 蚊里田低区2号配水池竣工（1,000m <sup>3</sup> ）
	4. 1 長野市水道事業経営戦略（R4～R13）策定
	12. 1 中部電力ミライズ㈱と連携し「引越しおまとめ便」にて開閉栓受付を開始
	12. 5 第7期拡張第4次変更認可（犀川浄水場内の地下水予備水源の常時水源化）

## (2) 沿革

### 創設

長野市の水道は、明治44年に布設を計画し、大正2年工事実施認可を得て市の北西戸隠村に貯水池を築造してこれを往生地浄水場に導水し、計画給水人口60,000人、一日最大給水量5,800 $\text{m}^3$ /日で大正4年4月より給水を始めた。

### 第1期拡張

その後市勢の発展に伴い一人一日当りの使用量も増大し、大正12年7月より夏季には減断水を生ずる年が続いたため、昭和3年に拡張の認可を得て、犀川の伏流水を水源に6,800 $\text{m}^3$ /日の増を計画し、給水人口75,000人、一日最大給水量12,600 $\text{m}^3$ /日（既設戸隠水系5,800 $\text{m}^3$ /日、新設水系6,800 $\text{m}^3$ /日）で昭和4年3月に第1期拡張工事を完成した。

### 第2期拡張

昭和16年ごろから疎開工場等の設置により急激に使用量が増加し、水量不足を生じてきた。たまたま昭和18年長野県において鳥居川・野尻湖河水統制事業があり、本市もこの計画に参加したが、着工後2年で終戦を迎えたため、計画の練り直しが行われた。昭和27年1月9,600 $\text{m}^3$ /日の取水（ただし6月1日～9月10日は取水しない。）ということで関係者間の話し合いが付き、改めて工事を進め昭和29年11月に竣工した。その間、岡田にさく井して3,000 $\text{m}^3$ /日の確保をした。

### 第3期拡張

昭和29年近郊10ヶ村の合併があり、これを契機として拡張の必要を生じ、昭和32年12月、給水人口167,000人、一日最大給水量50,500 $\text{m}^3$ /日（既設戸隠水系12,000 $\text{m}^3$ /日、犀川水系12,000 $\text{m}^3$ /日、岡田水系3,000 $\text{m}^3$ /日、七瀬水系3,500 $\text{m}^3$ /日、新設犀川水系20,000 $\text{m}^3$ /日）で第3期拡張を計画し、昭和33年4月より昭和39年3月まで6ヶ年計画で、犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場の拡張を行い、七瀬にさく井し水源を確保した。

### 第3期拡張変更

第3期拡張認可の数年後、長野市と隣接する更級郡更北村大字青木島及び川中島町大字四ツ屋（現在の犀川浄水場附近）地区より、給水の要望があったので、当該町村長の同意を得て区域拡張計画をした。また併せて、往生地、杏花台、地附山、大峰山地区の拡張も計画し昭和37年8月22日認可を得て、昭和37年9月より着手し、昭和39年3月完了した。

なお、岡田水源は水質悪化のため、昭和35年より取水を

停止していたがこの認可申請に合わせて廃止した。

### 第4期拡張

第3期拡張終了後、商工業の発展に伴い人口が増加し、また生活水準の向上のため使用量が伸び、現有施設では給水が危ぶまれる状態となったので、給水人口186,000人、一日最大給水量93,000 $\text{m}^3$ /日（既設戸隠水系10,000 $\text{m}^3$ /日、犀川水系30,000 $\text{m}^3$ /日、七瀬水系3,000 $\text{m}^3$ /日、新設犀川水系30,000 $\text{m}^3$ /日、裾花川水系20,000 $\text{m}^3$ /日）で昭和38年12月に認可を得て翌39年4月より昭和47年4月まで8ヶ年計画で着手した。さらに補給水源として川合新田にさく井し13,000 $\text{m}^3$ /日の確保をした。

### 第4期拡張変更

その後周辺部の市街化による給水量の増加は、著しいものがあり、昭和45年度給水実績では一日最大量90,000 $\text{m}^3$ /日を示し、第4期拡張計画の修正を必要とする状態となった。さらに旧来簡易水道であった西部山間部の芋井地区及び浅川地区の一部地域の給水区域への編入と、川合水系（第2水源）に20,000 $\text{m}^3$ /日の増加を図ることを計画し、昭和46年3月認可を得た。

給水人口は197,000人、一日最大給水量は126,000 $\text{m}^3$ /日（既設戸隠水系10,000 $\text{m}^3$ /日、犀川水系30,000 $\text{m}^3$ /日、七瀬水系3,000 $\text{m}^3$ /日、新設犀川水系30,000 $\text{m}^3$ /日、裾花川水系20,000 $\text{m}^3$ /日、川合水系33,000 $\text{m}^3$ /日）である。

### 第5期拡張

裾花川上流総合開発に伴う奥裾花ダム建設計画に参画して32,250 $\text{m}^3$ /日を取水し、昭和41年度に合併した松代地区及び若穂地区内の上水道施設及び簡易水道施設の統廃合を図りながら、全戸上水道化を進めるため昭和47年3月31日第5期拡張事業認可を得た。

なお、七瀬水源は配水システムの合理化により、この認可申請に合わせて廃止した。

### 第6期拡張

信濃川水系高瀬川総合開発に伴う大町ダム建設計画に参画して、上水道用水として100,000 $\text{m}^3$ /日を取水し、山間部簡易水道施設地区の小田切、七二会及び信更の大部分、浅川の一部の各地区を全市上水道の一環として統廃合を図りながら、給水区域の拡張と急増する水需要に対処するための施設の充実と管網整備を目的とし、昭和49年3月30日第6期拡張事業認可を得た。

### 第6期拡張第1次変更

過去順調な伸びを示していた水需要が経済不況や節水意識の高揚等により、昭和53年以降低下傾向を示してきたので、高度経済成長期に計画した第6期拡張事業の見直しを行い、大町ダムの100,000 $\text{m}^3$ /日は当面必要な30,000 $\text{m}^3$ /日を伏流水で取水することにした。また、松代地区の西条、豊栄、寺尾の各水源の増量を図るとともに、浅川の坂中、西平、台ヶ窪、小田切の地蔵平、裾花台団地、七二会の中組の各簡易水道と戸隠村の一部を上水道区域に編入し、計画給水人口278,500人、計画一日最大給水量143,300 $\text{m}^3$ /日で昭和58年7月12日認可を得た。

### 第6期拡張第2次変更

第6期拡張第1次変更で予定していた事業のうち、大町ダムの100,000 $\text{m}^3$ /日の一部30,000 $\text{m}^3$ /日の伏流水取水については、ダムの完成の遅れと建設省との協議に時間がかかり実施が遅れていた。

平成元年4月に、農業用水からの取水が社会問題化したことにより、この早期解決のため建設省との協議の上、この伏流水取水を断念し当面必要な30,800 $\text{m}^3$ /日の表流水を既設小田切ダム及び農業用水路を使用し取水すべく認可の変更を申請し、平成2年7月11日認可を得た。

### 第7期拡張

1998年に長野市で開催される冬季オリンピックに伴う大幅な水需要の増加に対処するため、大町ダム参画により確保した100,000 $\text{m}^3$ /日のうち、残る69,200 $\text{m}^3$ /日を取水するとともに、浅川総合開発に伴う浅川ダム建設計画に参画して5,400 $\text{m}^3$ /日を取水し、中曽根、本郷の両簡易水道を給水区域に編入し、施設の拡張と管網整備を図るため、計画給水人口296,100人、計画一日最大給水量207,500 $\text{m}^3$ /日で平成5年3月31日認可を得た。

### 第7期拡張変更(届出)

平成17年1月1日に行われた長野市と一町三村(豊野町、戸隠村、鬼無里村、大岡村)との合併に伴う豊野町水道事業の全部譲受けにより、長野市水道事業(第7期拡張)の見直しを行い、計画給水人口307,300人、一日最大給水量214,315 $\text{m}^3$ /日のうち当面の計画として、計画給水人口277,000人、一日最大給水量129,500 $\text{m}^3$ /日で、平成16年12月27日に事業変更を届け出たのち受理された。

### 第7期拡張第1次変更

企業のコスト削減、人口の減少、節水意識の定着などにより水使用量の減少が続くことから、水需要計画の下方修正をするとともに、クリプトスポリジウムにより原水が汚染されるおそれのある高岡水源への浄水施設(膜ろ過)の設置と、一部給水区域の拡張を含めた事業計画の変更を行い、計画給水人口270,300人、一日最大給水量118,900 $\text{m}^3$ /日として平成21年3月31日認可を得た。

### 第7期拡張第2次変更

クリプトスポリジウムによる汚染のおそれがある堀水源と西沖水源に浄水施設(紫外線処理)を設置し、並びに西条浄水場と笹平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更し、計画給水人口273,000人、一日最大給水量114,100 $\text{m}^3$ /日で平成23年4月14日認可を得た。

### 第7期拡張第3次変更

5地区の簡易水道事業(戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条)の事業統合及び給水区域の一部拡張、浄水方法の変更として犀川浄水場における原水臭気(かび臭)の除去を目的に、粉末活性炭注入設備の追加を変更要件とし、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000 $\text{m}^3$ /日で平成29年3月28日認可を得た。

### 第7期拡張第3次変更(届出)

従来給水区域に含めていなかった民間経営の簡易給水施設(中曽根レイクニュータウン)等を給水区域に編入するものであり、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000 $\text{m}^3$ /日で平成30年2月22日に事業変更を届け出たのち受理された。

### 第7期拡張第4次変更

大雨による原水濁度の上昇やダムの浚渫工事及び導水路の改修工事等に伴い、大町ダム及び裾花ダムが取水不能となった場合に備えるため、犀川浄水場内にある予備水源9号井(深井戸)及び10号井(深井戸)を常時水源として新たに追加するものであり、計画給水人口265,000人、一日最大給水量109,000 $\text{m}^3$ /日で令和4年12月5日認可を得た。



(3) 拡張事業の経過

事業変遷	創設	第1期張	第2期張	第3期張	第3期変	第3期更	第4期張	第4期変	第4期更	第5期張	第6期張	第6期変	第6期更
戸	隠川	m <sup>3</sup> /日 5,800	m <sup>3</sup> /日 12,000	m <sup>3</sup> /日 12,000	m <sup>3</sup> /日 12,000	m <sup>3</sup> /日 32,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 10,000	m <sup>3</sup> /日 6,000
野尻湖			(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)
岡田			3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七瀬				3,500	3,000		3,000	3,000	3,000	0	0	0	0
川花							(13,000)	33,000	33,000	33,000	33,000	15,000	15,000
配水能力							20,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
松代								7,000	7,000	7,000	7,000	9,700	9,700
豊野								6,000	6,000	6,000	6,000	4,610	4,610
戸鬼													
大信													
州新													
町条													
条													
総配水能力	m <sup>3</sup> /日 5,800	m <sup>3</sup> /日 12,600	m <sup>3</sup> /日 27,000	m <sup>3</sup> /日 50,500	m <sup>3</sup> /日 47,000	m <sup>3</sup> /日 93,000	m <sup>3</sup> /日 126,000	m <sup>3</sup> /日 166,000	m <sup>3</sup> /日 259,000	m <sup>3</sup> /日 145,310	m <sup>3</sup> /日 143,300	m <sup>3</sup> /日 143,300	m <sup>3</sup> /日 143,300
1人1日最大給水量	ℓ 97	ℓ 168	ℓ 285	ℓ 300	ℓ 313	ℓ 500	ℓ 640	ℓ 664	ℓ 852	ℓ 515	ℓ 487	ℓ 487	ℓ 487
工事期間(起工～竣工)	大正2年1月～大正4年3月	昭和2年4月～昭和4年3月	昭和20年11月～昭和29年11月	昭和33年4月～昭和39年3月	昭和37年9月～昭和39年3月	昭和39年4月～昭和47年3月	昭和46年4月～昭和51年3月	昭和47年4月～昭和55年3月	昭和49年4月～昭和59年3月	昭和58年7月～平成元年3月	平成2年7月～平成6年3月	平成2年7月～平成6年3月	平成2年7月～平成6年3月
給水人口	人 60,000	人 75,000	人 95,000	人 167,000	人 150,000	人 186,000	人 197,000	人 250,000	人 304,000	人 278,500	人 283,300	人 283,300	人 283,300
認可費(千円)	835	620	6,350	360,000	406,678	1,430,000	4,183,000	6,400,000	25,400,000	17,400,000	8,400,000	8,400,000	8,400,000
実施(精算)	847	559	395,346	284,631	122,047	2,478,000	2,568,665	11,235,000	20,189,730	9,777,000	4,190,000	4,190,000	4,190,000
変更認可の主たる内容	①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種別の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の軽微な変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他	75,000人 12,600m <sup>3</sup> /日 犀川水源新設	95,000人 27,000m <sup>3</sup> /日 岡田水源新設	近郊10町村合併編入 167,000人 50,500m <sup>3</sup> /日 七瀬水源新設	長野市全域化 150,000人 47,000m <sup>3</sup> /日	犀川・榎花水源新設 186,000人 93,000m <sup>3</sup> /日	手井・浅川(一部)編入 197,000人 126,000m <sup>3</sup> /日 川合細(一部)水補給	松代・若穂編入 250,000人 166,000m <sup>3</sup> /日 松代・若穂水源新設 飯綱浄水場竣工	小田切・七二会編入 304,000人 259,000m <sup>3</sup> /日 大町ダム参画	一帯(御中・小田切・七二会)編入 278,500人 143,300m <sup>3</sup> /日 西条：緊急濾過 豊栄：急濾過	犀川(表流水に変更) 犀川(取水地点変更) 犀川(急濾過に変更)	293,300人 犀川(表流水に変更) 犀川(取水地点変更) 犀川(急濾過に変更)	293,300人 犀川(表流水に変更) 犀川(取水地点変更) 犀川(急濾過に変更)

事業変遷	第7期拡張計画		第7期拡張変更届		第7期拡張変更		第2次拡張変更		第7期拡張変更		第3次拡張変更届		第7期拡張変更		備考	
	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人	m <sup>3</sup> /日	人		
戸野尻湖	6,000 122,590	(9,600)	6,000 122,590	0	5,800 124,310	0	5,800 124,310	0	5,800 60,887	0	5,800 60,887	0	5,800 85,787	0	通年取水が出来ないため平成18年廃止	
岡田瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	水質悪化のため昭和35年廃止	
川花	15,000 50,000 4,900 6,800 2,610	0	24,000 47,000 0 8,605 4,024 7,420	0	24,000 50,000 0 8,918 4,289 6,800	0	24,000 50,000 0 8,918 4,289 6,800	0	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800 2,864 1,967 884 2,351 1,081	0	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800 2,864 1,967 884 2,351 1,081	0	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800 3,218 1,935 941 2,581 1,081	0	24,000 50,000 0 5,818 2,509 6,800 3,218 1,935 941 2,581 1,081	(浅川) 平成19年多目的ダムよ り治水ダムに変更のため 水源の廃止
配水能力	m <sup>3</sup> /日 207,900	ℓ 701	m <sup>3</sup> /日 221,159	ℓ 440	m <sup>3</sup> /日 224,117	ℓ 418	m <sup>3</sup> /日 164,961	ℓ 403	m <sup>3</sup> /日 164,961	ℓ 403	m <sup>3</sup> /日 164,961	ℓ 403	m <sup>3</sup> /日 190,470	ℓ 411		
1人1日最大給水量	701	468	440	418	403	403	403	403	403	403	403	403	411	411		
工事期間(起工～竣工)	平成5年4月 平成24年3月	平成17年1月 平成24年3月	平成21年4月 平成25年3月	平成23年4月 平成27年3月	平成29年4月 平成31年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月	平成30年4月 平成35年3月		
給水人口	296,100	307,300 (277,000)	270,300	273,000	273,000	273,000	273,000	273,000	273,000	273,000	273,000	273,000	265,000	265,000	豊野町との合併に伴う水道事業全部譲受け後の人口( )届出値	
事業費(千円)	38,800,000	(10,760,000)	8,974,572	14,858,925	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	446,800	( )届出値	
実施(精算)	36,060,000	(10,540,000)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
変更認可の主たる内容	①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種別の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の軽微な変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他	豊野地区編入 307,300人 214,315m <sup>3</sup> /日	270,300人 118,900m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	273,000人 114,100m <sup>3</sup> /日	265,000人 109,000m <sup>3</sup> /日	265,000人 109,000m <sup>3</sup> /日	豊野町との合併に伴う水道事業全部譲受け後の人口( )届出値	

### 3 水道の維持管理統計

#### (1) 給水普及状況

(R 5. 3. 31 現在)

区分	区分 世帯・ 人口	市 営 水 道		旧市営上水道	旧市営簡易水道	県 営 水 道 (※)	市・県営水道計
		世 帯 (世帯)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)
行政区域内		—	—	—	—	—	366,591
給水区域内 A		120,843	264,018	254,947	9,071	101,470	365,488
給 水 B		120,644	263,563	254,598	8,965	100,490	364,053
普 及 率 B/A (%)		99.84	99.83	99.86	98.83	99.03	99.61

※ 県営水道分は、長野県企業局水道事業課が算出した数値。

#### (2) 各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）

(R 5. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
長野地区（西山地区を含む）			松 代 地 区		
夏目ヶ原水系	23,303	51,093	東寺尾水系	3,621	7,939
上野水系	8,181	17,937	大日池水系	880	1,930
犀川水系	24,017	52,658	象山水系	1,508	3,306
松ヶ丘水系（小市）	1,499	3,287	象山第2水系	619	1,357
松ヶ丘水系（小田切・七二会）	1,103	2,418	西条水系	133	292
松ヶ丘水系（信更）	729	1,599	豊栄水系	675	1,479
往生地水系	14,048	30,802	計	7,436	16,303
蚊里田高区水系	4,517	9,904	若 穂 地 区		
蚊里田低区水系	2,506	5,495	川合新田水系（綿内）	3,194	7,002
湯谷水系	884	1,938	矢原水系	1,926	4,223
軍足水系（芋井）	683	1,498	引沢水系	410	898
高原第1水系（芋井・浅川）	668	1,465	保科水系	259	568
川合新田水系	17,256	37,833	山内水系	230	505
計	99,394	217,927	高岡水系	13	29
豊 野 地 区			持者水系	0	0
浅野水系	2,248	4,929	計	6,032	13,225
蟹沢水系	1,010	2,214			
計	3,258	7,143	合 計	116,120	254,598

※給水人口及び世帯数は、各水系ごとの配水流量実績を基に算出しており、別途水系図に示す水系区域内の人口とは異なります。

## (3) 各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水道事業）

(R 5. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
戸 隠 地 区			信 州 新 町 地 区		
戸隠水系（上楠川）	75	155	穂刈水系	1,296	2,607
戸隠・谷沢混合水系（平第1）	381	785	花倉水系	10	20
越水水系	75	155	鹿道水系	26	52
宝光社水系	102	210	日名水系	40	80
上野水系	371	765	橋木水系	19	38
水景苑水系	20	41	吐唄水系	14	28
山入水系	4	8	牧田中水系	57	115
宮浦水系	68	140	味藤水系	24	48
銚子口水系	65	134	塩本水系	29	58
下祖山第1水系	16	33	左右水系	14	28
下祖山第2水系	37	76	中尾水系	5	10
ほとば沢1号水系（鬼無里大沢）	68	140	計	1,534	3,086
戸隠水系（鬼無里品沢）	46	95	中 条 地 区		
計	1,328	2,737	念仏寺沢水系	601	1,182
鬼 無 里 地 区			不動滝・清水混合水系	83	163
大清水・タキノ沢混合水系	421	823	臥雲水系	19	37
ほとば沢2号水系	25	52	石原水系	4	7
ひのき沢水系	7	14	下条水系	30	59
計	453	889	計	737	1,449
大 岡 地 区			合 計		
四ヶ村五ヶ村水系	73	124	4,524	8,965	
中牧水系	105	179			
小聖・樺内南混合水系	64	109			
大岡南部水系	29	49			
聖山水系	201	342			
計	472	804			

※給水人口及び世帯数は、各水系ごとの配水流量実績を基に算出しており、別途水系図に示す水系区域内の人口とは異なります。

(4) 取水量及び配水量

① 取水量

取水能力 217,829m<sup>3</sup>/日 (単位: m<sup>3</sup>)

月	川合新田	犀川	夏目ヶ原	戸隠	戸隠浄水場 (旧簡水地区)	長野地区計 (旧簡水除く)	松代 (川合除く)	若穂 (川合除く)	豊野	合計 (旧簡水除く)
4	601,060	621,528	1,060,584	68,421	25,422	2,326,171	135,698	48,625	77,058	2,587,552
5	582,490	535,097	1,220,657	62,472	25,886	2,374,830	140,078	49,312	78,250	2,642,470
6	463,680	720,467	1,192,366	58,439	25,255	2,409,697	142,460	43,521	77,872	2,673,550
7	486,990	1,082,200	901,578	66,520	25,795	2,511,493	142,570	43,434	80,689	2,778,186
8	506,070	898,819	995,976	70,920	26,012	2,445,773	147,882	43,666	81,394	2,718,715
9	489,650	739,638	1,058,010	66,550	25,540	2,328,308	137,761	41,881	75,748	2,583,698
10	501,910	882,886	1,003,163	69,044	26,825	2,430,178	141,671	46,474	76,697	2,695,020
11	462,800	579,028	1,240,453	64,491	25,760	2,321,012	133,705	38,024	74,578	2,567,319
12	480,800	623,749	1,277,221	63,208	26,293	2,418,685	139,924	25,707	80,417	2,664,733
1	506,450	794,879	1,117,888	63,299	26,929	2,455,587	144,859	26,309	81,758	2,708,513
2	526,500	750,528	946,741	61,936	24,511	2,261,194	135,085	24,482	75,423	2,496,184
3	550,340	624,007	1,170,963	66,094	27,318	2,384,086	147,469	25,491	79,396	2,636,442
合計	6,158,740	8,852,826	13,185,600	781,394	311,546	28,667,014	1,689,162	456,926	939,280	31,752,382
月平均	513,228	737,736	1,098,800	65,116	25,962	2,388,918	140,764	38,077	78,273	2,646,032
日平均	16,873	24,254	36,125	2,141	854	78,540	4,628	1,252	2,573	86,993
前年度	7,510,770	9,529,424	11,017,816	780,685	309,748	28,528,947	1,441,857	537,613	980,559	31,488,976
対前年比	0.820	0.929	1.197	1.001	1.006	1.005	1.172	0.850	0.958	1.008

月	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条	合計 (旧簡水地区)	合計 (全地区)
4	67,165	44,175	11,389	59,937	20,910	203,576	2,791,128
5	69,160	46,416	11,654	59,207	23,121	209,558	2,852,028
6	65,191	44,982	11,557	58,579	23,839	204,148	2,877,698
7	63,319	46,496	11,656	61,057	25,379	207,907	2,986,093
8	64,504	46,297	11,473	60,964	24,675	207,913	2,926,628
9	61,401	44,722	10,313	53,721	22,876	193,033	2,776,731
10	65,135	47,044	10,189	59,858	23,376	205,602	2,900,622
11	62,733	45,745	10,425	56,268	21,403	196,574	2,763,893
12	62,262	46,500	11,711	57,213	21,980	199,666	2,864,399
1	64,664	46,184	11,239	54,403	22,342	198,832	2,907,345
2	60,404	43,870	10,662	48,045	19,865	182,846	2,679,030
3	69,202	44,686	9,966	51,301	21,250	196,405	2,832,847
合計	775,140	547,117	132,234	680,553	271,016	2,406,060	34,158,442
月平均	64,595	45,593	11,020	56,713	22,585	200,505	2,846,537
日平均	2,124	1,499	362	1,865	743	6,592	93,585
前年度	790,189	503,307	136,496	705,020	266,361	2,401,373	33,890,349
対前年比	0.981	1.087	0.969	0.965	1.017	1.002	1.008

② 配水量

配水能力 190,548 m<sup>3</sup>/日 (単位: m<sup>3</sup>)

月	川合新田			犀川			夏目ヶ原			往生地			蚊里田			飯綱			松代地区			若穂地区			豊野地区			旧上水道地区合計		
	川合新田	犀川	夏目ヶ原	往生地	蚊里田	飯綱	配水量	日平均	配水量 (川合まない)	日平均	配水量 (川合まない)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均	配水量 (川合含む)	日平均		
4	483,233	481,948	690,019	321,760	162,546	26,884	2,166,390	72,213	132,448	156,455	5,215	48,463	141,563	4,719	71,971	2,536,379	84,546													
5	459,487	527,928	713,605	341,487	165,444	28,772	2,236,723	72,152	136,715	162,565	5,244	49,150	145,559	4,695	73,181	2,618,028	84,453													
6	334,375	671,511	718,554	341,096	161,463	26,554	2,253,553	75,118	139,026	166,763	5,559	43,368	144,216	4,807	72,879	2,637,411	87,914													
7	350,687	704,574	728,351	346,734	166,015	29,874	2,326,235	75,040	139,286	169,610	5,471	43,266	148,501	4,790	75,722	2,720,068	87,744													
8	364,607	667,965	707,411	343,004	164,892	35,305	2,283,184	73,651	142,599	174,920	5,643	43,504	151,902	4,900	76,305	2,686,311	86,655													
9	356,308	630,553	670,201	327,913	156,399	30,556	2,171,930	72,398	134,527	160,997	5,367	41,730	147,882	4,929	70,723	2,551,532	85,051													
10	361,197	624,519	722,596	343,528	161,189	33,757	2,246,786	72,477	138,580	164,251	5,298	46,314	160,612	5,181	71,384	2,643,033	85,259													
11	332,059	535,261	774,675	322,312	151,312	29,151	2,144,770	71,492	130,904	158,372	5,279	37,880	140,433	4,681	69,151	2,512,726	83,758													
12	360,431	614,812	758,892	333,146	158,119	28,311	2,253,711	72,700	136,966	166,834	5,382	25,569	115,326	3,720	73,788	2,609,659	84,183													
1	385,013	686,837	683,181	340,501	163,821	30,680	2,290,033	73,872	139,121	174,813	5,639	26,180	111,181	3,586	76,073	2,652,100	85,552													
2	417,166	582,912	630,779	312,246	137,575	30,914	2,111,592	72,814	130,389	160,073	5,520	24,368	103,346	3,564	70,697	2,445,708	84,335													
3	432,190	625,496	661,795	338,783	138,474	32,336	2,229,074	71,906	144,434	177,265	5,718	25,370	109,945	3,547	73,486	2,589,770	83,541													
合計	4,636,753	7,354,316	8,460,059	4,012,510	1,887,249	363,094	26,713,981	-	1,644,995	1,992,918	-	455,162	1,620,466	-	875,360	31,202,725	-													
月平均	386,396	612,860	705,005	334,376	157,271	30,258	2,226,165	-	137,083	166,077	-	37,930	135,039	-	72,947	2,600,227	-													
日平均	12,703	20,149	23,178	10,993	5,171	995	73,189	-	4,507	5,460	-	1,247	4,440	-	2,398	85,487	-													
前年度	5,911,075	5,533,597	9,303,666	4,064,095	1,956,923	327,911	27,097,267	-	1,409,679	1,893,929	-	535,449	1,642,134	-	917,025	31,550,355	-													
対前年比	78.4%	132.2%	90.9%	98.7%	96.4%	110.7%	98.6%	-	116.7%	105.2%	-	85.0%	98.7%	-	95.5%	98.9%	-													

月	戸隠			鬼無里			大岡			信州新町			中条			合計 (旧簡水)			全地区合計		
	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条	合計 (旧簡水)	配水量	日平均	配水量	日平均	配水量	日平均	配水量	日平均	配水量	日平均	配水量	日平均	配水量	日平均	
4	42,194	26,023	10,227	44,708	18,659	141,811	2,678,190	89,273													
5	43,461	32,720	10,537	43,285	20,671	150,674	2,768,702	89,313													
6	41,552	33,899	11,149	43,526	21,434	151,560	2,788,971	92,966													
7	42,750	35,290	11,265	44,857	22,715	156,877	2,876,945	92,805													
8	46,354	32,511	11,054	45,893	21,852	157,664	2,843,975	91,741													
9	40,976	31,581	9,907	42,234	20,582	145,280	2,696,812	89,894													
10	42,788	33,096	9,753	43,435	21,154	150,226	2,793,259	90,105													
11	41,576	31,759	9,748	41,848	19,232	144,163	2,656,889	88,563													
12	41,966	32,761	11,196	44,969	19,793	150,685	2,760,344	89,043													
1	45,752	31,812	10,312	44,065	20,009	151,950	2,804,050	90,453													
2	42,963	28,845	10,013	39,078	17,641	138,540	2,584,248	89,112													
3	44,565	30,767	9,497	41,089	18,896	144,814	2,734,584	88,212													
合計	516,897	381,064	124,658	518,987	242,638	1,784,244	32,986,969	-													
月平均	43,075	31,755	10,388	43,249	20,220	148,687	2,748,914	-													
日平均	1,416	1,044	342	1,422	665	4,888	90,375	-													
前年度	507,946	311,905	130,434	532,873	239,788	1,722,946	33,273,301	-													
対前年比	101.8%	122.2%	95.6%	97.4%	101.2%	103.6%	99.1%	-													

参考

1 日最大配水量 (全地区)

1月27日	100,139 m <sup>3</sup>
長野	81,500 m <sup>3</sup>
松代	6,536 m <sup>3</sup>
若穂	4,074 m <sup>3</sup>
豊野	2,798 m <sup>3</sup>
戸隠	1,556 m <sup>3</sup>
鬼無里	1,046 m <sup>3</sup>
大岡	380 m <sup>3</sup>
信州新町	1,566 m <sup>3</sup>
中条	683 m <sup>3</sup>

8月4日	100,067 m <sup>3</sup>
長野	82,026 m <sup>3</sup>
松代	5,649 m <sup>3</sup>
若穂	4,796 m <sup>3</sup>
豊野	2,725 m <sup>3</sup>
戸隠	1,422 m <sup>3</sup>
鬼無里	667 m <sup>3</sup>
大岡	452 m <sup>3</sup>
信州新町	1,534 m <sup>3</sup>
中条	796 m <sup>3</sup>

総配水量の増減率  
 4年度 32,986,969 m<sup>3</sup>  
 3年度 33,273,301 m<sup>3</sup>  
 99.1%

1) 1日最大配水量及び平均配水量の推移

項目	年度		28		29		30		元		2		3		4		
	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	数値	対前年比	
水	155,504	100.0	165,039	106.1	165,039	100.0	165,039	100.0	165,039	100.0	165,039	100.0	165,030	100.0	190,548	115.5	
配水能力(A)	m <sup>3</sup> /日																
一日最大配水量(B)	m <sup>3</sup> /日	94,024	96.8	102,202	108.7	102,544	100.3	102,544	96.8	99,244	96.8	99,367	100.1	100,067	100.7	100,139	100.1
一日平均配水量(C)	m <sup>3</sup> /日	86,726	99.7	92,067	106.2	91,995	99.9	91,995	98.6	90,703	98.6	91,120	100.4	91,160	100	90,375	99.1
最大稼働率	(B)/(A) %	60.5%		61.9%		62.1%		62.1%		60.1%		60.2%		60.6%		52.6%	
施設利用率	(C)/(A) %	55.8%		55.8%		55.7%		55.7%		55.0%		55.2%		55.2%		47.4%	
負荷率	(C)/(B) %	92.2%		90.1%		89.7%		89.7%		91.4%		91.7%		91.1%		90.2%	

2) 月別1日最大・最小配水量

月	日	付	最大配水量	最高気温	日	付	最小配水量	最高気温
4	12	日	92,310 m <sup>3</sup>	27.1 °C	29	日	85,788 m <sup>3</sup>	15.4 °C
5	30	日	94,073 m <sup>3</sup>	32.7 °C	1	日	84,387 m <sup>3</sup>	11.9 °C
6	30	日	98,358 m <sup>3</sup>	34.4 °C	11	日	88,232 m <sup>3</sup>	24.6 °C
7	1	日	97,735 m <sup>3</sup>	34.6 °C	17	日	85,120 m <sup>3</sup>	31.9 °C
8	9	日	95,672 m <sup>3</sup>	36.0 °C	28	日	86,150 m <sup>3</sup>	24.1 °C
9	6	日	93,302 m <sup>3</sup>	33.2 °C	24	日	85,660 m <sup>3</sup>	22.8 °C
10	26	日	93,607 m <sup>3</sup>	16.7 °C	9	日	86,397 m <sup>3</sup>	18.1 °C
11	8	日	91,323 m <sup>3</sup>	15.7 °C	20	日	84,167 m <sup>3</sup>	11.9 °C
12	31	日	92,349 m <sup>3</sup>	6.3 °C	24	日	85,337 m <sup>3</sup>	0.9 °C
1	27	日	100,139 m <sup>3</sup>	0.5 °C	2	日	82,395 m <sup>3</sup>	4.0 °C
2	2	日	99,165 m <sup>3</sup>	2.9 °C	19	日	87,942 m <sup>3</sup>	8.7 °C
3	1	日	93,699 m <sup>3</sup>	17.4 °C	18	日	83,717 m <sup>3</sup>	5.2 °C

3) 配水量・有効水量・無効水量の内訳

(単位：人・m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	給水人口	配水量	有効水量						無効水量	率	
			有収水量の内訳		無収水量	合計	率				
			料金水量	事業用水量				率			
30	271,103	33,578,225	29,187,549	100	10,598	0	1,018,865	30,217,012	90.0	3,361,213	10.0
元	269,358	33,197,329	28,426,381	100	-	-	1,219,035	29,645,416	89.3	3,551,913	10.7
2	267,895	33,258,878	28,542,826	100	-	-	1,257,672	29,800,498	89.6	3,458,380	10.4
3	266,017	33,273,301	28,523,729	100	-	-	1,041,438	29,565,167	88.9	3,708,134	11.1
4	263,563	32,986,969	28,149,496	100	-	-	932,236	29,081,732	88.2	3,905,237	11.8

※平成29年度から、有収水量には他会計から収入のあった事業用水量を含む。

4) 無収水量の内訳

(単位：m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	無収水量	無収水量の内訳						
		局事業用水量		消防用等水量		災害減免水量		
		メーター不感水量	42.1	1,689	0.2	2	0.0	
30	1,018,865	587,701	429,473	42.1	1,689	0.2	2	0.0
元	1,219,035	574,301	409,329	33.6	4,030	0.3	231,375	19.0
2	1,257,672	573,452	585,506	46.6	1,444	0.1	97,270	7.7
3	1,041,438	572,680	429,674	41.2	1,698	0.2	37,386	3.6
4	932,236	565,887	363,250	39.0	1,412	0.1	1,687	0.2

※調定減額水量は、無効水量で集計

5) 無効水量の内訳

(単位：m<sup>3</sup>・%)

区分 年度	無効水量	無効水量の内訳			
		調定減額水量		不明水	
		197,520	3,163,693		94.1
30	3,361,213	100.0	5.9	3,163,693	94.1
元	3,551,913	100.0	8.1	3,263,270	91.9
2	3,458,380	100.0	3.6	3,333,508	96.4
3	3,708,134	100.0	3.0	3,597,880	97.0
4	3,905,237	100.0	3.7	3,760,372	96.3



## 6) 温度と配水量の関係

H30年度～R4年度

項目 月	年度	配水量			真夏日（一日の最高気温30℃以上）		夏日（一日の最高気温25℃以上）		真冬日（一日の最高気温0℃未満）		冬日（一日の最低気温0℃未満）		各月一日当たり平均気温
		総配水量（m <sup>3</sup> ）	H30年度比（%）	一日当たり平均配水量（m <sup>3</sup> ）	日数（日）	平年（日）	日数（日）	平年（日）	日数（日）	平年（日）	日数（日）	平年（日）	
4	30元	2,729,088	100.0	90,970	0		6		0		0		13.1
	2	2,697,726	98.9	89,924	0		1		0		6		9.7
	3	2,627,634	96.3	87,588	0	0.1	1	1.9	0	0.0	1	3.1	8.6
	4	2,711,392	99.4	90,380	0		0		0		3		10.7
5	30元	2,678,190	98.1	89,273	0		6		0		1		12.3
	2	2,790,735	100.0	90,024	3		13		0		0		16.8
	3	2,825,871	101.3	91,157	3		17		0		0		17.4
	4	2,727,682	97.7	87,990	1	1.4	17	11.6	0	0.0	0	0.0	17.7
6	30元	2,777,898	99.5	89,610	0		7		0		0		16.3
	2	2,768,702	99.2	89,313	2		14		0		0		16.3
	3	2,789,333	100.0	92,978	9		18		0		0		20.8
	4	2,754,249	98.7	91,808	3		18		0		0		20
7	30元	2,695,984	96.7	89,866	6	3.6	23	19.1	0	0.0	0	0.0	21.8
	2	2,736,586	98.1	91,220	2		27		0		0		20.9
	3	2,788,971	100.0	92,966	11		19		0		0		21.4
	4	2,997,427	100.0	96,691	24		29		0		0		26.8
8	30元	2,883,947	96.2	93,031	12		29		0		0		24
	2	2,765,573	92.3	89,212	3	15.3	26	27.8	0	0.0	0	0.0	22.9
	3	2,880,264	96.1	92,912	19		29		0		0		25
	4	2,876,945	96.0	92,805	23		31		0		0		25.6
9	30元	2,960,776	100.0	95,509	24		30		0		0		26.1
	2	2,938,654	99.3	94,795	19		30		0		0		26.6
	3	2,929,338	98.9	94,495	28	21.1	31	29.2	0	0.0	0	0.0	27.2
	4	2,876,419	97.2	92,788	22		28		0		0		25.7
10	30元	2,843,975	96.1	91,741	20		30		0		0		25.7
	2	2,707,922	100.0	90,264	2		13		0		0		20.2
	3	2,713,035	100.2	90,435	9		23		0		0		22.4
	4	2,759,907	101.9	91,997	10	5.9	20	18.5	0	0.0	0	0.0	22.7
11	30元	2,699,542	99.7	89,985	2		22		0		0		21
	2	2,696,812	99.6	89,894	12		24		0		0		22.5
	3	2,824,325	100.0	91,107	1		6		0		0		15.1
	4	2,773,176	100.2	89,457	2		5		0		0		16.4
12	30元	2,817,454	101.9	90,886	0	0.2	1	2.4	0	0.0	0	0.0	13.5
	2	2,816,173	99.7	90,844	0		10		0		0		15.2
	3	2,793,259	99.6	90,105	0		4		0		0		13.6
	4	2,728,036	100.0	90,935	0		0		0		2		9.1
1	30元	2,670,229	97.9	89,008	0		0		0		5		8.6
	2	2,696,153	98.8	89,872	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	4.6	8.9
	3	2,686,351	98.5	89,545	0		0		0		4		8.6
	4	2,656,889	97.4	88,563	0		0		0		0		9.6
2	30元	2,844,049	100.0	91,744	0		0		2		19		3.2
	2	2,788,835	98.1	89,962	0		0		0		22		3.3
	3	2,884,611	101.4	93,052	0	0.0	0	0.0	2	1.0	20	22.4	2.0
	4	2,846,665	100.1	91,828	0		0		5		24		2.1
3	30元	2,760,344	97.1	89,043	0		0		0		23		2.4
	2	2,842,608	100.0	91,697	0		0		1		31		△0.6
	3	2,754,954	96.9	88,869	0		0		0		20		2.8
	4	2,896,206	101.9	93,426	0	0.0	0	0.0	2	2.8	28	28.8	0.2
4	30元	2,886,498	101.5	93,113	0		0		6		30		△1.5
	2	2,804,050	98.6	90,453	0		0		3		29		△0.1
	3	2,589,928	100.0	92,497	0		0		3		24		1.2
	4	2,643,470	102.1	94,410	0		0		2		22		2.4
5	30元	2,612,294	100.9	93,296	0	0.0	0	0.0	0	1.3	25	25.4	2.1
	2	2,567,067	99.1	91,681	0		0		4		28		△0.7
	3	2,584,248	99.8	89,112	0		0		1		24		1
	4	2,773,998	100.0	89,484	0		0		0		15		5.3
6	30元	2,753,183	99.2	88,812	0		0		0		12		6.2
	2	2,846,042	102.6	91,808	0	0.0	0	0.0	0	0.1	11	18.4	7.4
	3	2,788,446	100.5	89,950	0		0		0		14		5.6
	4	2,734,584	98.6	88,212	0		0		0		10		8.3
計	30元	33,578,225	100.0	91,995	63		115		6		91		
	2	33,197,329	98.9	90,703	48		123		2		87		
	3	33,258,878	99.0	91,120	48	47.6	120	110.5	4	5.2	86	102.6	
	4	33,273,301	99.1	91,160	45		123		15		103		
	32,986,969	98.2	90,375	68		128		4		87			

※ 平年値は、1991年（H3年）～2020年（R2年）の30年間平滑平年値である。

(5) 量水器

① 年度別量水器取付・取替工事

(単位：件)

項目 年度	設置数	取替数	取替数の内容									
			直 営					委 託				
			計画 取替	不進行 破 損	計	位置 変更	ボックス 取替	計画 取替	不進行 破 損	計	位置 変更	ボックス 取替
29	136,207	14,512	7	192	199	0	6	14,283	30	14,313	42	252
30	136,999	18,422	8	156	164	2	7	18,199	59	18,258	40	169
元	137,832	25,707	1	127	128	0	0	25,527	52	25,579	40	212
2	138,499	10,593	5	176	181	0	0	10,400	12	10,412	21	198
3	138,992	22,440	7	186	193	0	0	22,229	18	22,247	34	169
4	139,539	19,620	1	76	77	1	0	19,513	30	19,543	21	168

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

② 口径別設置個数

(単位：個)

口径φ 年度	13	20	25	30	40	50	75	100	150	200	350	計
29	83,545 (61.34)	46,464 (34.11)	4,374 (3.21)	81 (0.06)	1,045 (0.77)	527 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	136,207 (100%)
30	83,485 (60.94)	47,299 (34.53)	4,373 (3.19)	99 (0.07)	1,044 (0.76)	528 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	136,999 (100%)
元	83,471 (60.56)	48,113 (34.91)	4,394 (3.19)	103 (0.07)	1,048 (0.76)	532 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	137,832 (100%)
2	83,135 (60.03)	49,098 (35.45)	4,401 (3.18)	114 (0.08)	1,045 (0.75)	536 (0.39)	133 (0.10)	31 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	138,499 (100%)
3	82,958 (59.69)	49,756 (35.80)	4,405 (3.17)	123 (0.09)	1,043 (0.75)	537 (0.39)	134 (0.10)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	138,992 (100%)
4	82,776 (59.32)	50,481 (36.18)	4,406 (3.16)	124 (0.09)	1,049 (0.75)	533 (0.38)	134 (0.10)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	139,539 (100%)

(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況

(単位：件)

項目 年度	給水装置工事	公 道 修 繕				計
		直 営		委 託		
		送・配水管	給水管	送・配水管	給水管	
29	1,338	6	294	74	610	984
30	1,436	2	267	57	448	774
元	1,463	14	324	105	546	989
2	1,442	14	271	77	454	816
3	1,472	20	258	79	461	818
4	1,268	16	282	81	421	800

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(7) 給水栓における苦情（処理）件数

項目 年度	出水不良	赤水濁度	異臭味	固形物	その他	計
29	72	50	2	7	55	186
30	52	29	3	13	51	148
元	53	25	0	8	58	144
2	43	28	1	9	62	143
3	39	39	2	14	39	133
4	37	94	16	6	43	196

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(8) 漏水調査及び内訳

① 音聴調査

区分 項目 年度	直 営 分				委 託 分			
	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件数	推定漏水量 m <sup>3</sup> /h	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件数	推定漏水量 m <sup>3</sup> /h
29	71.3	3,888	160	129.086	540.3	49,217	73	18.713
30	130.0	4,505	291	190.620	250.5	13,503	36	11.511
元	117.4	5,268	392	221.376	394.7	28,787	96	25.873
2	108.9	4,009	471	172.100	251.0	25,176	57	14.458
3	192.9	4,564	411	233.086	244.0	27,398	58	22.298
4	251.9	5,599	433	354.190	118.5	14,892	55	12.268

② 漏水調査・修繕状況 注<sup>1</sup>：調査件数に宅内分を除く

区分	直営分(漏調+維持[直営・緊急])										委託分(音聴調査)																					
	調査延長 km		給・配水管		弁・栓・量水器		小計		調査延長 km		給・配水管		弁・栓・量水器		小計		調査延長 km		給・配水管		弁・栓・量水器		小計		流量測定箇所		水压測定箇所					
月	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h	調査件数	漏水件数	推定水量 m <sup>3</sup> /h		
4	12	15	26.7	21	26.7	190	7	0.21	205	28	26.91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
5	6	19	9.4	17	9.4	222	13	0.84	241	30	10.24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
6	14	92	23.2	30	23.2	251	19	1.75	343	49	24.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
7	41	33	20.5	27	20.5	471	16	0.55	504	43	21.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
8	16	28	33.41	29	33.41	965	13	9.68	993	42	43.09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
9	17	13	9.7	25	9.7	728	8	0.33	741	33	10.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
10	19	16	23.9	34	23.9	582	21	15.07	588	55	38.97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
11	41	10	12.7	19	12.7	465	15	7.44	475	34	20.14	66.485	5	1.57	9584	11	0.374	9589	16	1.944	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
12	18	13	50.7	14	50.7	439	12	7.34	452	26	58.04	52.039	21	10.04	5282	18	0.284	5303	39	10.324	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		
1	20	22	70.9	30	70.9	393	17	3.39	415	47	74.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
2	34	12	11.4	9	11.4	420	12	5.24	432	21	16.64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		
3	14	8	6.9	14	6.9	192	11	2.94	200	25	9.84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
計	252	281	299.41	269	299.41	5,318	164	54.78	5,599	433	354.19	118.5	26	11.61	14,866	29	0.658	14,892	55	12.268	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0		

※年間漏水防止水量 約 818,931 m<sup>3</sup>

[うち委託分 約 53,881 m<sup>3</sup>]

[うち直営分 約 765,050 m<sup>3</sup>]

委託分(年間漏水防止水量=防止水量×24時間×183日)

直営分(年間漏水防止水量=防止水量×24時間×90日)で計算

③ 「地下」漏水防止状況

種別	漏水防止状況				計	
	直営分		委託分			
項目	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h
月	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h	修繕件数	防止水量 m <sup>3</sup> /h
4	28	26.91	0	0	28	26.91
5	30	10.24	0	0	30	10.24
6	49	24.95	0	0	49	24.95
7	43	21.05	0	0	43	21.05
8	42	43.09	0	0	42	43.09
9	33	10.03	0	0	33	10.03
10	55	38.97	0	0	55	38.97
11	34	20.14	16	1.944	50	22.084
12	26	58.04	39	10.324	65	68.364
1	47	74.29	0	0	47	74.29
2	21	16.64	0	0	21	16.64
3	25	9.84	0	0	25	9.84
計	433	354.19	55	12.268	488	366.458

(9) 薬品使用量

① パック年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	長野地区				松代・若穂地区				中条地区				合計			
	夏目ヶ原		犀川		使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
	使用量	注入率	金額	使用量												
元	282,925	33.07	8,110,600	196,723	31.04	5,639,444	3,230	-	302,770	2,400	-	197,600	485,277	-	-	14,250,414
2	316,282	31.99	9,497,942	180,077	35.14	5,407,724	2,902	-	276,610	1,566	-	119,016	500,828	-	-	15,301,292
3	346,588	31.46	10,408,035	176,086	36.97	5,287,872	2,805	-	235,841	1,937	-	96,855	527,416	-	-	16,028,603
4	390,918	29.65	13,674,299	194,834	31.87	6,815,286	3,268	-	251,236	2,066	-	227,260	591,086	-	-	20,968,081

② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場	長 野 地 区								
	川 合 新 田			犀 川			夏 目 ケ 原		
年度	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	31,480	0.39	2,813,691	131,249	2.07	6,723,897	120,208	1.40	6,158,235
2	29,360	0.38	2,648,245	120,724	2.36	6,241,426	138,451	1.40	7,157,922
3	31,665	0.42	2,856,138	119,383	1.25	6,172,117	135,712	1.23	7,016,305
4	25,595	0.42	2,449,480	127,298	1.44	7,281,440	142,683	1.08	8,161,459
浄水場	長 野 地 区								
	往 生 地			飯 綱			上 野 配 水 池		
年度	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	26,993	2.25	2,795,136	4,300	1.20	609,289	1,700	0.14	389,130
2	20,239	1.96	2,114,965	3,740	1.19	698,565	1,740	0.07	401,940
3	2,270	0.12	237,215	4,500	1.27	789,799	1,572	0.07	363,155
4	7,893	0.20	868,252	5,040	1.28	1,094,551	1,968	0.09	476,232
浄水場	長 野 地 区			松 代 地 区			若 穂 地 区		
	蚊 里 田 配 水 池			使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
年度	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	—	—	—	5,106	0.73	949,438	5,888	0.53	1,170,525
2	—	—	—	7,569	0.86	1,284,956	6,063	0.50	1,205,861
3	—	—	—	9,838	0.80	1,563,501	5,147	0.41	874,585
4	1,824	0.10	441,360	11,218	0.78	1,802,570	6,350	0.54	1,063,978
浄水場	豊 野 地 区			戸 隠 地 区			鬼 無 里 地 区		
	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
年度	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	5,774	0.57	789,882	3,800	—	949,640	2,220	—	452,011
2	5,322	0.55	734,657	3,490	—	814,502	2,140	—	499,211
3	5,690	0.58	785,463	3,880	—	966,120	1,980	—	492,535
4	5,566	0.59	798,999	3,790	—	966,900	2,240	—	458,622
浄水場	大 岡 地 区			信 州 新 町 地 区			中 条 地 区		
	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
年度	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	1,100	—	306,700	6,700	—	1,661,040	3,000	—	728,540
2	1,235	—	339,625	6,743	—	1,642,729	3,112	—	773,256
3	1,430	—	357,650	5,434	—	1,199,426	2,690	—	599,143
4	1,329	—	345,540	6,191	—	1,440,860	3,374	—	801,280
浄水場	合 計								
	使用量	注入率	金 額						
年度	使用量	注入率	金 額						
元	349,519	—	26,497,154						
2	349,928	—	26,557,861						
3	331,190	—	24,273,152						
4	352,359	—	28,451,523						

③ 水道用消石灰年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	犀 川		
	使用量	注入率	金 額
元	23,573	4.65	950,695
2	18,007	3.58	762,605
3	25,750	5.40	1,090,496
4	13,296	4.85	577,707

④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	犀 川		
	使用量	注入率	金 額
元	755	0.02	18,441
2	0	—	0
3	0	—	0
4	872	0.03	51,288

⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量

(単位：kg・円)

浄水場 年度	夏 目 ケ 原		
	使用量	注入率	金 額
元	1,182	0.14	90,194
2	1,425	0.14	109,748
3	874	0.08	67,267
4	2,179	0.17	203,707

⑥ 水道用活性炭年間使用量

(単位：kg・円)

浄水場 年度	犀 川			夏 目 ケ 原		
	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
元	—	—	—	0	—	0
2	—	—	—	2,128	—	414,960
3	25,790	5.42	5,248,326	6,072	0.55	1,268,985
4	0	0	0	2,860	0.217	607,093

## (10) 動力用電力使用量及び料金

(電力量 単位：kw) (料金 単位：円)

年度	① 長野地区計						② 西山地区計					
	電力量			料金			電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	11,614,989	97.79	31,735	210,774,811	98.4	575,887	843,337	99.28	2,304	17,949,712	100.64	49,043
2	11,365,614	97.85	31,182	188,980,948	89.66	518,769	838,359	99.41	2,298	16,644,293	92.73	45,601
3	11,429,661	100.56	31,370	210,822,871	111.56	579,036	814,830	97.19	2,232	17,859,275	107.3	48,929
4	9,975,489	87.28	27,330	269,082,419	127.63	737,212	839,790	103.06	2,303	24,739,385	138.52	67,781

年度	③ 松代地区計						④ 若穂地区計					
	電力量			料金			電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	1,187,672	90.33	3,245	21,808,659	91.24	59,587	507,811	96.67	1,387	9,970,879	97.27	27,243
2	1,201,603	101.17	3,292	19,930,278	91.39	54,604	543,018	106.93	1,488	9,610,595	96.39	26,330
3	1,292,672	107.58	3,542	23,520,370	118.01	64,439	580,114	106.83	1,589	11,185,658	116.39	30,646
4	1,401,967	108.45	3,841	36,399,688	154.76	99,725	556,899	96	1,526	14,728,927	131.68	40,353

年度	⑤ 豊野地区計						⑥ 戸隠地区計					
	電力量			料金			電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	613,470	93.53	1,676	11,606,970	90.50	31,713	144,935	93.07	396	4,290,966	98.12	11,724
2	596,590	97.25	1,635	9,949,170	85.72	27,258	117,492	81.07	322	3,681,945	85.81	10,088
3	594,486	99.65	1,628	11,621,994	116.81	31,841	138,527	117.9	380	4,299,079	116.76	11,778
4	576,320	96.94	1,579	15,865,830	136.52	43,469	153,250	110.63	420	5,389,291	125.36	14,765

年度	⑦ 鬼無里地区計						⑧ 大岡地区計					
	電力量			料金			電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	54,858	101.36	150	1,709,097	101.43	4,670	107,114	93.63	293	3,449,733	98.12	9,426
2	37,144	67.71	102	1,398,393	81.82	3,831	97,246	90.79	266	3,153,040	91.04	8,638
3	39,093	105.25	107	1,506,330	107.72	4,127	97,447	100.21	267	3,372,039	106.95	9,238
4	45,144	115.48	124	1,778,870	118.09	4,874	103,908	106.63	285	4,097,369	121.51	11,226

年度	⑨ 信州新町地区計						⑩ 中条地区計					
	電力量			料金			電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	923,695	102.62	2,524	17,700,965	102.58	48,363	298,858	109.54	817	6,598,076	107.91	18,028
2	930,305	100.72	2,549	16,286,550	92.01	44,621	293,265	98.13	803	6,109,515	92.60	16,738
3	913,185	98.16	2,502	17,724,769	108.83	48,561	285,215	97.26	781	6,515,051	106.64	17,849
4	933,834	102.26	2,558	25,117,541	141.71	68,815	280,156	98.23	768	8,313,985	127.61	22,778

年度	合計					
	電力量			料金		
	年間	前年度対比	一日平均	年間	前年度対比	一日平均
元	16,296,739	97.47	44,527	305,859,868	98.04	835,683
2	16,020,636	98.31	43,933	275,744,727	90.15	756,475
3	16,185,230	101.03	44,398	308,427,436	111.85	846,444
4	14,866,757	91.85	40,734	405,513,305	131.48	1,110,998







(3) 導水管(路) 布設延長 (旧簡易水道事業地区)

導水管路延長 38,832m

(R5. 3. 31現在 単位:m)

管種 口径 (mm)	ヒューム管				銅管 (SGP・SUS)				鑄鉄管 (DIP・CIP)				ポリエチレン管 (HPPE・PP・WEET)				ビニール管 (VP)				石綿管 (ACP)				不明管		計									
	150	75	200	75	100	125	150	75	50	150	100	75	50	150	100	75	50	200	150	125	100	75	50	100	75	50		150	50	未満						
戸隠	10	23	69	218	57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309	1,519	1,650	11	467	301	1,664	1,736	414	1,057	12	861	283		12,561							
鬼無里	10	23	69	218	57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309	1,519	1,650	11	467	301	1,664	1,736	414	1,057	12	861	283		12,561							
大岡																																				
信州新町																																				
中条																																				
計	10	23	69	227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,729	327	1,847	2,246	7,527	4,406	11	1,288	1,046	4,447	3,920	833	1,059	12	915	283	5	17	35	38,832			
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120		
	10	23	69	227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,729	327	1,847	2,346	7,527	4,406	11	1,288	1,046	4,447	3,920	833	1,059	12	795	283	5	17	35	38,832			
	33																																			

(4) 送・配水管布設延長 (全地区)

管路延長合計 2,412,902m 配水管路延長合計 2,212,908m  
 送水管路延長合計 199,994m (R5. 3. 31現在 単位：m)

管種	鑄鉄管 (DIP, CIP)			鋼 管 (SGP)			ビニール管 (VP)			ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEET)			石綿管 (ACP)			不 明 管			合 計		
	既設延長① [mm]	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 新設延長② 実質延長 除却延長③ ④	計 (①+④)
900	446	.....	446	124	.....	124	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	570	.....	570
800	1,042	.....	1,042	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	1,042	.....	1,042
700	8,568	.....	8,568	1,776	.....	1,776	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	10,344	.....	10,344
600	9,318	101 93	8 9,326	3,621	9	3,612	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	12,988	101 102	▲ 1
500	27,914	1,406 25	1,381 29,295	2,140	.....	2,140	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	30,054	1,406 25	1,381
450	2,971	.....	2,971	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	2,971	.....	2,971
400	29,090	939	939	30,029	5,614	5,614	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	34,704	939	939
350	5,435	.....	5,435	4,288	.....	4,288	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	9,723	.....	9,723
300	29,245	274 17	257 29,502	2,231	.....	2,231	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	31,476	274 17	257
250	17,231	.....	17,231	5,191	.....	5,191	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	22,422	.....	22,422
200	123,948	316 376	▲ 60 123,888	14,683	.....	14,683	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	139,354	316 376	▲ 60
150	297,101	1,055 895	160 297,261	15,610	.....	15,610	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	355,354	1,055 895	125
125	▲ 20	.....	.....	259	.....	259	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	204	.....	204
100	450,285	1,298 1,031	267 450,552	21,495	11 185	▲ 174 21,321	97,279	198	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	615,807	1,298 1,031	938
80	.....	.....	.....	34,789	.....	34,789	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	34,789	.....	34,789
75	480,511	1,232 883	339 480,850	13,932	.....	13,932	160,330	419	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	782,372	1,232 883	11
50	6,674	.....	6,674	19,545	26	▲ 26 19,519	59,723	1,257	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	343,934	.....	2,007
50未満	▲ 87	.....	.....	2,065	.....	▲ 87 2,065	8,070	22	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	29,660	.....	▲ 22
合計	1,489,672	6,621 3,330	3,291 1,492,963	147,393	11 220	▲ 209 147,184	348,329	1,931	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	2,412,902	6,621 3,330	5,585

(5) 送・配水管布設延長 (旧上水道事業地区)

管路延長合計 1,858,767m 配水管路延長合計 1,746,590m  
 送水管路延長合計 112,177m (R5. 3. 31現在 単位:m)

管種	鑄鉄管 (DIP, CIP)				鋼管 (SGP)				ビニール管 (VP)				ポリエチレン管 (PP)				石綿管 (ACP)				合計				
	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③ ④	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	
900	446			446	124			124									570				570				570
800	1,042			1,042													1,042				1,042				1,042
700	8,588			8,588	1,776			1,776									10,344				10,344				10,344
600	9,318	101	8	9,326	3,621		▲ 9	3,612								12,939	101	▲ 1	101	12,938	12,939	101	▲ 1	▲ 1	12,938
500	27,914	1,406	1,381	29,295	2,140			2,140								30,054	1,406	1,381	1,381	31,435	30,054	1,406	1,381	1,381	31,435
450	2,971			2,971												2,971				2,971	2,971				2,971
400	29,080	939	939	30,029	5,614			5,614								34,704	939	939	939	35,643	34,704	939	939	939	35,643
350	5,455			5,455	4,288			4,288								9,723				9,723	9,723				9,723
300	29,245	274	257	29,502	2,231			2,231								31,476	274	257	257	31,733	31,476	274	257	257	31,733
250	17,231			17,231	5,191			5,191								22,422				22,422	22,422				22,422
200	123,163	316	▲ 60	123,109	13,692			13,692				23				136,878	316	▲ 60	▲ 60	136,818	136,878	316	▲ 60	▲ 60	136,818
150	281,530	1,055	160	281,690	14,278			14,278	30		30	2,972				298,810	1,055	160	160	298,970	298,810	1,055	160	160	298,970
125	▲ 20			▲ 20	43			43								▲ 90				▲ 67	▲ 67				▲ 67
100	425,045	1,251	276	426,321	18,334		▲ 74	18,260	8,409		8,409	727				463,064	1,251	276	276	463,993	463,064	1,251	276	276	463,993
80					34,789			34,789								34,789				34,789	34,789				34,789
75	458,000	1,225	332	459,332	▲ 162			▲ 162	35,390	▲ 376	▲ 376	15				508,977	1,225	332	332	509,948	508,977	1,225	332	332	509,948
50	2,576			2,576	15,421		▲ 26	15,395	33,826	▲ 1,232	▲ 1,232	3,150				259,692	3,473	1,892	1,892	261,584	259,692	3,473	1,892	1,892	261,584
50未満								▲ 47	▲ 69	▲ 22	▲ 22	▲ 20				▲ 67				▲ 89	▲ 67				▲ 89
合計	1,421,554	6,567	3,293	1,424,947	121,380		▲ 109	121,271	77,586	▲ 1,630	▲ 1,630	3,892				1,853,321	10,782	5,446	5,446	1,869,549	1,853,321	10,782	5,446	5,446	1,869,549

(6) 送・配水管布設延長 (旧簡易水道事業地区)

管路延長合計 554,135m 配水管路延長合計 466,318m  
 送水管路延長合計 87,817m (R5. 3. 31現在 単位：m)

管種	鑄鉄管 (DIP・CIP)			鋼 (SGP・SUS)			ビニール管 (VP)			ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEET)			石綿管 (ACP)			不明管			合計		
	既設延長① [mm]	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	今年度 布設延長② 実質延長④	計 (①+④)
200	785		785	1,001	0	1,001	0	0	0	750	750	0	0	0	2,536	0	2,536	0	0	0	2,536
150	15,571		15,571	1,332	24,973	26,305	14,856	24,938	39	14,856	14,895	173	114	173	114	57,019	35	56,984	0	35	56,984
125	0		0	216	55	271	0	55	0	0	0	0	0	0	271	0	271	0	0	0	271
100	25,240	47 56	25,287	3,061	88,870	91,931	34,267	88,672	198	336	34,603	64	183	64	183	151,785	394 365	151,914	29	394	151,914
75	22,511	7 0	22,518	14,094	124,564	138,658	66,632	124,521	43	76	66,708	413	170	413	170	228,384	83 43	228,424	40	83	228,424
50	4,098		4,098	4,124	24,665	28,789	51,024	24,640	25	320	51,164	158	173	158	173	84,242	320 205	84,367	115	320	84,367
50未満	▲ 87		▲ 87	2,085	8,117	10,202	19,580	8,117	0	0	19,580	0	54	0	54	29,749	0	29,749	0	0	29,749
合計	68,118	54 56	68,166	26,013	271,244	297,257	187,109	270,943	301	732	187,661	808	694	808	694	553,986	797 648	554,135	149	797	554,135

(7) 各地区の水道施設

① 長野地区

( )内は施設の管理担当課

浄：浄水課 維：水道維持課

北部：水道維持課北部出張所

南部：浄水課南部出張所

西部：水道維持課西部出張所

戸 隠 水 源 (北部)		導 水 管	延長
貯 水 池	総貯水量 225,100m <sup>3</sup>	鑄 鉄 管	2,198m
	有効容量 217,900m <sup>3</sup>	〃	286m
	取 水 塔 1基	〃	792m
	最大水深 11.7m	ヒ ュ ー ム 管	40m
			1,080m
往 生 地 浄 水 場 (浄)			
導 水 管	延 長 16,172m	着 水 井	
内 訳		容 量	21m <sup>3</sup>
ヒ ュ ー ム 管	φ500mm 1,077m	池 数	1池
鋼 管	φ300mm 1,326m		
〃	φ270mm 6,604m	緩 速 ろ 過 池	
鑄 鉄 管	φ400mm 7,112m	1池当面積	860m <sup>2</sup>
〃	φ300mm 53m	池 数	3池
		総 ろ 過 面 積	2,580m <sup>2</sup>
マイクロストレーナー		配 水 池	
処 理 水 量	5,800m <sup>3</sup> /日	容 量	1,100m <sup>3</sup>
ド ラ ム	(回転数5.2~0.9rpm)	池 数	550m <sup>3</sup> ×2池
	(週速 32.6~5.4m/分)	容 量	3,500m <sup>3</sup>
寸 法	φ2,000×2,400mm	池 数	1,750m <sup>3</sup> ×2池
マ イ ク ロ 網	510メッシュ	容 量	4,160m <sup>3</sup>
パ イ ロ ッ ト 網	4.5メッシュ	池 数	2,080m <sup>3</sup> ×2池
電 動 機 出 力	2.2kW	総 容 量	8,760m <sup>3</sup>
回 転 数	1.750rpm	送 水 ポ ン プ	
減 速 機	インバーター電動機直結サイクル	型 式	水中モーターポンプ
方 式	1/43	口 径	65mm
減 速 比		揚 程	100m
洗 浄 用 ポ ン プ		揚 水 量	720m <sup>3</sup> /日
型 式	水中モーターポンプ	電 動 機 出 力	15kW
口 径	50mm	台 数	2台
揚 程	20m		
揚 水 量	0.26m <sup>3</sup> /min	次 亜 塩 素 注 入 設 備	
電 動 機 出 力	2.2kW	型 式	次亜塩素酸ソーダ注入モノポンプ
間 欠 式 空 気 揚 水 筒		注 入 量	7~270ml/分
型 式	標準単筒型	台 数	2台
口 径	φ500 L=5.0m	貯 水 槽	1.5m <sup>3</sup> ×2槽
コ ン プ レ ッ サ ー	吐出空気量		
	840ℓ/分 出力 7.5kW	ベ ル ト コ ン ベ ア ー	
越 水 水 源 池	総貯水量 2,700m <sup>3</sup>	電 動 機 出 力	1kW
		全 長	7m
		台 数	7台





洗 淨 水 槽 容 量 池 数	320m <sup>3</sup> 160m <sup>3</sup> ×2池	排 泥 搔 寄 機 型 式 電 動 機 出 力 台 数	水没式 0.75kW 8台
排 泥 池 容 量 池 数	2,040m <sup>3</sup> 1,740m <sup>3</sup> ×1池 300m <sup>3</sup> ×1池	薬 品 注 入 設 備 パ ッ ク 貯 槽 容 量 槽 数	40m <sup>3</sup> 20m <sup>3</sup> ×2槽
排 泥 管 鑄 鉄 管	φ350 2,642m	パ ッ ク 注 入 機 容 量 電 動 機 出 力 台 数	3.41ℓ/分 3.7kW 3台
取 水 ポ ン プ 型 式 口 径 揚 程 揚 水 量 電 動 機 出 力 台 数	立軸斜流ポンプ 400mm 16.5m 30,000m <sup>3</sup> /日 85kW 3台	活 性 炭 ・ ソ ー ダ 灰 注 入 機 容 量 電 動 機 出 力 台 数	120・300kg/時間 1.5kW 3台
送 水 ポ ン プ 型 式 口 径 揚 程 揚 水 量 電 動 機 出 力 台 数	水中モーターポンプ 250mm 40m 10,800m <sup>3</sup> /日 75kW 2台	注 入 ポ ン プ 容 量 電 動 機 出 力 次亜塩素注入設備 貯 蔵 槽 前次亜注入ポンプ 中・後次亜注入ポンプ	200ℓ/分 3.7kW 10m <sup>3</sup> 2基 一軸偏心ポンプ 0.048~0.655ℓ/分 電動機 0.4kW 1台 一軸偏心ポンプ 0.097~2.083ℓ/分 電動機 0.4kW 2台 一軸偏心ポンプ 0.029~0.328ℓ/分 電動機 0.4kW 1台
送 水 ポ ン プ (平柴配水池) 型 式 口 径 揚 程 揚 水 量 電 動 機 出 力 台 数	水中モーターポンプ 65mm 78m 1,010m <sup>3</sup> /日 15kW 2台	苛 性 ソ ー ダ 注 入 設 備 貯 留 槽 注 入 ポ ン プ	5.2m <sup>3</sup> 1基 ダイヤフラムポンプ 540ml/分 電動機 0.062kW 2台 ダイヤフラムポンプ 360ml/分 電動機 0.062kW 1台
沈 殿 池 設 備 急 速 攪 拌 機 電 動 機 出 力 台 数 緩 速 攪 拌 機 電 動 機 出 力 台 数	2.2kW 4台 3.7~0.4kW 16台	非 常 用 自 家 発 電 設 備 原 動 機 型 式 出 力 種 別 回 転 数 台 数 発 電 機 型 式 容 量	単純開放サイクル1軸式 950PS ガスタービン タービン主軸31,500rpm 出力軸 1,800rpm 1台 同期発電機 750kVA

電 圧	6,600V	導 水 管	
周 波 数	60Hz	鑄 鉄 管	φ300mm 253m
回 転 数	1,800rpm	鑄 鉄 管	φ350mm 1,432m
犀 川 浄 水 場 ( 浄 )		〃	φ400mm 925m
		混 合 井	
取 水 設 備		容 量	(15.9×27.4×7.2~8.4) 787.8m <sup>3</sup>
犀 川 系		処 理 水 量	33,420m <sup>3</sup> /日
水 源 種 別	伏流水	大町ダム系	
井 戸 本 数	350mm 40m (1号) 1本 450mm 60m (2~5号) 4本 600mm 90m (6・7号) 2本 地下水 500mm 91m (9号) 1本 500mm 150m (10号) 1本	水 源 種 別	表 流 水
取 水 ポ ン プ		取 水 井	
型 式	水中モーターポンプ (1号)	容 量	25m <sup>3</sup>
口 径	150mm	池 数	25m <sup>3</sup> ×1池
揚 程	30m	導 水 管	(浄水場内)
揚 水 量	5,515m <sup>3</sup> /日	鑄 鉄 管	φ700mm 14m
電 動 機 出 力	30kW	沈 砂 池	
台 数	1台	バ ー ス ク リ ー ン	65mm
型 式	水中モーターポンプ (2~5号)	間 隙	20mm
口 径	200mm	容 量	400m <sup>3</sup>
揚 程	30m	池 数	400m <sup>3</sup> ×1池
揚 水 量	6,912m <sup>3</sup> /日	活 性 炭 接 触 池	301m <sup>3</sup> ×1池
電 動 機 出 力	45kW	取 水 ポ ン プ	
台 数	4台	型 式	立軸斜流ポンプ
型 式	水中モーターポンプ (6・7号)	口 径	300mm
口 径	250mm	揚 程	10m
揚 程	40m	揚 水 量	13.9m <sup>3</sup> /分
揚 水 量	9,210m <sup>3</sup> /日	電 動 機 出 力	37kW
電 動 機 出 力	75kW	台 数	回 転 数 制 御 2 台
台 数	回 転 数 制 御 1 台 固 定 速 1 台	水 処 理 設 備	
型 式	水中モーターポンプ	着 分 水 井	
口 径	(9・10号) 250mm	容 量	165m <sup>3</sup>
揚 程	35m	池 数	165m <sup>3</sup> ×1池
揚 水 量	12,000m <sup>3</sup> /日	急 速 混 和 池	
電 動 機 出 力	80kW	容 量	34.2m <sup>3</sup>
台 数	2台	池 数	34.2m <sup>3</sup> ×1池
		急 速 攪 拌 機	豎軸タービン式
		フ ロ ッ ク 形 成 池	電 動 機 3.7kW 1 台
		容 量	721.4m <sup>3</sup>
		段 数	3 段
		池 数	360.7m <sup>3</sup> ×2 池
		緩 速 攪 拌 機	電 動 機 3.7~0.75kW 6 台

薬品沈殿池	型式	横流沈殿式	口径	250×150mm
型	式		揚程	125m
容量		4,480m <sup>3</sup>	揚水量	7,646m <sup>3</sup> /日
池数		2,240m <sup>3</sup> ×2池	電動機出力	170kW
処理能力		34,650m <sup>3</sup>	台数	2台
汚泥掻寄機	型式	水中牽引式	薬品注入設備	
	駆動方式	2連1駆動	パック注入設備	
	電動機	2.2kW 2台	貯蔵槽	15m <sup>3</sup> 2基
急速ろ過池	型式	重力式急速ろ過池（自己洗浄型）	注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ 1.9~200ℓ/分 電動機 0.062kW 2台
型	式		苛性ソーダ注入設備	
1池当面積		35.28m <sup>2</sup>	貯蔵槽	4.5m <sup>3</sup> 1基
池数		8池	注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ 1.9~200ℓ/分 電動機 0.062kW 2台
総ろ過面積		282.24m <sup>2</sup>	次亜塩素素注入設備	
1日当ろ過量		34,650m <sup>3</sup>	貯蔵槽	10m <sup>3</sup> 2基
集配水装置		低損失水頭形有孔ブロック	前次亜注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ 0.6~60ℓ/分 電動機 0.062kW 2台
操作方式		サイフォン式	中次亜注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ 1.2~120ℓ/分 電動機 0.062kW 2台
洗浄方式		水逆洗+表面洗浄（回転式）	後次亜注入ポンプ	ダイヤフラムポンプ 1.2~120ℓ/分 電動機 0.062kW 2台
表洗ポンプ		3.6m <sup>3</sup> /分 35m 37kw 2台	活性炭注入設備	
配水池			粉末活性炭溶解槽	鋼板製 6m <sup>3</sup> 2槽
容量		20,000m <sup>3</sup>	注入ポンプ	一軸偏心ネジポンプ 39.7ℓ/時~733.4ℓ/時 電動機 0.4kW 2台
池数		10,000m <sup>3</sup> ×2池	攪拌機	直結立型 4枚ピッチパドル 電動機 3.7kW 2台
ポンプ井		1,110m <sup>3</sup>	バグフィルター	乾式粉塵除塵機 風量 15m <sup>3</sup> /分 電動機 1台 吸引ブロワ 2.2kW 自動シェーキング 0.4kW
送・配水設備			給水ユニット	受水槽一体型 1m <sup>3</sup> 吐出量 50ℓ/分 電動機 0.45kW 2台
送・配水ポンプ				
（低区配水）				
型	式	横軸両吸込渦巻ポンプ		
口径		φ300mm×φ250mm		
揚程		60m		
電動機出力		200kW		
台数		回転数制御 2台 固定速 2台		
（夏目ヶ原送水）				
型	式	両吸込渦巻ポンプ		
口径		340mm		
揚程		115m		
揚水量		24,048m <sup>3</sup> /日		
電動機出力		540kW		
台数		2台		
電動機出力		450kW		
台数		1台		
起動方式		1, 2号機 液体抵抗器 3号機 金属抵抗器		
（松ヶ丘系送水）				
型	式	横軸両吸込渦巻ポンプ		

天井クレーン	電気トロリ式電気チェーンブロック	1基	一次濃縮槽	577m <sup>3</sup>	2池
	定格荷重	1t	汚泥掻寄機	0.4kW	2台
	揚程	5m	非常用自家発電設備		
	スパン	9.2m	1号自家発		
	巻上電動機	1.7kW	原動機型式	単純開放サイクル1軸式	
	走行電動機	0.4kW	出力	1,860PS	
処理水量		30,800m <sup>3</sup> /日	種別	ガスタービン	
注入率		60mg/l (最大)	回転数	タービン主軸	22,000rpm
溶解槽内濃度	スラリー	5%	出力軸	1,800rpm	
運転方式	2槽交互運転方式		発電機型式	三相同期発電機	
操作方式	自動連続注入方式		容量	1,500kVA	
活性炭投入方式	クレーン投入方式		電圧	6,600V	
活性炭注入方式	ウエット炭注入方式 (フレコンバック貯蔵方式)	50%ウエット炭	周波数	60Hz	
侵食性遊離炭酸除去設備			回転数	1,800rpm	
消石灰貯槽	鋼板製	19.4m <sup>3</sup>	2号自家発		
溶解槽	鋼板製	51.6m <sup>3</sup>	原動機型式	単純開放サイクル1軸式	
未溶物槽	RC造	9.6m <sup>3</sup>	出力	1,050PS	
溶液槽	鋼板製	42m <sup>3</sup>	種別	ガスタービン	
沈降槽	FRP製	55m <sup>3</sup>	回転数	タービン主軸	39,913rpm
処理水量		33,420m <sup>3</sup> /日 (最大)	出力軸	1,800rpm	
消石灰注入率		19.3mg/l	発電機型式	三相同期発電機	
消石灰溶解濃度		1,600mg/l (平均)	容量	875kVA	
運転方式	1槽運転方式		電圧	6,600V	
操作方式	自動連続注入方式		周波数	60Hz	
消石灰投入方式	吸引バグフィルター方式		回転数	1,800rpm	
消石灰注入方式	溶液注入ポンプ方式		<b>川合新田水源 (浄)</b>		
伏流水次亜塩注入設備			水源種別	深井戸	
次亜塩貯蔵槽	PE製	2m <sup>3</sup>	井戸本数	350mm 50m (4号)	1本
注入ポンプ	一軸偏心ポンプ	0.015~0.506l/分×0.2MPa		350mm 40m (1~3号)	3本
注入方式	電動機	0.4kW		500mm 150m (5・6号)	2本
	インゼクター方式		取水ポンプ		
排水処理設備			型式	水中モーターポンプ (1号)	
排水池		520m <sup>3</sup>	口径	150mm	
排水返送ポンプ		1.62m <sup>3</sup> /分	揚程	20m	
排水移送ポンプ		0.3m <sup>3</sup> /分	揚水量	4,810m <sup>3</sup> /日	
			電動機出力	18.5kW	
排泥池		440m <sup>3</sup>	台数	1台	
攪拌機	2枚羽根1段	3.7kW	型式	水中モーターポンプ (2号)	
排泥ポンプ	0.6m <sup>3</sup> /分	3.7kW	口径	150mm	
			揚程	15m	
濃縮槽		760m <sup>3</sup>	揚水量	4,320m <sup>3</sup> /日	
排泥引抜ポンプ	0.6m <sup>3</sup> /分	3.7kW	電動機出力	18.5kW	
汚泥掻寄機		0.75kW	台数	1台	

型	式	水中モーターポンプ（3号）	次亜塩素素注入設備	
口	径	150mm	注 入 ポ ン プ	
揚	程	15.8m	型	式
揚	水	5,960m <sup>3</sup> /日	注 入	量
電	機	18.5kW	口	径
台	数	1台	電 動 機 出 力	40W（可変速）
型	式	水中モーターポンプ（4号）	台	数
口	径	150mm	次亜塩素素貯留槽	
揚	程	20m	型	式
揚	水	4,810m <sup>3</sup> /日	容	量
電	機	18.5kW	材	質
台	数	1台	槽	数
型	式	水中モーターポンプ（5号）	非常用自家発電設備	
口	径	250mm	原 動 機 型 式	単純開放サイクル1軸式
揚	程	40m	出 力	1,520PS（1,118kW）
揚	水	9,210m <sup>3</sup> /日	種 別	ガスタービン
電	機	75kW	回 転	数
台	数	1台	発 電 機 型 式	タービン主軸
型	式	水中モーターポンプ（6号）	容 量	22,000rpm
口	径	250mm	電 圧	出力軸
揚	程	40m	周 波 数	1,800rpm
揚	水	9,210m <sup>3</sup> /日	回 転	数
電	機	75kW		
台	数	1台		
導	水	管	<b>飯 網 浄 水 場（北部）</b>	
鑄	鉄	管	取 水 ポ ン プ	
鑄	鉄	管	型	式
〃	〃	管	口	径
		管	揚	程
		管	揚 水 量	1,000m <sup>3</sup> /日
		管	電 力 機 出 力	11kW
		管	台	数
		管		1台
配	水	池	導	水
容	量	5,000m <sup>3</sup>	鑄	鉄
池	数	2,500m <sup>3</sup> ×2池	管	管
容	量	4,200m <sup>3</sup>	φ150	345.0m
池	数	2,100m <sup>3</sup> ×2池		
総	量	9,200m <sup>3</sup>	分	水
送	・ 配 水 ポ ン プ		井	12m <sup>3</sup>
型	式	横軸両吸込み渦巻きポンプ	導	水
口	径	250×200mm	管	管
揚	程	59.1m	延 長	296m
送	水	11,573m <sup>3</sup> /日	鑄鉄管	φ250mm
電	機	132kW	着	水
台	数	4台	井	井
			有 効	23m <sup>3</sup>
				1池

緩速ろ過池		送水管	延長	2,466 m
1池当面積	500㎡		鋼管	φ250mm
池数	3池	<b>長野運動公園緊急貯水槽 (維)</b>		
総ろ過面積	1,500㎡	構造	P C	
浄水池			内径 8.0m 外径8.5m	
容量	1,000㎡		全長21.0m (有効20m)	
池数	250㎡×4池	設備	有効容量1,000㎡	
送水ポンプ			流出管緊急遮断弁	
型式	水中モーターポンプ		自家用発電機6.5kVA	
口径	100mm	<b>水道維持課 (柳町) (維)</b>		
揚程	130m	設備	自家用発電機 (電灯)	50kVA
揚水量	1,500㎡/日		(動力)	15kVA
電動機出力	45kW	<b>若里緊急貯水槽 (維)</b>		
台数	3台	構造	D I P	
計装設備	遠方監視装置一式		内径 φ2,600mm	
滅菌設備			全長 19.28m×3本	
型式	次亜塩素酸ソーダ注入装置		有効容量300㎡	
容量	3.8ℓ/時間 (MAX)	設備	(内消防用水120㎡)	
台数	2台		サイフォンブレイク型遮断方式	
貯蔵槽	2,000ℓ×2槽			
ベルトコンベアー				
電動機出力	1kW			
全長	7m			
台数	6台			



豊 栄 浄 水 場 (南部)			浄 水 池	池 量	211m <sup>3</sup>
着 水 井			容 池	数	105.6m <sup>3</sup> × 2 池 (6.5×6.5×2.5m)
容 量		17.7m <sup>3</sup>			
池 数		1 池			
薬 品 沈 殿 池	横流沈殿式		排 水 池	池 量 数	50.6m <sup>3</sup> 1 池 (4.5×4.5×2.5m)
型 式					
容 量		297.0m <sup>3</sup>			
処 理 能 力		2,000m <sup>3</sup> /日	西 条 水 源 (南部)		
池 数		148.5m <sup>3</sup> × 2 池 (3.0×16.5×3.0m)	導 水 管		
			鑄 鉄 管	φ 75mm	969m
			"	φ100mm	1,369m
			鋼 管	φ100mm	10m
沈 殿 池 内 装			西 条 浄 水 場 (南部)		
急 速 攪 拌 機		1 台	沈 砂 池 (旧薬品沈殿池)		
電 動 機 出 力		0.75kW	容 量		254.25m <sup>3</sup>
緩 速 攪 拌 機		2 台	膜 ろ 過 設 備		
電 動 機 出 力		0.75kW	自 動 ス ト レ ー ナ		
			型 式		自動掻き取り式
急 速 ろ 過 池	重力式急速ろ過池		ス ク リ ー ン		200μm
型 式			台 数		1 台
1 池 当 面 積		5.0m <sup>2</sup>	原 水 槽		
池 数		3 池	型 式		角型 (SUS304)
総 ろ 過 面 積		15.0m <sup>2</sup>	容 量		1,400ℓ × 1 槽
1 日 当 ろ 過 量		2,250m <sup>3</sup>	原 水 ポ ン プ		
集 水 装 置	有孔ブロック型		型 式		多段渦巻ポンプ
操 作 方 法	全自動式 (オートフィルター)		口 径		40×32mm
洗 浄 方 式	表洗逆洗併用 (逆洗補給水方式)		吐 出 量		0.16m <sup>3</sup> /分
			揚 程		25m
薬 品 注 入 設 備			電 動 機 出 力		1.5kW
パ ッ ク 注 入 設 備			台 数		2 台 (1 台/系列)
型 式	液中ピストンポンプ		膜 ろ 過 装 置		
注 入 量		0.24ml~48ml/分	膜 モ ジ ュ ー ル		外圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜)
台 数		2 台 (内 1 台予備)	膜 材 質		ポリフッ化ビニリデン (PVDF)
貯 留 槽	PVC製1,000ℓ 2 槽		膜 面 積		75m <sup>2</sup> /モジュール
			数 量		2 本/系列
次 亜 塩 素 注 入 設 備			逆 洗 ポ ン プ		
型 式	液中ピストンポンプ		型 式		多段渦巻ポンプ
注 入 量 (前次亜)		0.04ml~7.8ml/分	口 径		40×32mm
(中次亜)		0.12ml~24ml/分	吐 出 量		0.12m <sup>3</sup> /分
台 数 (前次亜)		2 台 (内 1 台予備)	揚 程		25m
(中次亜)		2 台 (内 1 台予備)			
貯 留 槽	PVC製800ℓ 2 槽				



電動機出力 台数	1.5kW 2台	次亜塩素素注入設備 次亜貯蔵槽	
逆洗水槽 型式 容量	角型 (SUS304) 600ℓ × 1槽	型式 容量	角型槽 (PVC) 100ℓ × 2槽
空気圧縮機 型式 吐出量 圧力 電動機出力 台数	無給油圧力開閉器式 44ℓ / 分 最大0.80MPa 0.54kW 2台	後次亜注入ポンプ 型式 注入量 台数	液中ピストンポンプ 最大6ml / 分 2台
空気槽 型式 圧力 容量	圧力密閉槽 最大0.80MPa 300ℓ × 1槽	逆洗次亜注入ポンプ 型式 注入量 台数	液中ピストンポンプ 最大12ml / 分 2台
		配水池 容量 池数	140m <sup>3</sup> 70m <sup>3</sup> × 2池

③ 若穂地区

高岡水源 (南部)		次亜塩素素注入設備	液中ピストンポンプ
導水管 ポリエチレン管	φ50mm 887m	型式 注入量 台数 貯留槽	0.08ml~7.8ml/分 2台 1槽
高岡浄水場 (南部)		塚本水源 (南部)	
集水埋渠 集水井 導水管 ポリエチレン管 ポリエチレン管 接合井	有孔HP φ100mm30m 0.8m <sup>3</sup> ×1池 φ75mm 24m φ50mm 880m 0.07m <sup>3</sup> ×2池	深井戸 井戸径 深 基	400mm 110m 1基
高岡配水池 容量 池数	62m <sup>3</sup> 62m <sup>3</sup> ×1池	取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ 100mm 80m 1,670m <sup>3</sup> /日 26kW 1台
マイクロフィルタ 台数 原水量 フィルタ開口 電動機出力	HDF501-1H 1基 最大 2.7m <sup>3</sup> /時間 20μm自動洗浄 3相200V60Hz 0.2kW+0.55kW	送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	多段渦巻ポンプ 125mm 55m 2,534m <sup>3</sup> /日 30kW 2台
着水井 (原水槽)	1.4m <sup>3</sup> ×1槽	ポンプ室 ポンプ槽 構造 容量 池数	溶接構造型 20m <sup>2</sup> 溶接構造型 5.0×5.0×4.0m 87.5m <sup>3</sup> 87.5m <sup>3</sup> ×1池
原水ポンプ 型式 口径 吐出量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ 32mm 86m <sup>3</sup> /日 2.2kW 2台	取水ポンプピット	5.0m <sup>2</sup>
膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数	内圧非対称中空糸限外ろ過膜 (UF膜) 酢酸セルロース (CA) 16m <sup>2</sup> 1本/系列	水位調整弁 型式 口径	MFF-200型 外部開度調整機構付 150mm
逆洗ポンプ 型式 口径 吐出量 電動機出力 台数	片吸込渦巻ポンプ 32mm 0.09m <sup>3</sup> /分 0.75m <sup>3</sup> /分 2台		
逆洗水槽	PVC製 500ℓ 1槽		

笹平水源 (南部)		圧出力 出力数 空気槽 型式 容量	最大0.80MPa 0.54kW 2台 圧力密閉槽 430L×1槽
導水管 铸铁管 鋼管 配水用ポリエチレン管	φ100mm 1,063m φ100mm 272m φ100mm 165m		
山内浄水場 (南部)		次亜塩素素注入設備 次亜貯蔵槽 型式 容量	角型槽 (PVC) 100L×2槽
膜ろ過設備 自動ストレーナ 型式 スクリーン 台数	自動掻き取り式 200μm 1台	後次亜注入ポンプ 型式 吐出量 台数	液中ピストンポンプ 最大12mL/分 2台
原水槽 型式 容量	角型 (SUS304) 有効2.8m³×1槽	逆洗次亜注入ポンプ 型式 吐出量 台数	液中ピストンポンプ 最大25mL/分 2台
原水ポンプ 型式 口径 吐出量 揚程 出力 台数	多段渦巻ポンプ 40mm 0.28m³/分 28m 2.2kW 2台 (1台/系列)	配水池 (1号旧)	138m³×1池 (6.3×6.3×3.5m)
膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 膜数	外圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜) ポリフッ化ビニリデン (PVDF) 75m²/モジュール 4本/系列	配水池 (2号新)	122m³×1池 (6.4×6.4×3.0m)
逆洗ポンプ 型式 口径 吐出量 揚程 出力 台数	多段渦巻ポンプ 40×32mm 0.22m³/分 28m 2.2kW 2台	持者浄水場 (南部)	
逆洗水槽 型式 容量	円筒密閉型 (PE) 有効0.8m³×1槽	集水井 集水埋渠 導水管 ポリプロピレン管	HPφ1,000mm×2.4m 有孔HPφ200×4m φ50mm 60m
空気圧縮機 型式 吐出量	無給油圧力開閉器式 49L/分	着水井 緩速ろ過池 浄水渠 配水池	1.2m³×1池 1.6m³×1池 1.2m³×1池 1.0m³×2池
		次亜塩素素注入設備 型式 注入量 台数 貯留槽	液中ピストンポンプ 0.017ml~3.5ml/分 1台 PVC製 110ℓ 1槽

配	水	管		
	硬質塩化ビニル管	φ75mm	110m	
	ポリプロピレン管	φ75mm	150m	

④ 豊野地区

堀 浄 水 場 (浄)		西 沖 浄 水 場 (浄)	
井 戸		井 戸	
井 型	R C $\phi$ 4,700mm	井 型	R C $\phi$ 6,000mm
深 度	13.5m	深 度	13.5m
基 数	1基	基 数	1基
集 水 管	$\phi$ 89SUS製 L=10.5m×40本	集 水 管	$\phi$ 80SUS製 L=10.5m×50本
取・送水ポンプ		取・送水ポンプ	
型 式	水中タービンポンプ	型 式	水中タービンポンプ
口 径	150mm	口 径	125mm
揚 程	82m	揚 程	85m
揚 水 量	3,600m <sup>3</sup> /日	揚 水 量	2,505m <sup>3</sup> /日
電 動 機 出 力	55kW	電 動 機 出 力	45kW
台 数	2台	台 数	回転数制御 1台 固定速 1台
紫外線処理装置		紫外線処理装置	
処 理 水 量	最 大 3,400m <sup>3</sup> /日	処 理 水 量	最 大 3,400m <sup>3</sup> /日
使 用 圧 力	最 大 1.0Mpa	使 用 圧 力	最 大 0.98Mpa
紫 外 線 照 射 量	常 時 12mJ/cm <sup>2</sup> 以上	紫 外 線 照 射 量	常 時 10mJ/cm <sup>2</sup> 以上
使 用 ラ ンプ	QGL65-22A (65W) 6本	使 用 ラ ンプ	QGL65-22A (65W) 6本
次亜塩素注入設備		次亜塩素注入設備	
型 式	次亜バルブレスポンプ	型 式	次亜バルブレスポンプ
容 量	6.84~17.1m <sup>3</sup> /分	容 量	2.5~25m <sup>3</sup> /分
台 数	2台	台 数	3台
注 入 方 式	井戸揚水ポンプと連動	注 入 方 式	井戸揚水ポンプと連動
貯 留 槽	PE製 1m <sup>3</sup> ×1槽	貯 留 槽	FRP製 1.5m <sup>3</sup> ×2槽
		非常用自家発電設備	
		発 電 機	
		型 式	同期発電機
		容 量	120kVA
		種 別	ディーゼルエンジン
		回 転 数	1800rpm

⑤ 戸隠地区

戸 隠 浄 水 場 (北部)		吐 出 量	49L/分
膜ろ過設備		吐出力	最大0.80MPa
自動ストレーナ		吐出力数	0.54kW
型式	自動掻き取り式	台数	2台 (内1台予備)
スクリーン	200 $\mu$ m	除湿機	
台数	1台	据付式除湿乾燥機	
原水槽	角型 (SUS304)	除湿能力	8.7L/時間
型式		吐出力数	3kW
容量	有効8.0 $\text{m}^3 \times 1$ 槽	台数	1台
原水ポンプ		空気槽	
型式	陸上型多段渦巻ポンプ	型式	鋼板製円筒型
口径	65 $\times$ 40mm	容量	430L $\times$ 1槽
吐出量	0.28 $\text{m}^3$ /分	次亜塩素素注入設備	
揚程	28m	次亜貯蔵槽	
出力	2.2kW	型式	角型槽 (PVC)
台数	1台 (1台/系列)	容量	100L $\times$ 2槽
膜ろ過装置		後次亜注入ポンプ	
膜モジュール	内圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜) $\times 7$ 本 (1系列)	型式	液中バルブレスポンプ
膜材質	酢酸セルロース (CA)	吐出量	最大12m L/分
膜面積	50 $\text{m}^2$ /モジュール	台数	2台 (内1台予備)
膜モジュール	内圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜) $\times 7$ 本 (1系列)	逆洗次亜注入ポンプ	
膜材質	親水化ポリエーテルスルホン (PE S)	型式	液中バルブレスポンプ
膜面積	62 $\text{m}^2$ /モジュール	吐出量	最大25m L/分
膜数	2系列/14本	台数	2台 (1台/系列)
逆洗ポンプ		<b>越 水 第 3 水 源 (北部)</b>	
型式	渦巻ポンプ	深井戸	
口径	65 $\times$ 32mm	井戸径	200mm
吐出量	0.22 $\text{m}^3$ /分	深	142m
揚程	28m	基数	1基
出力	2.2kW	取水ポンプ	
台数	2台 (内1台予備)	型式	水中モーターポンプ
逆洗水槽		口径	80mm
型式	円筒密閉型 (PE)	揚程	69m
容量	有効0.8 $\text{m}^3 \times 1$ 槽	揚水量	1,670 $\text{m}^3$ /日
空気圧縮機		電動機出力	11kW
型式	圧力開閉式	台数	1台
		ポンプ室	RC造 (0.6 $\times$ 1.1)
			1.6 $\text{m}^2$

ポンプ井 構造 容量 池 取水ポンプピット 水位調整弁 型式 口径	RC造	1.5×1.1×1.3m	2.1m <sup>3</sup>	上野第1水源 (北部)	
			2.1m <sup>3</sup> ×1池	取水井 構造	RC造 φ2400mm×3.5m
			5.0m <sup>2</sup>	建 構	屋 造 RC造 (1.2×1.2) 1.4m <sup>2</sup>
	MFF-200型	上野第3水源 (北部)			
	外部開度調整機構付				
			150mm	浅井戸 井戸 径 度 数	400mm 27m 1基
越水第4水源 (北部)					
深井戸 井戸 径 度 数			250mm	取水ピット 構造	RC造 (2.0×1.5×1.5)
			153m	上野第4水源 (北部)	
			1基	浅井戸 井戸 径 度 数	350mm 35m 1基
取水ポンプ 型 式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ		80mm	取水ピット 構造	RC造 (2.0×2.0×2.0)
			69m	水景苑水源 (北部)	
			1,670m <sup>3</sup> /日	深井戸 井戸 径 度 数	150mm
			11kW	深 基	1基
			1台	建 構	屋 造 RC造
ポンプ室	RC造 (3.0×3.0)		9.0m <sup>2</sup>	山入水源 (北部)	
ポンプ 構造 容量 池	RC造	2.0×1.5×1.3m	3.9m <sup>3</sup>	取水堰 堤 造	RC造
			3.9m <sup>3</sup> ×1池	宮浦水源 (北部)	
取水ポンプピット			5.0m <sup>2</sup>	深井戸 井戸 径 度 数	300mm 67m 1基
水位調整弁 型式 口径	MFF-200型	宝光社第1水源 (北部)			
	外部開度調整機構付				
			150mm	取水施設 構造	RC造 1.0×2.0×1.5m 有孔ヒューム管 φ300mm

深井戸 取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ 50mm 46m 288m <sup>3</sup> /日 2.7kW 1台	下祖山第1水源 (北部)	
		取水堰堤 構 造	R C造 (0.2×0.5×H2.0×L4.0) 1基
谷沢水源 (北部)		下祖山第2水源 (北部)	
取水施設 構 造 集水井 構 造	有孔ヒューム管 $\phi 150\text{mm}$ R C造 (0.8×0.8×1.4m) 0.9m <sup>3</sup> ×1槽	取水堰堤 構 造	R C造 (0.2×0.5×H2.0×L3.0) 1基
銚子口水源 (北部)			
集水埋渠 構 造 集水井 構 造	有孔ヒューム管 $\phi 150\text{mm}$ R C造 (1.5×1.0×0.6m) 0.9m <sup>3</sup> ×1槽		



⑥ 鬼無里地区

<b>大 清 水 水 源 (北部)</b>		<b>ほとば沢 2 号水源 (北部)</b>	
取 水 堰 堤 構 造	RC造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1基	集 水 埋 渠 構 造	有孔ヒューム管 $\phi 150\text{mm}$
集 水 井 構 造	RC造 (0.5×0.5×0.6m) 0.15m <sup>3</sup> ×1槽	集 水 井 構 造	RC造
<b>タ キ ノ 沢 水 源 (北部)</b>		<b>ひ の き 沢 水 源 (北部)</b>	
取 水 堰 堤 構 造	有孔ヒューム管 $\phi 75\text{mm}$	集 水 埋 渠 構 造	有孔ビニル管 $\phi 150\text{mm}$
集 水 井 構 造	RC造 (1.0×1.0×1.0m) 0.8m <sup>3</sup> ×1槽	集 水 井 構 造	RC造 (0.3×0.3×0.4m)
<b>ほとば沢 1 号水源 (北部)</b>		<b>財 又 水 源 (北部)</b>	
集 水 埋 渠 構 造	有孔ヒューム管 $\phi 150\text{mm}$	取 水 堰 堤 構 造	RC造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1基

⑦ 大岡地区

四ヶ村・五ヶ村水源 (西部)		取水ポンプ	式	水中モーターポンプ
取水堰堤	構造	RC造 (0.2×0.8×H3.0×L8.0)	口径	40mm
集水	井造	RC造 (2.0×平均1.6×1.5m)	揚程	76m
導水管	WEET管	φ50mm	揚水量	115.2m <sup>3</sup> /日
中牧水源 (西部)		電動機出力	台数	3.7kW
深井戸	口径	200mm	1台	
井戸	深度	46m		
基	数	1基		
取水ポンプ	式	水中モーターポンプ		
口径	直径	50mm		
揚程		28m		
揚水量		115.2m <sup>3</sup> /日		
電動機出力		2.2kW		
台数		1台		
小聖水源 (西部)		ポンプ室	構造	RC造 (2.0×2.0)
取水堰堤	構造	RC造 (4.0×5.0×2.0)	容量	40m <sup>3</sup>
集水	井造	RC造 (1.0×1.0×1.5m)	池	1井
導水管	V P管	φ75mm		
大岡南部水源 (西部)		送水ポンプ	式	水中タービンポンプ
深井戸	口径	RC造 (2.0×1.5×1.5)	口径	40mm
井戸	深度		揚程	64m
基	数		揚水量	381.6m <sup>3</sup> /日
取水ピット	構造		電動機出力	3.7kW
構造			台数	2台
大岡南部水源 (西部)		聖山水源 (西部)		
深井戸	口径		深井戸	口径
井戸	深度		井戸	深度
基	数		基	数
取水ピット	構造			
構造				

取水ポンプ 型式	水中モーターポンプ	次亜塩素素注入設備 型式	次亜液中ピストンポンプ
口径	80mm	容量	25ml/分
揚程	130m	台数	2台
揚水量	720m <sup>3</sup> /日	注入方式	定量注入
電動機出力	18.5kW	貯留槽	角型槽（PVC） 100L×1槽
台数	1台		

⑧ 信州新町地区

穂刈第2水源 (西部)		導水管	
取水設備		鑄鉄管	φ75mm 160m
取水ポンプ	1号	〃	φ150mm 4m
形式	横軸渦巻きポンプ	SUS管	φ80mm 81m
口径	φ125	VP管	φ125mm 357m
揚程	17m	<b>穂刈水源</b>	
揚水量	2,304m <sup>3</sup> /日	<b>(予備水源)</b>	
電動機出力	7.5kW	井戸	地下水
台数	1台	水源種別	浅井戸 R C φ5,000mm
取水ポンプ	3号-1	井型	6.8m
形式	横軸渦巻きポンプ	深基数	1基
口径	φ125	取水ポンプ	
揚程	17m	型式	水中モーターポンプ
揚水量	2,304m <sup>3</sup> /日	口径	80mm
電動機出力	7.5kW	揚程	12m
台数	1台	揚水量	907m <sup>3</sup> /日
取水ポンプ	3号-2	電動機出力	5.5kW
形式	横軸渦巻きポンプ	台数	2台
口径	φ100	<b>穂刈浄水場 (西部)</b>	
揚程	17m	集水井	R C造
揚水量	1,296m <sup>3</sup> /日	容量	3.5×7.0×2.1m 51.5m <sup>3</sup>
電動機出力	3.7kW	池数	1池
台数	1台	急速ろ過設備	
水源種別	伏流水	形式	圧力式密閉型 φ2,800×3,000H
井戸形状	φ80×H7.5m	処理能力	500m <sup>3</sup> /日
井戸本数	4本	台数	2基
取水ポンプ	5号-1~2 6号-1~2	ろ過ポンプ	
形式	水中モーターポンプ	型式	水中モーターポンプ
口径	φ125	口径	125mm
揚程	23m	揚程	24m
揚水量	2,304m <sup>3</sup> /日	揚水量	2,419m <sup>3</sup> /日
電動機出力	7.5kW	電動機出力	11kW
台数	4台	台数	2台
緊急用引井戸	(穂刈浄水場内)	逆洗ポンプ	
形式	横軸渦巻きポンプ	型式	水中モーターポンプ
口径	φ100	口径	200mm
揚程	17m	揚程	14m
揚水量	2,160m <sup>3</sup> /日	揚水量	6,192m <sup>3</sup> /日
電動機出力	3.7kW	電動機出力	22kW
台数	1台		

台数	2台	次亜塩素素注入設備		
管棟	R C造 5400×9400 軽量	50.6㎡ 21㎡	型式 容量 台数 注入方式 貯留槽	
紫外線処理棟	R C造 5400×9400	50.76	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台 定量注入 角型槽 (PVC) 100L×1槽	
紫外線処理設備 形式 処理能力 台数	R C造 5400×9400 内照式流水型	50㎡ 1,901㎡/日 2基	ポンプ室 構造 ポンプ井 構造	
浄水池	R C造		R C造 (2.4×1.8)	
容量 池数	6.6×7.0×3.0m	138.6㎡ 1池	R C造 容量 1.2×1.5×2.4m 4.3㎡ 4.3㎡×1池	
次亜塩素素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 4 ml~20ml/分 2台 取水ポンプと連動 0.49×0.49×0.946 220 l × 1槽 無試薬回転電極式		送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	
送水ポンプ 型式 口径 揚程 送水量 電動機出力 台数	穂刈第2配水池 水中モーターポンプ φ80mm 93m 1,497㎡/日 30kW 3台		水中モーターポンプ 40mm 116m 130㎡/日 5.5kW 1台	
発電機建屋	鉄骨	12.75㎡	<b>鹿道水源 (西部)</b>	
非常用自家発電設備 原動機形式 排気量 定格出力 発電機形式 定格出力 出力電圧	可搬式発電機 水冷4サイクル直接噴射式 過給機付 230kW 突極回転界磁型同期発電機 220kVA 三相4線 60Hz 220V		取水口 取水用有効パイプ 取水管 ポンプ室 構造 取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	S G P管 φ75mm H=2.5m 1箇所 S G P管 φ75mm L=13.5m V P管 φ50mm L=15.5m R C造 (2.8×2.1) 5.9㎡ 横軸渦巻きポンプ 40mm 11.8m 317㎡/日 0.75kW 1台
<b>花倉水源 (西部)</b>			ポンプ槽 構造 容量 池数	F R P造 1.0×1.0×2.0 2.0㎡ 2.0㎡×1槽
集水ピット 構造 容量	R C造 口径1.2m 深7.3m	A=47.5㎡ 8.3㎡		

送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	立形多段ポンプ  32mm 110m 144m <sup>3</sup> /日 4kW 1台	橋木水源 (西部)	
日名水源 (西部)		取水口 取水用有効パイプ 取水管	S G P管 φ75mm H=5.0m 1箇所 S G P管 φ75mm L=15.0m V P管 φ50mm L=100.0m
取水口 集水井 集水管	コンクリート製マンホール φ800mm 1基 S G P管 φ75mm L=16.0m	取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ  40mm 15.2m 230m <sup>3</sup> /日 0.75kW 1台
取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ  50mm 19.5m 360m <sup>3</sup> /日 1.5kW 1台	次亜塩素素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ  6ml/分 2台 定量注入 角型槽 (PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式
次亜塩素素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ  6ml/分 2台 定量注入 角型槽 (PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式	ポンプ室 構造	R C造 (3.9×3.3) 12.9m <sup>2</sup>
ポンプ室 構造	R C造 (3.0×2.1) 6.3m <sup>2</sup>	ポンプ井 構造 容量 池数	φ1.3m 1井
ポンプ井 構造 容量 池数	R C造 3.0×2.1×2.0m 12.6m <sup>3</sup> 12.6m <sup>3</sup> ×1池	送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ  40mm 75m 288m <sup>3</sup> /日 5.5kW 1台
送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ  40mm 72m 360m <sup>3</sup> /日 5.5kW 1台	吐唄水源 (西部)	
		取水口 取水用有効パイプ 取水管	S G P管 φ75mm H=3.5m 1箇所 S G P管 φ75mm L=11.0m V P管 φ40mm L=20.0m

取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ 40mm 10.5m 288m <sup>3</sup> /日 0.75kW 1台	池数 取水ポンプ室 構造 取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	2.1m <sup>3</sup> ×1池 RC造(2.0×1.1) 2.2m <sup>2</sup> 水中モーターポンプ 40mm 15.0m 144m <sup>3</sup> /日 0.75kW 2台
ポンプ槽 構造 容量 池数	FRP造 1.0×1.0×1.0m 1.0m <sup>3</sup> 1.0m <sup>3</sup> ×1池	導水管 SGP管 φ50mm	11m
次亜塩素素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台 定量注入 角型槽(PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式	<b>味 藤 浄 水 場 (西部)</b>	
ポンプ室 構造	軽量ブロック造(2.3×2.3) 5.3m <sup>2</sup>	膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 膜数	外圧式中空糸過膜(MF膜) ポリフッ化ビニリデン(PVDF) 23m <sup>2</sup> /モジュール 2本
送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	立形多段渦巻きポンプ 25mm 73m 71m <sup>3</sup> /日 2.2kW 1台	逆洗ポンプ 形式 出力 口径 台数 逆洗タンク	渦巻きポンプ 0.75kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 100L×1台
<b>牧 田 中 水 源 (西部)</b>		次亜塩素素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台 定量注入 角型槽(PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式
取水口 集水桝 集水管 VP有孔管 導水管 VP管	ステンレスタンク 1.0×1.0×1.0m 1基 φ75mm L=30.0m φ50mm 47.79m	ポンプ室 構造 ポンプ 井 構造 容量 池数	RC造(3.1×3.1) 9.6m <sup>2</sup> RC造 3.0×3.0×0.5m 4.5m <sup>3</sup> 4.5m <sup>3</sup> ×1池
<b>味 藤 水 源 (西部)</b>			
取水ポンプ井 構造 容量	RC造 2.0×1.1×0.95m 2.1m <sup>3</sup>		

送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	多段渦巻ポンプ 40mm 210m 144m <sup>3</sup> /日 11.0kW 2台	注入方式 貯留槽 残留塩素計	定量注入 角型槽 (PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式
塩本水源 (西部)		左右水源 (西部)	
取水口 集水柵	RC造 (0.5×0.3×0.5m) 0.08m <sup>3</sup> ×1槽	取水口 集水管	RC造 (1.4×1.4) 有孔管 φ100mm L=50.0m
導水管 V P 管	φ50mm 21m	導水管 P P 管	φ50mm 53.68m
塩本浄水場 (西部)		左右浄水場 (西部)	
着水井 構造	RC造 (1.5×3.0×1.0m) 4.5m <sup>3</sup> ×1槽	計装室 構造	RC造 (2.0×2.2) 4.4m <sup>2</sup>
計装室 構造	RC造 (2.0×2.2) 4.4m <sup>2</sup>	膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数量	外圧式中空糸過膜 (MF膜) ポリフッ化ビニリデン (PVDF) 23m <sup>2</sup> /モジュール 1本
膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数量	外圧式中空糸過膜 (MF膜) ポリフッ化ビニリデン (PVDF) 23m <sup>2</sup> /モジュール 1本	逆洗ポンプ 形式 出力 口径 台数 逆洗タンク	渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 60L×1台
逆洗ポンプ 形式 出力 口径 台数 逆洗タンク	渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 60L×1台	滅菌機室 構造	プレハブ造 (2.0×1.2) 2.4m <sup>2</sup>
滅菌機室 構造	プレハブ造 (2.0×1.2) 2.4m <sup>2</sup>	次亜塩素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台 定量注入 角型槽 (PVC) 100L×1槽 無試薬回転電極式
塩本浄水場 (西部)		中尾水源 (西部)	
次亜塩素注入設備 型式 容量 台数	次亜液中ピストンポンプ 25ml/分 2台	取水口 集水柵 集水管	RC造 (1.0×1.0×1.0m) 1.0m <sup>3</sup> ×1槽 PP φ25mm 117m



導水管 P P 管	φ25mm	117.36m	凝集剤(PAC)注入設備	
中尾浄水場(西部)			型式	ダイヤフラムポンプ
ろ過設備 形式	小型急速ろ過機		容量	50ml/分
処理能力 台数		30m <sup>3</sup> /日 2基	貯留槽	1台 50ℓ
逆洗ポンプ 型式	水中モーターポンプ		呼水ポンプ 型式	自吸式ポンプ
口径	40mm		口径	φ30mm
揚程	10m		揚程	8.5m
揚水量	388m <sup>3</sup> /日		送水量	316m <sup>3</sup> /日
電動機出力 台数	0.75kW 1台		電動機出力 台数	1.1kW 1台
浄水池 容量	RC造 2.6×2.1×1.5m 8.2m <sup>3</sup>		送水ポンプ 型式	立形多段渦巻きポンプ
池数	1池		口径	φ25mm
次亜塩素注入設備 型式	次亜液中ピストンポンプ		揚程	145m
容量		6ml/分	送水量	14.4m <sup>3</sup> /日
台数		2台	電動機出力 台数	2.2kW 1台
次亜貯留槽		50ℓ×1槽		
残留塩素計	無試薬回転電極式			



<b>不 動 滝 水 源 (西部)</b>		台 数	1 台
取 水 口	R C 造 (0.15×0.2×H1.7×L10.0)	膜 ろ 過 装 置	外 圧 式 中 空 糸 ろ 過 膜 (M F 膜)
取 水 堰 堤	1 堤	膜 モ ジ ュ ー ル	ポ リ フ ッ 化 ビ ニ リ デ ン (P V D F)
取 水 埋 渠	ス テ ン レ ス 鋼 管 (S U S 80 A) L=6.2m	膜 材 質	23㎡/モ ジ ュ ー ル
集 水 枳	R C 造 (0.8×0.8×1.0m) 0.6㎡×1 槽	膜 面 積	2 本/系 列
導 水 管	~清 水 水 源	滅 菌 機 室	R C 造 (1.2×1.2×2.0) × 2 室
H P P E 管	φ 50mm 528.18m	構 造	2.9㎡
H P P E 管	φ 75mm 76.19m	次 亜 塩 素 注 入 設 備	次 亜 液 中 ピ ス ト ン ポ ン プ
<b>清 水 水 源 (西部)</b>		型 式	25ml/分
取 水 口	R C 造 (0.15×0.2×H1.7×L3.0) 1 堤	容 量	2 台
取 水 堰 堤	1 堤	台 数	2 台
取 水 埋 渠	有 孔 ビ ニ ル 管 (V P φ 75mm) L=3.0m	注 入 方 式	定 量 注 入
集 水 枳	塩 ビ 製 (φ 600mm×1.0m) 0.2㎡×1 井	貯 留 槽	角 型 槽 (P V C) 100L×1 槽
導 水 管	~清 水 浄 水 場	残 留 塩 素 計	無 試 薬 回 転 電 極 式 1 基
H P P E 管	φ 50mm 330.68m	配 水 池	R C 造 (4.0×4.0×3.0m) 80.0㎡
<b>清 水 浄 水 場 (西部)</b>		容 池 数	40.0㎡×2 池
着 水 井	R C 造	容 池 量	R C 造 (4.3×4.3×3.0m) 48.1㎡
構 造	0.8×2.2×1.0m 1.8㎡	池 数	48.1㎡×1 池
容 量	1.8㎡×1 井	<b>臥 雲 水 源 (西部)</b>	
池 数	1.8㎡×1 井	取 水 口	有 孔 ヒ ュ ー ム 管
原 水 ポ ン プ	S U S 製 自 吸 タ ー ビ ン ポ ン プ	取 水 埋 渠	(H P φ 150mm) L=12.0m
型 式	40mm	集 水 枳	H P 造
口 径	19.5m		(φ 1800mm×H2430mm)
揚 程	316.8㎡/日	導 水 管	6.2㎡×1 井
揚 水 量	1.5kW	H P P E 管	φ 75mm 159.5m
電 動 機 出 力	1 台	<b>石 原 水 源 (西部)</b>	
台 数	1 台	取 水 口	R C 造
逆 洗 ポ ン プ	S U S 製 水 中 渦 巻 ポ ン プ	取 水 堰 堤	(0.15×0.25×H1.7×L9.8) 1 堤
型 式	40mm	取 水 埋 渠	有 孔 ヒ ュ ー ム 管
口 径	72m		(H P φ 200mm) L=3.0m
揚 程	129.6㎡/日	集 水 枳	R C 造
揚 水 量	3.7kW		(0.8×0.8×1.2m) 0.5㎡×1 槽
電 動 機 出 力	3.7kW		

導水管 V P 管	~接合井 $\phi 125\text{mm}$ 112.16m	取水埋渠	有孔ヒューム管 (HP $\phi 150\text{mm}$ ) L=2.0m
接合井	RC造 (0.8×0.8×1.2m) 0.5m <sup>3</sup> ×1槽	集水柵	RC造 (0.6×0.6×0.6m) 0.2m <sup>3</sup> ×1槽
導水管 V P 管	~桜出配水池 $\phi 125\text{mm}$ 677.75m	導水管 P P 管	$\phi 40\text{mm}$ 2,020m
H P P E 管	$\phi 75\text{mm}$ 88.7m	接合井	RC造 (0.8×0.8×1.2m) 0.5m <sup>3</sup> ×1槽
下条水源 (西部)			
取水口 取水堰堤	RC造 (0.15×0.25×H1.5×L4.0) 1堤		

⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
長野地区	往生地高区配水池	119m <sup>3</sup>	1池	(超音波流量計) (配水流量計) FSV型 口径150mm 最大流量60m <sup>3</sup> /日 1台	浄
		4,000m <sup>3</sup>	1池	(次亜塩素素注入設備) 浸漬式バルブレスポンプ (タンク一体形) 注入量25m <sup>3</sup> /分 (最大) 2台 PVC製1000×2槽	
		1,000m <sup>3</sup>	1池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 250mm 揚程 35m 揚水量 12,000m <sup>3</sup> /日 電動機出力 75kW 2台 (送電設備) 出力9PS 回転数3,600rpm 容量6kVA 電圧220V 周波数60Hz	
長野地区	蚊里田高区配水池	6,000m <sup>3</sup>	2池		浄
		4,000m <sup>3</sup>	2池	(次亜塩素素注入設備) 浸漬式バルブレスポンプ (タンク一体形) 注入量 1.50/時間 (最大) 口径 4mm (ブレードホース) 電動機出力 30W PVC製 2000×2槽	
高原系	高原第1配水池	598m <sup>3</sup> +528m <sup>3</sup>	299×2池+264m <sup>3</sup> ×2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ φ65 揚程60m 揚水量576m <sup>3</sup> /日 電動機出力11kw 2台	北部
		110m <sup>3</sup>	2池		北部
高原系	グリーンヒルズ配水池 (黒流)	30m <sup>3</sup>	15m <sup>3</sup> × 2池		北部
高原系	中曽根配水池	100m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 2池		北部
高原系	東山麓鳴岩配水池	130m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池+25m <sup>3</sup> ×2池		北部
高原系	台ヶ窪配水池	42m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入施設) 液中ピストンポンプ 容量 0.360/時間 1台 貯蔵槽 500/1槽	北部
高原系	清水配水池	42m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> × 2池		維
高原系	坂中配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.3750/時間 1台 貯蔵槽 1000/1槽	維
高原系	西平配水池	36m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> × 2池		維
芋井系	軍足配水池	250m <sup>3</sup>	125m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	猪久保配水池	88m <sup>3</sup>	44m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	荒安配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	畑山配水池	64m <sup>3</sup>	32m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	やすらぎ配水池	82m <sup>3</sup>	41m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	平配水池	100m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	広瀬配水池	216m <sup>3</sup>	108m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	沢浦配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	犬飼配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	百瀬配水池	36m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.10/時間 1台 貯蔵槽 500×1槽 (送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ φ40 揚程140m 揚水量144m <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kw 2台	北部
		72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 2池		北部
芋井系	小鍋配水池	45m <sup>3</sup>	45m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.360/時間 1台 貯蔵槽 500×1槽 (送水ポンプ)	北部
		36m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 1池	水中モーターポンプ φ32 揚程85m 揚水量72m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 2台	北部
長野地区	みろく寺配水池	90m <sup>3</sup>	45m <sup>3</sup> × 2池		北部
		696m <sup>3</sup>	2池	(電磁流量計) 口径 φ200mm 最大流量 200m <sup>3</sup> /時間 1台 東芝LF132 (緊急遮断弁) 前次工業 871ST0465 電磁ブレーキ式 口径 φ200mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	維

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
長野地区	平柴配水池	300 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	150 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(送水ポンプ) (平柴〜みろく寺) 多段渦巻ポンプ 口径 80mm 揚程 110m 揚水量 1008 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 22kW 2台 (予備1台) (送水ポンプ) 自給渦巻ポンプ 口径 25mm 揚程 12m 揚水量 122 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 0.4kW 1台	維
長野地区	もどり配水池	10 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	5 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池		維
長野地区	地蔵平配水池	104 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	52 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 90m 揚水量 200 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	茂菅第1配水池	254 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	127 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 揚水量 216 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 11kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	茂菅第2配水池	32 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	32 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 1池		維
長野地区	西棉花配水池	126 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	63 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池		維
西山系小田切地区	松ヶ丘配水池	5,000 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	2,500 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池		浄
西山系小田切地区	初久保配水池	1,402 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	701 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~3mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) (初久保〜日方) 多段渦巻ポンプ 口径 65mm 揚程 94m 揚水量 599 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 15kW 4台 (2台並列運転) (送水ポンプ) (初久保〜初久保第2) ラインポンプ 口径 40mm 揚程 36m 揚水量 58 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 2.2kW 1台	維
西山系小田切地区	初久保第2配水池	2 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	2 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 1池		維
西山系小田切地区	日方配水池	384 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	192 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.9ℓ/時間 2台 貯蔵槽 PVC製2000×1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~3mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 65mm 揚程 113m 揚水量 360 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 15kW 3台 (2台並列運転) (超音波流量計) 東京計器UFN-400G 口径 φ80mm 最大流量 40 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /時間 1台	維
西山系小田切地区	仏工伝配水池	198 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	99 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池		維
西山系小田切地区	山田中配水池	198 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	99 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 104m 揚水量 158 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (電磁流量計) 東芝LF232 口径 φ80mm 最大流量 100 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /時間 1台 (緊急遮断弁) 前沢工業 97AZ0831 手動復帰型トリガー弁 口径 φ200mm (地震検出装置) SCF-ID 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200ga1	維
西山系小田切地区	繁配水池	64 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	32 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量 1.8ℓ/時間 1台 貯蔵槽 500×1槽 (送水ポンプ) (繁〜小野平) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 119m 揚水量 130 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水ポンプ) 自給渦巻ポンプ 口径 50mm 揚程 40m 揚水量 151 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力 2.2kW 1台	維
西山系小田切地区	小野平配水池	36 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	18 <sup>m</sup> <sup>2</sup> × 2池		維

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
西山系小田切地区	久保調整池	62m <sup>3</sup>	62m <sup>3</sup> × 1池	(電磁流量計) 東芝LF131 口径φ100mm 最大流量150m <sup>3</sup> /時間 1台 (緊急遮断弁) 前次工業80T985 手動復帰型トリガー弁 口径φ200mm	維
西山系七二会地区	坪根配水池	210m <sup>3</sup>	105m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽100ℓ×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	西部
西山系七二会地区	平出配水池	75m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> × 1池		西部
西山系七二会地区	大久保配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> × 1池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径40mm 揚程135m 揚水量1,296m <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kW 2台	西部
西山系七二会地区	知足院配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> × 1池		西部
西山系七二会地区	大安寺配水池	52m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> × 1池	(休止中)	西部
西山系七二会地区	古間配水池	66m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系七二会地区	鯉森配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系七二会地区	瀬脇配水池	88m <sup>3</sup>	44m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系七二会地区	岩草配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> × 1池		西部
西山系七二会地区	春日山配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	西部
西山系七二会地区	笹平配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	下平配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	古藤配水池	48m <sup>3</sup>	24m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	安庭配水池	126m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> ×2池 (H6年度増設) 26m <sup>3</sup> ×1池		西部
西山系信更地区	浦池配水池	92m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	浦井配水池	92m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径40mm 揚程60m 揚水量86.4m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kW 2台	西部
西山系信更地区	米ノ田配水池	204m <sup>3</sup>	102m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	中平配水池	2m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup> × 1池		西部
西山系信更地区	田野口配水池	110m <sup>3</sup>	55m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	大森配水池	48m <sup>3</sup>	24m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	灰原配水池	54m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	高野配水池	104m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径32mm 揚程76m 揚水量86.4m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kW 2台 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	西部
西山系信更地区	上尾配水池	54m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	三水配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	今泉配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	吉原配水池	84m <sup>3</sup>	42m <sup>3</sup> × 2池		西部
西山系信更地区	田次配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> × 2池		西部
松代地区	象山配水池	(旧) 672m <sup>3</sup> (新) 722m <sup>3</sup>	336m <sup>3</sup> ×2池 (10.5×10.5×3.05m) 722m <sup>3</sup> ×1池 (21.25×8.5×4.0m)	(電磁流量計) FMS7KTW2-0WY1 口径250mm 最大流量300m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
松代地区	象山第2配水池	400m <sup>3</sup>	200m <sup>3</sup> ×2池 (16.0×5.0×2.5m)	(電磁流量計) LF132 口径φ100mm 最大流量120m <sup>3</sup> /時間 1台 (緊急遮断弁) 手動式緊急遮断バタフライ弁 BT-B電磁ブレーキ式 口径φ150mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	南部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
松代地区	東寺尾配水池	1,505m <sup>3</sup>	752.6m <sup>3</sup> ×2池 (6.0×28×4.48m)	(緊急遮断弁) 信号式緊急遮断弁 口径 φ400mm (地震検出装置) SCF-ID 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	南部
松代地区	豊栄配水池	306m <sup>3</sup>	153m <sup>3</sup> ×2池 (8.5×6.0×3.0m)		南部
松代地区	平林配水池	179m <sup>3</sup>	89.6m <sup>3</sup> ×2池 (7.0×4.0×3.2m)		南部
松代地区	欠配水池	150m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup> ×2池 (5.0×6.0×2.5m)		南部
松代地区	前山配水池	122m <sup>3</sup>	122.5m <sup>3</sup> ×1池 (7.0×7.0×2.5m)		南部
松代地区	滝本配水池	70m <sup>3</sup>	70.2m <sup>3</sup> ×1池 (5.3×5.3×2.5m)		南部
松代地区	大日池配水池	10m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup> ×1池 (2.5×4.0×1.0m)		南部
松代地区	岩次配水池	504m <sup>3</sup>	252.3m <sup>3</sup> ×2池 (7.0×7.0×5.15m)		南部
松代地区	若次配水池	65m <sup>3</sup>	65m <sup>3</sup> ×1池 (5.0×5.0×2.6m)	(第一減圧槽) 容量 6m <sup>3</sup> 1池 (1.9×1.9×1.8m) (第二減圧槽) 容量 5m <sup>3</sup> 1池 (2.0×1.6×1.8m)	南部
若穂地区	縮内配水池	368m <sup>3</sup>	184.2m <sup>3</sup> ×2池 (6.5×10.5×2.7m)	(電磁流量計) (縮内配水池配水流量計) MG11F 口径 150mm 最大流量 300m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水ポンプ) (山新田第2配水池送水) 横軸片吸込多段ポンプ 口径 50mm 揚程 240m 揚水量 275m <sup>3</sup> /日 (送水管) SP φ80mm 1,134m DCIP φ75mm 586m 電動機出力 22kW 2台 (予備1台) (ポンプ室) RC造り 9.45m <sup>2</sup>	南部
若穂地区	連台寺配水池	4m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup> ×1池 (1.9×1.5×1.5m)	(送水ポンプ) (連台寺配水池送水) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 100m 揚水量 144m <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水管) SGP φ50mm 329.5m P.P φ50mm 128m (ポンプ室) 軽石ブロック造り 12m <sup>2</sup> (電磁流量計) (連台寺配水池送水流量計) MG11F 口径 50mm 最大流量 20m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	山新田第2配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×2池 (4.0×3.0×3.0m)	(送水ポンプ) (山新田第1配水池 (新) 送水) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 74m 揚水量 100m <sup>3</sup> /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水管) CIP φ75mm 568m (ポンプ室) RC造り 7.2m <sup>2</sup> (電磁流量計) (電子式流量計) WSE-100 口径 100mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	山新田第1配水池	89m <sup>3</sup>	89m <sup>3</sup> ×1池 (5.0×6.6×2.7m)		南部



地区	施設名	容量	池数	その他	担当
若穂地区	矢原配水池	800m <sup>3</sup>	400m <sup>3</sup> ×2池 (14×6.5×4.4m)	(次亜塩素素注入設備) 次亜液中ピストンポンプ 4台 貯留槽 PVC製 800L×2槽 (送水ポンプ) (引込配水池送水) 多段ポンプ 口径 100mm 揚程 115m 揚水量 1,684m <sup>3</sup> /日 電動機出力 37kW 2台 (内予備1台) (送水管) SPφ150mm 610m (ポンプ室) RC造り 15.7m <sup>2</sup> (超音波流量計) (1系 川田系) UF-911 口径 200mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (電磁流量計) (2系 上和田系) 挿入式FIM-B型 口径 200mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水管) CIPφ150mm 1,082m	南部
		400m <sup>3</sup> (14×6.5×4.4m)	400m <sup>3</sup> ×1池 (14×6.5×4.4m)	(送水ポンプ) (保科配水池送水ポンプ) 片吸込渦巻ポンプ 口径 50×40mm 揚程 14.5m 揚水量 270m <sup>3</sup> /日 電動機出力 1.5kW 2台 (内予備1台) (電磁流量計) (保科配水池送水流量計) LF130 口径 φ50mm 最大流量 30m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水ポンプ) (保科第2配水池送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 105m 揚水量 220m <sup>3</sup> /日 電動機出力 7.5kW 2台 (内予備1台) (電磁流量計) (保科第2配水池送水流量計) LF132 口径 φ50mm 最大流量 20m <sup>3</sup> /時間 1台 (超音波流量計) (配水流量計) LF801 口径 φ150mm 最大流量 150m <sup>3</sup> /時間 1台 (送水管) 延長 918m	南部
若穂地区	引込配水池	87m <sup>3</sup> (新)	87m <sup>3</sup> ×1池 (4.7×4.7×3.95m)		南部
若穂地区	保科第2配水池	90m <sup>3</sup>	45m <sup>3</sup> ×2池 (4.25×4.25×2.5m)		南部
若穂地区	保科配水池	200m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup> ×2池 (5.0×8.0×2.5m)	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 32mm 揚程 124m 揚水量 108m <sup>3</sup> /日 電動機出力 7.5kW 2台 (内予備1台) (ポンプ室) RC造り 9m <sup>2</sup> (送水管) SPφ80A 578m CIPφ75mm 509m (電磁流量計) MG12F 口径 150mm 最大流量 100m <sup>3</sup> /時間 1台	南部
若穂地区	赤野田配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×2池 (3.0×4.0×3.0m)		南部
若穂地区	外山配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> ×1池 (4.6×4.4×2.5)		南部
若穂地区	尻欠配水池	99m <sup>3</sup>	49.6m <sup>3</sup> ×2池 (4.0×4.0×3.1m)		南部
豊野地区	蟹沢高区配水池	836m <sup>3</sup>	418m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 渦巻ポンプ 口径 100mm 揚程 25m 揚水量 2.24m <sup>3</sup> /分 電動機出力 15kW 2台 (滅菌設備) 次亜塩素素ポンプ 容量 0.6~6m <sup>3</sup> /分 1台 注入方式 送水ポンプ連動 貯留槽 2000 (内蔵) × 1 (梁電設備) 同期発電機 電動機出力55kVA 種別 ディーゼルエンジン 発電機 回転数3,600rpm	浄
		502m <sup>3</sup>	502m <sup>3</sup> × 1池		南部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
豊野地区	浅野配水池	1,800 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	900 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池	(緊急遮断装置) MTB-A15-G-A 口径φ300 動作方式 ウェイト式 感知方式 地震過流量感知式 1台 (電磁流量計) FMB2JFW1-W40AO-YA 口径φ200 最大流量 100 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /時間 1台 (非常用発電機) TLG-6ESX 出力 6.0kVA 110/220V 1φ3W 種別 ディーゼルエンジン 回転数 3,600rpm 1台 (無試験形遊離塩素計) CLF-110 測定範囲 0-1mg/2台	浄
豊野地区	蟻ヶ崎配水池	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	川谷配水池	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	上神代配水池	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	城山配水池	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	泉平配水池	60 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		維
豊野地区	上神代第2配水池	1 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	1 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		維
戸隠地区	越水第1配水池	626 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	204 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池 109 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径40mm 揚程165m 揚水量57.6 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kw 2台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000 × 1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	スギ一揚配水池	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	15 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	上野高区配水池	390 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	105 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池 285 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000 × 1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	諸次配水池	46 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	46 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池	(加圧給水ユニット) 渦巻きポンプ 口径50mm 揚程44m 揚水量388 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 2台	北部
戸隠地区	立道配水池	60 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	60 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	中耕配水池	22 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	22 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	上野低区配水池	72 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	32 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池 40 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	水景苑配水池	70 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	35 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池	(加圧給水ユニット) 渦巻きポンプ 口径65mm 揚程30m 揚水量720 <sup>m</sup> <sup>3</sup> /日 電動機出力5.5kw 3台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000 × 1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/ℓ 1台 (次亜塩素素注入設備)	北部
戸隠地区	宝光社配水池	384 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	192 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量3.60/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000 × 1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	上梅川配水池	92 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	46 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		北部
戸隠地区	宇和原配水池	40 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	40 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	奈良尾配水池	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	30 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	母袋配水池	25 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	25 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 1池		北部
戸隠地区	平第1配水池	160 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	80 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000 × 1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	平第2配水池	120 <sup>m</sup> <sup>3</sup>	60 <sup>m</sup> <sup>3</sup> × 2池		北部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
戸隠地区	桜峰配水池	56m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×2池		北部
戸隠地区	志垣配水池	74m <sup>3</sup>	37m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	土合配水池	28m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	平第3配水池	120m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	五ノ土配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	笹原配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	宮ノ前配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	中尾配水池	5m <sup>3</sup>	5m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	田頭配水池	62m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×2池		北部
戸隠地区	追通配水池	52m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	宮浦配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	西部配水池	26m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup> ×1池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径40mm 揚程140m 揚水量240m <sup>3</sup> /日 電動機出力7.5kw 1台	北部
戸隠地区	上組配水池	33m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	山入配水池	12m <sup>3</sup>	12m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量1.80/時間 2台 貯蔵槽300×1槽	北部
戸隠地区	銚子口配水池	28m <sup>3</sup>	28m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	東原配水池	41m <sup>3</sup>	41m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	猿丸配水池	21m <sup>3</sup>	21m <sup>3</sup> ×1池		北部
戸隠地区	川下配水池	38m <sup>3</sup>	19m <sup>3</sup> ×2池	(圧送ポンプ) 口径40mm 揚程 m 電動機出力5.5kw 3台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	坪山配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	下内配水池	46m <sup>3</sup>	46m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	品次配水池	72m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×2池		北部
鬼無里地区	大平配水池	18m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	財又配水池	51m <sup>3</sup>	51m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量3.60/時間 1台 貯蔵槽500×1槽	北部
鬼無里地区	中田配水池	65m <sup>3</sup>	65m <sup>3</sup> ×1池		北部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
鬼無里地区	大次配水池	80m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	長畑配水池	80m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径32mm 揚程150m 揚水量14.4m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 1台	北部
鬼無里地区	山中配水池	27m <sup>3</sup>	27m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	原配水池	22m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	文道配水池	39m <sup>3</sup>	39m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 測定範囲0~3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	上新倉配水池	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	土倉配水池	124m <sup>3</sup>	62m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 (送水ポンプ) 口径25mm 揚程82.2m 揚水量17m <sup>3</sup> /日 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽8000×1槽 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	東京配水池	238m <sup>3</sup>	57m <sup>3</sup> ×2池 62m <sup>3</sup> ×2池		北部
鬼無里地区	漆びら配水池	244m <sup>3</sup>	122m <sup>3</sup> ×2池		北部
鬼無里地区	町上配水池	104m <sup>3</sup>	52m <sup>3</sup> ×2池		北部
鬼無里地区	町下配水池	161m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup> ×2池 81m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	上平配水池	31m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ×1池	(送水ポンプ) 渦巻き多段ポンプ 口径40mm 揚程119m 揚水量144m <sup>3</sup> /日 電動機出力5.5kw 2台	北部
鬼無里地区	直路配水池	50m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	萩之峯配水池	36m <sup>3</sup>	36m <sup>3</sup> ×1池		北部
鬼無里地区	押一配水池	23m <sup>3</sup>	23m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量3.60/時間 1台 貯蔵槽500×1槽	北部
鬼無里地区	押二配水池	7m <sup>3</sup>	7m <sup>3</sup> ×1池	(加圧給水ポンプ) 加圧ポンプユニット 口径40mm 揚程62m 揚水量180m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 2台 (次亜塩素素注入設備) 電磁流量ポンプ 容量2.280/時間 2台 PVC製 貯蔵槽250×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	北部
大岡地区	高区配水池	65m <sup>3</sup>	65m <sup>3</sup> ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽1000/1槽 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	西部
大岡地区	中区配水池	50m <sup>3</sup>	25m <sup>3</sup> ×2池		西部
大岡地区	低区配水池	44m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup> ×2池		西部
大岡地区	池田配水池	46m <sup>3</sup>	23m <sup>3</sup> ×2池		西部
大岡地区	大岡日方配水池	52m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup> ×2池		西部
大岡地区	中牧配水池	66m <sup>3</sup>	33m <sup>3</sup> ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径40mm 揚程55m 揚水量864m <sup>3</sup> /日 電動機出力3.7kw 2台 容量0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽1000/1槽 測定範囲0~2mg/ℓ 1台	西部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
大岡地区	新田配水池	44 m <sup>3</sup>	22 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 55m 揚水量 57.6m <sup>3</sup> /日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
大岡地区	聖北第2配水池	44 m <sup>3</sup>	22 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	聖ヶ岡配水池	216 m <sup>3</sup>	108 m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 54m 揚水量 216.0m <sup>3</sup> /日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
大岡地区	聖ヶ岡第2配水池	18 m <sup>3</sup>	18 m <sup>3</sup> × 1池	(休中止)	西部
大岡地区	高峰寺配水池	120 m <sup>3</sup>	60 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 75m 揚水量 400.3m <sup>3</sup> /日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
大岡地区	鍋久保配水池	50 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	第1配水池	54 m <sup>3</sup>	27 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	第2配水池	60 m <sup>3</sup>	30 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	第3配水池	100 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	宮平配水池	80 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 2池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
大岡地区	小聖配水池	100 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 100ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 80m 揚水量 475.2m <sup>3</sup> /日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
大岡地区	みどりの広場配水池	25 m <sup>3</sup>	6 m <sup>3</sup> × 1池 19 m <sup>3</sup> × 1池		西部
大岡地区	たらら配水池	50 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 155m 揚水量 201.6m <sup>3</sup> /日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
大岡地区	たらら低区配水池	120 m <sup>3</sup>	60 m <sup>3</sup> × 2池	(加圧給水ポンプ) 給水ユニットポンプ 口径 30mm 揚程 20m 揚水量 110.88m <sup>3</sup> /日 電動機出力 0.4kW 2台	西部
大岡地区	芦ノ尻配水池	66 m <sup>3</sup>	33 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	花尾配水池	66 m <sup>3</sup>	33 m <sup>3</sup> × 2池		西部
大岡地区	大岡南部配水池	62 m <sup>3</sup>	31 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 100ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 76m 揚水量 86.4m <sup>3</sup> /日 電動機出力 3.7kW 1台	西部
信州新町地区	花倉配水池	24 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	地場配水池	35 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	穂刈配水池	1,006 m <sup>3</sup>	1,006 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	穂刈第2配水池	504 m <sup>3</sup>	252 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	下川配水池	108 m <sup>3</sup>	54 m <sup>3</sup> × 2池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 40mm 揚程 200m 揚水量 115.2m <sup>3</sup> /日 電動機出力 11kW 2台	西部
信州新町地区	茂音配水池	62 m <sup>3</sup>	62 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	穴平配水池	51 m <sup>3</sup>	51 m <sup>3</sup> × 1池		西部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
信州新町地区	切久保配水池	34 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	矢ノ尻配水池	24 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	寺尾配水池	43 m <sup>3</sup>	43 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	西日時配水池	9 m <sup>3</sup>	9 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	石畑配水池	21 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	刈内配水池	12 m <sup>3</sup>	12 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	明賀配水池	52 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	大河配水池	54 m <sup>3</sup>	54 m <sup>3</sup> × 1池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 50mm 揚程 240m 揚水量 288.0m <sup>3</sup> /日 電動機出力 18.5kW 2台	西部
信州新町地区	芦沢配水池	92 m <sup>3</sup>	46 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	楯ノ木配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	山秋配水池	25 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	安用配水池	302 m <sup>3</sup>	151 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	桶場配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	小迫沢配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	平第2配水池	34 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	平第3配水池	60 m <sup>3</sup>	30 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	竹房配水池	68 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	道祖神配水池	52 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	琵琶水配水池	8 m <sup>3</sup>	8 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	伊切配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	牧北第2配水池	616 m <sup>3</sup>	308 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	下市場配水池	12 m <sup>3</sup>	6 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	大原配水池	132 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	平清水配水池	21 m <sup>3</sup>	96 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	大久保配水池	20 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	精進屋第2配水池	20 m <sup>3</sup>	20 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	直路配水池	7 m <sup>3</sup>	2 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	中原配水池	25 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	高萩配水池	21 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	鹿道配水池	50 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	日名配水池	24 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	置原配水池	20 m <sup>3</sup>	24 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	吐吹配水池	22 m <sup>3</sup>	20 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	左右配水池	72 m <sup>3</sup>	22 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	塩本配水池	72 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	和田配水池	35 m <sup>3</sup>	36 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	楠木配水池	86 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	味藤配水池	37 m <sup>3</sup>	43 m <sup>3</sup> × 2池		西部
信州新町地区	又田羅配水池	27 m <sup>3</sup>	37 m <sup>3</sup> × 1池		西部
信州新町地区	中尾配水池	15 m <sup>3</sup>	27 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	芦沼配水池	90 m <sup>3</sup>	15 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	栗林配水池	31 m <sup>3</sup>	45 m <sup>3</sup> × 2池		西部
			31 m <sup>3</sup> × 1池		西部

地区	施設名	容量	池数	その他	担当
中条地区	中条配水池	614 m <sup>3</sup>	65 m <sup>3</sup> × 2池 242 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 (送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 50mm 揚程 232m 揚水量 374.4m <sup>3</sup> /日 電動機出力 22kW 2台	西部
中条地区	長井配水池	93 m <sup>3</sup>	57 m <sup>3</sup> × 1池 36 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	松ノ木配水池	40 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	本郷配水池	52 m <sup>3</sup>	26 m <sup>3</sup> × 2池		西部
中条地区	矢原配水池	28 m <sup>3</sup>	28 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	栗本配水池	220 m <sup>3</sup>	110 m <sup>3</sup> × 2池		西部
中条地区	大垣配水池	50 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	下古沢配水池	38 m <sup>3</sup>	38 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	里原配水池	170 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 2池 90 m <sup>3</sup> × 1池	(残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台 (加圧給水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 36m 揚水量 432.0m <sup>3</sup> /日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
中条地区	青木配水池	38 m <sup>3</sup>	38 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	角井配水池	23 m <sup>3</sup>	23 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	角井平配水池	34 m <sup>3</sup>	34 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	高福寺配水池	52 m <sup>3</sup>	52 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	須坂配水池	31 m <sup>3</sup>	31 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	臥雲配水池	40 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	三ヶ野配水池	50 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池		西部
中条地区	桜出配水池	35 m <sup>3</sup>	35 m <sup>3</sup> × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	大栢配水池	50 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	念仏寺配水池	40 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> × 1池		西部
中条地区	城調整槽	588 m <sup>3</sup>	588 m <sup>3</sup> × 1池		西部

① ポンプ場一覧

地区	施設名	送水ポンプ					電動機出力 (kW)	揚水量 (m <sup>3</sup> /日)	揚程 (m)	口径 (mm)	型式	台数 (台)	その他	担当
		口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /日)	電動機出力 (kW)	台数 (台)								
長野地区	若松町ポンプ場	水中モーターポンプ (往生地)	250	40	12,500	90	5	(ポンプ棟) 鉄筋コンクリート造 2階 294m <sup>2</sup>	浄					
	穂谷ポンプ場	水中モーターポンプ	200	117	4,608	150	2		維					
	吉松ポンプ場	水中モーターポンプ	40	110	144	5.5	1 (予備1)	液中ピストンポンプ 貯蔵槽 1000×1槽 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 0.06~1.50/時間 2台 (ポンプ槽) 4m <sup>3</sup> 1槽	維					
西山系小田切地区	茂菅第1ポンプ場	水中モーターポンプ (茂菅系) 多段渦巻ポンプ (地蔵平系)	50	80	576	11	2	(ポンプ槽) 32m <sup>3</sup> 1槽	維					
	滝沢第1ポンプ場	多段渦巻ポンプ (増庄ポンプ)	125	95	2,200	37	3 (2台並列運転)		維					
	滝沢第2ポンプ場	多段渦巻ポンプ	125	98	2,000	37	3 (2台並列運転)	ダイヤフラムポンプ 貯蔵槽 1000×1槽 (次亜塩素素注入設備) 50m <sup>3</sup> 1槽	維					
西山系七二会地区	平出ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	93	58	5.5	2		西部					
	地蔵堂ポンプ場	水中モーターポンプ	40	140	43	7.5	2	(ポンプ槽) 10m <sup>3</sup>	西部					
	古藤ポンプ場	ラインポンプ	32	20	115	1.5	2		西部					
西山系信更地区	涌池第1ポンプ場	多段渦巻ポンプ	125	134	1,728	45	2	液中ピストンポンプ 貯蔵槽 1000×1槽	西部					
	涌池第2ポンプ場	多段渦巻ポンプ (大森配水池系) 多段渦巻ポンプ (大森配水池系)	125	140	1,584	45	2	35m <sup>3</sup> 、65m <sup>3</sup> 、2池 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計 測定範囲 0.0~2.0mg/l 1台	西部					
	大森ポンプ場	多段渦巻ポンプ (灰原配水池系) 多段渦巻ポンプ	40	31	23	2.2	2	(ポンプ槽) 50m <sup>3</sup>	西部					
松代地区	灰原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	89	144	5.5	2		西部					
	吉原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	103	216	7.5	2	(ポンプ槽) 15m <sup>3</sup>	西部					
	象山中継ポンプ場	多段渦巻ポンプ	150×100	74	1,209	22	2 (内予備1)	(送水管) 918m 内訳 鋳鉄管623m、ポリ管295m	南部					
豊野地区	前山ポンプ場	多段タービン	50	77	300	7.5	2 (内予備1)	(送水管) 鋳鉄管 φ75mm 766m	南部					
	瀬園ポンプ場	多段タービン	40	135	172	7.5	2 (内予備1)		南部					
	菅間ポンプ場	多段タービン	40	120	86	5.5	2 (内予備1)	(ポンプ槽) 6m <sup>3</sup> 1池	南部					
戸隠地区	大日池ポンプ場	水中モーターポンプ	100	61	2,400	30	2 (内予備1)	(ポンプ槽) 140m <sup>3</sup> 1池 (7.5×7.5×2.5m) (流量計) 電磁流量計AXF200W 口径200mm 1台 最大流量 200m <sup>3</sup> /h	南部					
	大倉ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	200	288	15	2		維					
	上瀬ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	210	86	11	2		維					
戸隠地区	小瀬ポンプ場	水中モーターポンプ	40	83	220	7.5	2		維					
	大石ポンプ場	水中モーターポンプ	40	68	245	3.7	2		維					
	諸沢ポンプ場 (1号)	多段渦巻ポンプ	50	42.4	288	3.0	1	増庄ポンプ	北部					
戸隠地区	諸沢ポンプ場 (2号)	多段渦巻ポンプ	50	26	288	3.0	1	(ポンプ槽) 10m <sup>3</sup> (次亜塩素素注入設備) 容量1.50/時間 1台 PVC製 貯蔵槽500×1槽 (液中ピストンポンプ) 測定範囲0~3mg/l 1台 (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計	北部					
戸隠地区	上楠川ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	144	230	11.0	2		北部					



地区	施設名	送水ポンプ						その他	担当
		型式	口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /日)	電動機出力 (kW)	台数 (台)		
戸隠地区	宇和原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	36	316	3.7	2	(ポンプ槽) 2.25m <sup>3</sup>	北部
戸隠地区	母袋ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	36.5	540	3.7	2	(ポンプ槽) 2.25m <sup>3</sup>	北部
戸隠地区	笹原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	85	288	5.5	2	(ポンプ槽) 2.25m <sup>3</sup>	北部
鬼無里地区	市野瀬ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	119	345	7.5	2	(ポンプ槽) 3.0m <sup>3</sup>	北部
鬼無里地区	品沢ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	144	230	11.0	2	(ポンプ槽) 10m <sup>3</sup>	北部
鬼無里地区	蒲田ポンプ場(上平)	多段渦巻ポンプ	40	100	100	5.5	2	(ポンプ槽) 6.25m <sup>3</sup>	北部
鬼無里地区	蒲田ポンプ場(萩之峯)	多段渦巻ポンプ	40	150	115	3.0	2	(ポンプ槽) 4.8m <sup>3</sup>	北部
大岡地区	たらら第1ポンプ場	水中モーターポンプ	40	128	122.4	7.5	2	(ポンプ槽) 4.8m <sup>3</sup>	西部
大岡地区	聖北ポンプ場	加圧給水ポンプ	32	27	150.0	1.1	2		西部
信州新町地区	下川ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	170	432.0	19	2	(ポンプ槽) 6.0m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	安用ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	220	259.2	15	2	(ポンプ槽) 9.0m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	千原田ポンプ場	加圧給水ポンプ	32	18	138.2	0.75	2		西部
信州新町地区	竹原ポンプ場	水中モーターポンプ	40	42	381.6	3.7	1	(ポンプ槽) 4.2m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	水中モーターポンプ	水中モーターポンプ	40	71	388.8	5.5	1		西部
信州新町地区	琵琶水ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	90	50.4	1.1	2	(ポンプ槽) 2.9m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	天神坂ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	117	432.0	11	1		西部
信州新町地区	西日時ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	125	360.0	11	1		西部
信州新町地区	立型渦巻ポンプ	立型渦巻ポンプ	25	130	30.2	2.2	2		西部
信州新町地区	多段渦巻ポンプ	多段渦巻ポンプ	25	65	28.8	1.5	2		西部
信州新町地区	石畑ポンプ場	自吸遠心ポンプ	30	押2 揚6	136.8	0.2	1	(ポンプ槽) 13.2m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	明賀ポンプ場	水中モーターポンプ	30	120	201.6	5.5	2	(ポンプ槽) 6.0m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	切久保ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	70	30.2	1.1	2	(ポンプ槽) 5.0m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	自吸遠心ポンプ	自吸遠心ポンプ	30	2	86.4	0.215	1		西部
信州新町地区	山秋ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	100	61.9	2.2	2	(ポンプ槽) 6.0m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	自吸遠心ポンプ	自吸遠心ポンプ	40	3	360.0	0.75	1		西部
信州新町地区	道祖神ポンプ場	立型渦巻ポンプ	32	76	69.1	2.2	2		西部
信州新町地区	牧北ポンプ場	水中モーターポンプ	50	55	360.0	5.5	2	(ポンプ槽) 48m <sup>3</sup> ×2池(旧配水池)	西部
信州新町地区	伊切ポンプ場	多段渦巻ポンプ	32	118	43.2	2.2	2		西部
信州新町地区	多段渦巻ポンプ	多段渦巻ポンプ	25	80	25.9	1.5	2		西部
信州新町地区	高萩ポンプ場	自吸遠心ポンプ	30	押1 揚6	136.8	0.2	1	(ポンプ槽) 6.5m <sup>3</sup>	西部
信州新町地区	牧田中ポンプ場	立型渦巻ポンプ	30	120	69.1	2.2	2	(ポンプ槽) 1.6m <sup>3</sup> (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ	西部
信州新町地区	直路ポンプ場	自吸遠心ポンプ	40	3	360.0	0.75	1	容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽	西部
信州新町地区	日名ポンプ場	水中モーターポンプ	25	75	72.0	3.7	1	(ポンプ槽) 18m <sup>3</sup> (旧配水池)	西部
信州新町地区	置原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	30	39.4	201.6	2.2	2	(ポンプ槽) 12.6m <sup>3</sup> (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計	西部
信州新町地区	橋木ポンプ場	水中モーターポンプ	40	72	360.0	5.5	1	容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	下五十里ポンプ場	多段渦巻ポンプ (芦沼配水池系)	40	150	86.4	7.5	2	(ポンプ槽) 3.97m <sup>3</sup> (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計	西部
中条地区	長井ポンプ場	多段渦巻ポンプ (栗林配水池系)	40	175	86.4	11	2	容量 0.1~0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	清水ポンプ場	加圧給水ポンプ	40	57	374.4	5.5	1	(ポンプ槽) 56m <sup>3</sup> (残留塩素計) 無試薬形遊離塩素計	西部
中条地区	角井ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	190	172.8	11	1	測定範囲 0~2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	本郷ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	240	172.8	11	1		西部
中条地区	角井ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	145	108.0	7.5	2	(ポンプ槽) 6.25m <sup>3</sup>	西部
中条地区	本郷ポンプ場	立型渦巻ポンプ	25	200	86.4	7.5	2		西部
中条地区	本郷ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	141	158.4	7.5	2	(ポンプ槽) 9.0m <sup>3</sup>	西部

## (8) 消火栓数

(R 5. 3. 31現在)

地区名 \ 種別	地 上 式	地 下 式	合 計
長 野 地 区	1,892	1,298	3,190
松 代 地 区	366	94	460
若 穂 地 区	367	37	404
西 山 地 区	245	1	246
豊 野 地 区	289	10	299
戸 隠 地 区	445	2	447
鬼 無 里 地 区	292	2	294
大 岡 地 区	281	1	282
信 州 新 町 地 区	346	4	350
中 条 地 区	270	9	279
合 計	4,793	1,458	6,251

## (9) ダムの概要

	裾花ダム	奥裾花ダム	大町ダム	戸隠水源池ダム
位置	長野市大字小鍋字神白沖	長野市鬼無里	長野県大町市大字平地先	長野市戸隠
総事業費	3,289,568千円	7,575,000千円	47,471,173千円	820千円
工期	昭和40年度～昭和44年度	昭和47年度～昭和54年度	昭和49年度～昭和60年度	大正元年度～大正5年度
	ダム	ダム	ダム	ダム
型式	アーチ式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	アースフィルダム
堤頂高	563m	873m	906m	1,119.95m
堤高	83m	59m	107m	17.143m
堤頂長	211.16m	170m	338m	357.0m
堤頂巾	4m	4m	7m	5m
堤体積	119,864m <sup>3</sup>	152,000m <sup>3</sup>	765,000m <sup>3</sup>	195,000m <sup>3</sup>
放流設備	鋼製圧着ローラーゲート 幅5.36m×高4.351m 2門 鋼製テンダーゲート 幅9.0m×高6.8m 3門	摺動式高圧ラジアルゲート 幅3.6m×高3.6m 1門 鋼製ラジアルゲート 幅5.5m×高8.0m 2門	ラジアルゲート 幅9.5m×高11.15m 2門 高圧ラジアルゲート 幅3.4m×高2.85m 2門	クレスト自由越流 幅55.0m×高1.2m 1門
計画高水流量	1,180m <sup>3</sup> /S	410m <sup>3</sup> /S	1,500m <sup>3</sup> /S	21m <sup>3</sup> /S
計画放流量	520m <sup>3</sup> /S	190m <sup>3</sup> /S	400m <sup>3</sup> /S	—
調節流量	660m <sup>3</sup> /S	220m <sup>3</sup> /S	1,100m <sup>3</sup> /S	—
	貯水池	貯水池	貯水池	貯水池
集水面積	250km <sup>2</sup>	65km <sup>2</sup>	193km <sup>2</sup>	4.1km <sup>2</sup>
湛水面積	0.578km <sup>2</sup>	0.3km <sup>2</sup>	1.1km <sup>2</sup>	0.046km <sup>2</sup>
総貯水容量	15,000,000m <sup>3</sup>	5,400,000m <sup>3</sup>	33,900,000m <sup>3</sup>	225,100m <sup>3</sup>
有効貯水容量	10,000,000m <sup>3</sup>	3,300,000m <sup>3</sup>	28,900,000m <sup>3</sup>	217,900m <sup>3</sup>
水道用水容量	300,000m <sup>3</sup>	600,000m <sup>3</sup>	1,800,000m <sup>3</sup>	217,900m <sup>3</sup>
	費用配分	費用配分	費用配分	費用配分
治水	88.6%	90.8%	89.9%	0%
上水道	2.7% 22,000m <sup>3</sup> /日	8.1% 長野市上水道 32,788m <sup>3</sup> /日	5.6% 長野市上水道 100,000m <sup>3</sup> /日	100% 長野市上水道 5,800m <sup>3</sup> /日
発電	8.7%	1.1%	4.5%	0%

① 水源開発費（ダム負担金）とその財源

1) 裾花ダム

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
40	※1,004,123	2.7	31,000			31,000	
41	454,000						
42	627,000		29,000	1,466		27,500	34
43	998,000		23,000	1,163		21,800	37
44	206,446		5,775	303		5,400	72
計	3,289,569	2.7	88,775	2,932		85,700	143

※37年度 39,739,318  
38年度 37,460,000  
39年度 233,923,542 含む

1. 事業概要

- |         |   |                |                          |
|---------|---|----------------|--------------------------|
| 1) 事業主体 | 長野県   | 6) 建設負担金費用配分   |                          |
| 2) 工事場所 | 長野市   | (1) 長野県（河川管理者） | $\frac{886}{1,000}$      |
| 3) ダム   | 多目的ダム 高さ83 m 長さ211.16 m<br>貯水量15,000,000 m <sup>3</sup> | (2) 企業局（電気事業者） | $\frac{87}{1,000}$       |
| 4) 工期   | 昭和40年度～44年度   | (3) 長野市（水道事業者） | $\frac{27}{1,000}$       |
| 5) 総工事費 | 3,289,568,394 円   | 取水量            | 22,000 m <sup>3</sup> /日 |

2) 奥裾花ダム関係

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
47	113,000	7.96708	12,786	909	2,557.2	9,300	19.8
48	330,000		13,770	1,119	2,754	9,800	97
49	411,000		46,229	3,756	9,245.8	33,200	27.2
50	661,000		48,196	4,406	7,882	35,900	8
51	1,400,000		117,048	39,016	14,046	63,900	86
52	2,114,000		172,128	57,376	20,655	94,000	97
53	1,986,000		154,424	51,474	18,531	84,400	19
54	492,000		38,925	12,975	4,671	21,200	79
計	7,575,000	7.96708	603,506	171,031	80,342	351,700	433

1. 事業概要

- |                |   |     |                          |
|----------------|---|-----|--------------------------|
| 1) 事業主体        | 長野県   | 取水量 | 32,788 m <sup>3</sup> /日 |
| 2) 工事場所        | 長野市鬼無里  |     |                          |
| 3) ダム          | 多目的ダム 高さ59 m<br>長さ170 m 貯水量5,400,000 m <sup>3</sup> |     |                          |
| 4) 工期          | 昭和47年度～54年度   |     |                          |
| 5) 総工事費        | 7,575,000 千円（計画7,600,000 千円）                        |     |                          |
| 6) 建設負担金費用配分   |   |     |                          |
| (1) 長野県（河川管理者） | $\frac{908}{1,000}$                                 |     |                          |
| (2) 企業局（電気事業者） | $\frac{11}{1,000}$                                  |     |                          |
| (3) 長野市（水道事業者） | $\frac{81}{1,000}$                                  |     |                          |

3) 大町ダム関係

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金 費用配分	ダム負担金	財 源			
				国庫補助金	県補助金	起 債	そ の 他
49	※ 744,108	5.6	44,230	7,701	8,846	27,600	83
50	1,286,637		85,836	16,463	12,487	56,800	86
51	2,383,850		149,484	49,828	17,938	81,700	18
52	4,136,203		188,516	62,838	22,622	103,000	56
53	4,501,384		265,808	88,602	31,897	145,300	9
54	4,829,133		270,454	90,151	32,454	147,800	出資金 49
55	5,854,649		321,010	107,003	38,521	175,400	↓ 86
56	5,680,898		320,344	106,781	38,441	143,100	32,000 22
57	6,083,917		343,944	114,648	41,273	154,000	34,000 23
58	6,049,932		340,544	96,487	43,930	171,100	29,000 27
59	3,644,497		223,200	74,400	26,784	99,700	22,300 16
60	※2,275,965		105,016	35,005	12,601	46,900	10,500 10
計	47,471,173	5.6	2,658,386	849,907	327,794	1,352,400	127,800 485

※ 49年度ダム事業費は、47年度103,811千円、48年度221,995千円、49年度418,302千円の合計額  
60年度 “ 60年度2,227,103千円、61年度49,199千円、62年度△337千円の合計額

1. 事業概要

- 1) 事業主体 国土交通省
- 2) 工事場所 大町市
- 3) ダ ム 多目的ダム 高さ107 m  
長さ338 m 貯水量33,900,000 m<sup>3</sup>
- 4) 工 期 昭和47年度～60年度
- 5) 総工事費 47,471,173 千円
- 6) 建設負担金費用配分
  - (1) 国土交通省（河川管理者）  $\frac{88.9}{100}$
  - (2) 東京電力㈱（電気事業者）  $\frac{4.5}{100}$
  - (3) 長野市・高瀬広域水道企業団（大町市、池田町、松川村）（水道事業者）  $\frac{6.6}{100}$

	取 水 量	水量比	全体事業費に対する割合	水道用水容量
長 野 市	100,000m <sup>3</sup> /日	84.7%	5.6 (0.847×6.6)	1,130,000m <sup>3</sup>
※高瀬企業団	18,000 “	15.3%	1.0 (0.153×6.6)	670,000m <sup>3</sup>
計	118,000 “	100 %	6.6	1,800,000m <sup>3</sup>

※平成22年度～26年度 高瀬企業団分を国土交通省が補填  
 国土交通省（河川管理者） 89.9/100  
 東京電力㈱（電気事業者） 4.5/100  
 長 野 市（水道事業者） 5.6/100

## 5 経営状況

### (1) 財務状況

#### ① 水道事業決算報告書

##### 1) 収益的収入及び支出

収 入

(税込み) (単位：円)

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額に係 る財源充当額	合 計			
第1款 水道事業収益	7,485,100,000	0	0	7,485,100,000	7,445,272,009	△ 39,827,991	
第1項 営業収益	6,665,051,000	0	0	6,665,051,000	6,646,858,098	△ 18,192,902	(注1)
第2項 営業外収益	820,048,000	0	0	820,048,000	798,413,911	△ 21,634,089	(注2)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

(注1) 営業収益の決算額は、損益計算書の決算額6,046,129,166円に仮受消費税及び地方消費税600,728,932円を加えた額である。

(注2) 営業外収益の決算額は、損益計算書の決算額791,888,296円に仮受消費税及び地方消費税6,931,173円を加え、納税上生じる雑収益34,889円及び不納欠損に係る消費税及び地方消費税370,669円を除いた額である。

支 出

(税込み) (単位：円)

区 分	予 算 額							決 算 額	地方公営企業法第26条 第2項の規定による繰越 第額	不 用 額	備 考	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第 24条第3項の規定による 支出額	小 計	地方公営企業法第26条 第2項の規定による繰越 第額					合 計
第1款 水道事業費用	6,414,600,000	121,903,000	0	0	0	6,536,503,000	0	6,536,503,000	5,826,081,522	0	710,421,478	
第1項 営業費用	5,834,905,000	121,903,000	0	0	0	5,956,808,000	0	5,956,808,000	5,365,203,314	0	591,604,686	(注1)
第2項 営業外費用	579,695,000	0	0	0	0	579,695,000	0	579,695,000	460,878,208	0	118,816,792	(注2)

(注1) 営業費用の決算額は、損益計算書の決算額5,208,149,172円に仮払消費税及び地方消費税157,054,142円を加えた額である。

(注2) 営業外費用の決算額は、損益計算書の決算額407,844,954円に仮払消費税及び地方消費税585,907円並びに消費税及び地方消費税53,454,100円を加え、非課税売上に係る消費税及び地方消費税1,006,753円を除いた額である。

2) 資本的収入及び支出

収 入

(税込み)(単位:円)

区 分	予 算 額						決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額	合 計			
第1款 資本的収入	1,864,200,000	0	1,864,200,000	744,687,000	0	2,608,887,000	1,912,909,201	△ 695,977,799	
第1項 企業債	1,398,500,000	0	1,398,500,000	664,500,000	0	2,063,000,000	1,447,900,000	△ 615,100,000	
第2項 国庫補助金	20,140,000	0	20,140,000	1,602,000	0	21,742,000	34,795,000	13,053,000	
第3項 工事負担金	124,410,000	0	124,410,000	46,718,000	0	171,128,000	152,747,160	△ 18,380,840	(注1)
第4項 受託建設収入	876,000	0	876,000	0	0	876,000	1,335,546	459,546	(注2)
第5項 出資金	320,273,000	0	320,273,000	31,867,000	0	352,140,000	276,117,000	△ 76,023,000	
第6項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	14,495	13,495	

(注1) うち、仮受消費税及び地方消費税1,769,600円

(注2) うち、仮受消費税及び地方消費税121,408円

支 出

(税込み)(単位:円)

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			備 考	
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次額	合 計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次額	合 計		
第1款 資本的支出	6,402,200,000	0	0	6,402,200,000	1,600,129,932	0	8,002,329,932	6,341,045,355	1,010,929,628	0	1,010,929,628	650,354,949	
第1項 建設改良費	4,662,031,000	0	0	4,662,031,000	1,600,129,932	0	6,262,160,932	4,600,886,241	1,010,929,628	0	1,010,929,628	650,345,063	(注)
第2項 企業債償還金	1,740,169,000	0	0	1,740,169,000	0	0	1,740,169,000	1,740,159,114	0	0	0	9,886	

(注) 決算額のうち、仮払消費税及び地方消費税は397,528,105円である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額4,428,136,154円(1,912,909,201円-6,341,045,355円)は、減債積立金892,517,523円、過年度分損益勘定留保資金3,142,545,890円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額393,072,741円で補填した。

## ② 損益計算書

(税抜き) (単位: 円)

勘定科目	金		額
<b>1 営業収益</b>			
(1) 給水収益	6,006,027,040		
(2) その他営業収益	40,102,126	6,046,129,166	
<b>2 営業費用</b>			
(1) 原水費	232,751,341		
(2) 浄水費	835,843,265		
(3) 配水及び給水費	737,288,034		
(4) 量水器管理費	171,562,976		
(5) 業務費	181,016,172		
(6) 総係費	244,371,468		
(7) 減価償却費	2,769,537,772		
(8) 資産減耗費	35,778,144	5,208,149,172	
<b>営業利益</b>			837,979,994
<b>3 営業外収益</b>			
(1) 受取利息及び配当金	13,059,175		
(2) 他会計負担金	213,378,000		
(3) 加入金	66,208,200		
(4) 長期前受金戻入益	480,718,423		
(5) 雑収	18,524,498	791,888,296	
<b>4 営業外費用</b>			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	398,075,260		
(2) 雑支出	9,769,694	407,844,954	
<b>経常利益</b>			384,043,342
			1,222,023,336
<b>当年度純利益</b>			1,222,023,336
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			892,517,523
当年度未処分利益剰余金			2,114,540,859

## ③ 貸借対照表

(税抜き) (単位: 円)

資 産 の 部				
<b>1 固定資産</b>				
(1) 有形固定資産				
イ 土地		2,315,263,282		
ロ 建物		1,840,665		
ハ 構築物	2,590,007,157			
ニ 減価償却累計額	△ 1,109,427,884	1,480,579,273		
ホ 機械及び装置	103,666,385,862			
ヘ 車両運搬具	△ 51,838,206,995	51,828,178,867		
ト 工具器具及び備品	18,717,461,970			
チ 建設仮勘定	△ 12,427,265,786	6,290,196,184		
有形固定資産合計	151,869,615	31,778,698		
(2) 無形固定資産	△ 120,090,917			
イ 施設利用権	344,200,473	86,887,395		
無形固定資産合計	△ 257,313,078	86,887,395		
<b>固定資産合計</b>		5,797,177,269	67,831,901,633	
<b>2 流動資産</b>				
(1) 現金預金			15,229,676,933	
(2) 未収金		706,219,872		
(3) 貸倒引当金		△ 33,691,815	672,528,057	
(4) 貯蔵品			32,901,273	
流動資産合計			265,470	
<b>資産合計</b>			15,935,371,733	
			84,818,252,761	



負債の部			
<b>3 固定負債</b>			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,691,995,426	28,691,995,426	
企業債合計			
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	692,802,170		
ロ 修繕引当金	1,388,004,535		
引当金合計		2,080,806,705	
<b>固定負債合計</b>			30,772,802,131
<b>4 流動負債</b>			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,744,998,513	1,744,998,513	
企業債合計		1,744,998,513	
(2) 未払金		1,590,531,015	
(3) 預り金		3,388,578	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	61,173,584		
ロ 法定福利費引当金	11,884,891		
引当金合計		73,058,475	
<b>流動負債合計</b>			3,411,976,581
<b>5 繰延収益</b>			
(1) 長期前受金			
イ 受贈財産評価額	2,168,476,236		
収益化累計額	△ 1,270,630,429	897,845,807	
ロ 建設改良補助金	4,430,935,624		
収益化累計額	△ 2,468,064,014	1,962,871,610	
ハ 工事負担金	16,893,656,601		
収益化累計額	△ 9,649,483,120	7,244,173,481	
ニ 他会計負担金	4,284,576		
収益化累計額	△ 3,813,423	471,153	
ホ その他資本剰余金	521,584		
収益化累計額	△ 433,842	87,742	
ヘ 建設仮勘定		312,606,463	
<b>繰延収益合計</b>			10,418,056,256
<b>負債合計</b>			44,602,834,968
資本の部			
<b>6 資本金</b>			
(1) 自己資本金		35,252,655,992	
資本金合計			35,252,655,992
<b>7 剰余金</b>			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	7,844,092		
ロ 建設改良補助金	56,376,850		
資本剰余金合計		64,220,942	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	2,784,000,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	2,114,540,859		
利益剰余金合計		4,898,540,859	
<b>剰余金合計</b>			4,962,761,801
<b>資本合計</b>			40,215,417,793
<b>負債資本合計</b>			84,818,252,761

## ④ 水道事業固定資産明細書

## 1) 有形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末償却 未済高
					当年度増加額	当年度減少額	累計	
土地	2,300,371,868	14,905,909	14,495	2,315,263,282	—	—	—	2,315,263,282
施設用地	2,298,505,921	14,760,873	14,495	2,313,252,299	—	—	—	2,313,252,299
その他用地	1,865,947	145,036	0	2,010,983	—	—	—	2,010,983
立木	1,840,665	0	0	1,840,665	—	—	—	1,840,665
建物	2,420,212,133	190,744,024	20,949,000	2,590,007,157	50,726,924	10,690,260	1,109,427,884	1,480,579,273
事務所用建物	164,227,001	0	0	164,227,001	3,942,628	0	106,257,456	57,969,545
施設用建物	2,144,372,926	190,744,024	20,949,000	2,314,167,950	44,210,730	10,690,260	926,415,697	1,387,752,253
倉庫車庫用建物	102,253,844	0	0	102,253,844	2,554,666	0	68,052,869	34,200,975
その他建物	9,358,362	0	0	9,358,362	18,900	0	8,701,862	656,500
構築物	101,909,436,256	1,817,524,811	60,575,205	103,666,385,862	2,022,977,533	42,853,811	51,838,206,995	51,828,178,867
原水及び浄水施設	15,228,549,894	289,214,353	1,790,870	15,515,973,377	284,752,248	1,261,771	8,189,427,059	7,326,546,318
配水施設	85,565,774,209	1,488,738,285	58,784,335	86,995,728,159	1,716,775,230	41,592,040	42,886,599,061	44,109,129,098
その他構築物	1,115,112,153	39,572,173	0	1,154,684,326	21,450,055	0	762,180,875	392,503,451
機械及び装置	18,121,846,822	721,696,791	126,081,643	18,717,461,970	601,301,065	118,465,496	12,427,265,786	6,290,196,184
電気設備	5,788,651,807	41,814,891	40,595,790	5,789,870,908	106,973,854	38,566,000	4,503,513,697	1,286,357,211
ポンプ設備	4,024,084,717	149,666,021	80,842,727	4,092,908,011	179,125,359	76,741,916	2,394,181,652	1,698,726,359
滅菌設備	2,810,126,661	0	0	2,810,126,661	175,181,959	0	1,517,364,712	1,292,761,949
計量設備	1,222,385,048	50,830,659	0	1,273,215,707	63,943,327	0	835,539,237	437,676,470
量水器	566,813,670	2,616,865	2,785,311	566,645,224	1,686,846	1,392,656	280,485,892	286,159,332
その他機械装置	3,709,784,919	476,768,355	1,857,815	4,184,695,459	74,389,720	1,764,924	2,896,180,596	1,288,514,863
車両運搬具	147,275,540	7,601,325	3,007,250	151,869,615	12,826,000	2,856,887	120,090,917	31,778,698
自動車	122,654,504	7,601,325	3,007,250	127,248,579	12,674,204	2,856,887	96,700,933	30,547,646
その他車両運搬具	24,621,036	0	0	24,621,036	151,796	0	23,389,984	1,231,052
工具器具及び備品	312,826,273	32,004,200	630,000	344,200,473	17,323,789	598,500	257,313,078	86,887,395
小計	125,213,809,557	2,784,477,060	211,257,593	127,787,029,024	2,705,155,311	175,464,954	65,752,304,660	62,034,724,364
建設仮勘定	4,389,339,121	2,393,988,124	986,149,976	5,797,177,269	—	—	—	5,797,177,269
合計	129,603,148,678	5,178,465,184	1,197,407,569	133,584,206,293	2,705,155,311	175,464,954	65,752,304,660	67,831,901,633

## 2) 無形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	耐用 年数	当年度 減価償却高	年度末 現在高	備 考
施設利用権	127,833,536	0	0	55年	11,466,614	116,366,922	奥裾花ダム使用権(旧上水道)
	892,470,553	0	0	55年	50,509,328	841,961,225	大町ダム使用権
	44,456,366	0	0	60年	1,717,634	42,738,732	市庁舎建設負担金(第2庁舎)
	8,117,169	0	0	60年	291,739	7,825,430	市庁舎建設負担金(松代若穂)
	223,718	0	0	55年	223,718	0	裾花ダム負担金
	2,192,332	0	0	55年	173,428	2,018,904	奥裾花ダム使用権(旧簡易水道)
	0	5,589,091	0	55年	0	5,589,091	令和4年度裾花ダム管理費負担金
	0	34,479,091	0	55年	0	34,479,091	令和4年度奥裾花ダム管理費負担金
計	1,075,293,674	40,068,182	0		64,382,461	1,050,979,395	

## ⑤ 収益費用構成

## 1) 収益構成

(税抜き)(単位：円、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
営業収益	6,081,173,205	87.5	6,046,129,166	88.4	△ 35,044,039	△ 0.6
給水収益	6,043,831,572	87.0	6,006,027,040	87.8	△ 37,804,532	△ 0.6
その他営業収益	37,341,633	0.5	40,102,126	0.6	2,760,493	7.4
営業外収益	847,876,945	12.2	791,888,296	11.6	△ 55,988,649	△ 6.6
受取利息及び配当金	23,213,579	0.3	13,059,175	0.2	△ 10,154,404	△ 43.7
他会計負担金	232,365,000	3.4	213,378,000	3.1	△ 18,987,000	△ 8.2
加入金	78,733,100	1.1	66,208,200	1.0	△ 12,524,900	△ 15.9
長期前受金戻入	491,531,491	7.1	480,718,423	7.0	△ 10,813,068	△ 2.2
雑収益	22,033,775	0.3	18,524,498	0.3	△ 3,509,277	△ 15.9
特別利益	17,684,172	0.3	0	0	△ 17,684,172	皆減
その他特別利益	17,684,172	0.3	0	0	△ 17,684,172	皆減
合 計	6,946,734,322	100.0	6,838,017,462	100.0	△ 108,716,860	△ 1.6

## 2) 費用構成

(税抜き)(単位：円、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
営業費用	5,260,311,385	91.8	5,208,149,172	92.7	△ 52,162,213	△ 1.0
原水費	230,371,409	4.0	232,751,341	4.1	2,379,932	1.0
浄水費	851,421,212	14.9	835,843,265	14.9	△ 15,577,947	△ 1.8
配水及び給水費	724,886,924	12.6	737,288,034	13.1	12,401,110	1.7
量水器管理費	176,908,798	3.1	171,562,976	3.1	△ 5,345,822	△ 3.0
業務費	177,442,409	3.1	181,016,172	3.2	3,573,763	2.0
総係費	210,623,881	3.7	244,371,468	4.4	33,747,587	16.0
減価償却費	2,858,639,992	49.9	2,769,537,772	49.3	△ 89,102,220	△ 3.1
資産減耗費	30,016,760	0.5	35,778,144	0.6	5,761,384	19.2
営業外費用	431,975,436	7.6	407,844,954	7.3	△ 24,130,482	△ 5.6
支払利息及び企業債取扱諸費	422,874,253	7.4	398,075,260	7.1	△ 24,798,993	△ 5.9
雑支出	9,101,183	0.2	9,769,694	0.2	668,511	7.3
特別損失	35,929,978	0.6	0	0.0	△ 35,929,978	皆減
災害復旧費	35,929,978	0.6	0	0.0	△ 35,929,978	皆減
合 計	5,728,216,799	100.0	5,615,994,126	100.0	△ 112,222,673	△ 2.0

## 3) 性質別費用構成

(税抜き)(単位:円、%)

区 分	令 和 3 年 度		令 和 4 年 度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
職 員 給 与 費	732,461,170	12.8	753,609,019	13.4	21,147,849	2.9
給 料	349,045,410	6.1	354,201,459	6.3	5,156,049	1.5
手 当 等	170,174,315	3.0	179,637,988	3.2	9,463,673	5.6
賞与引当金繰入額	42,715,646	0.7	46,731,103	0.8	4,015,457	9.4
退 職 給 付 費	56,209,296	1.0	55,865,517	1.0	△ 343,779	△ 0.6
法 定 福 利 費	105,931,994	1.9	108,093,967	1.9	2,161,973	2.0
法定福利費引当金繰入額	8,384,509	0.1	9,078,985	0.2	694,476	8.3
備 消 品 費	14,918,406	0.3	14,908,455	0.3	△ 9,951	△ 0.1
通 信 運 搬 費	13,834,685	0.2	12,883,023	0.2	△ 951,662	△ 6.9
委 託 料	731,202,450	12.8	889,919,580	15.8	158,717,130	21.7
手 数 料	4,333,287	0.1	3,436,715	0.1	△ 896,572	△ 20.7
賃 借 料	43,867,983	0.8	42,491,046	0.8	△ 1,376,937	△ 3.1
修 繕 費	181,931,465	3.2	104,508,244	1.9	△ 77,423,221	△ 42.6
工 事 請 負 費	172,733,240	3.0	32,625,000	0.6	△ 140,108,240	△ 81.1
動 力 費	280,557,415	4.9	368,251,956	6.5	87,694,541	31.3
薬 品 費	43,295,012	0.7	46,206,456	0.8	2,911,444	6.7
材 料 費	5,601,810	0.1	4,532,118	0.1	△ 1,069,692	△ 19.1
負 担 金	105,114,116	1.8	82,282,925	1.5	△ 22,831,191	△ 21.7
貸倒引当金繰入額	7,358,000	0.1	7,087,000	0.1	△ 271,000	△ 3.7
減 価 償 却 費	2,858,639,992	49.9	2,769,537,772	49.3	△ 89,102,220	△ 3.1
固定資産除却費	30,016,760	0.5	35,778,144	0.6	5,761,384	19.2
企 業 債 利 息	422,874,253	7.4	398,075,260	7.1	△ 24,798,993	△ 5.9
固定資産除却損失	35,929,978	0.6	0	0.0	△ 35,929,978	皆減
そ の 他 物 件 費	43,546,777	0.8	49,861,413	0.9	6,314,636	14.5
合 計	5,728,216,799	100.0	5,615,994,126	100.0	△ 112,222,673	△ 2.0

## ⑥ 経営状況の推移

(税抜き) (単位: 千円、%)

項目	年度	30		元		2		3		4	
		金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率
総収益 (A)		7,184,039	0.1	7,074,746	△ 1.5	6,935,024	△ 2.0	6,946,734	0.2	6,838,017	△ 1.6
経常収益 (B)		7,127,839	0.1	6,989,265	△ 1.9	6,932,576	△ 0.8	6,929,050	△ 0.1	6,838,017	△ 1.3
営業収益		6,227,037	1.4	6,077,125	△ 2.4	6,058,533	△ 0.3	6,081,173	0.4	6,046,129	△ 0.6
うち											
給水収益		6,186,958	1.4	6,040,027	△ 2.4	6,002,839	△ 0.6	6,043,832	0.7	6,006,027	△ 0.6
受託工事収益		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
他会計負担金		263,439	△19.6	274,014	4.0	264,201	△ 3.6	232,365	△12.0	213,378	△ 8.2
総費用 (C)		5,842,256	3.0	5,820,977	△ 0.4	5,517,293	△ 5.2	5,728,217	3.8	5,615,994	△ 2.0
経常費用 (D)		5,787,273	3.1	5,732,298	△ 0.9	5,517,293	△ 3.8	5,692,287	3.2	5,615,994	△ 1.3
営業費用		5,263,068	4.0	5,227,287	△ 0.7	5,048,210	△ 3.4	5,260,311	4.2	5,208,149	△ 1.0
うち											
人件費		717,662	2.2	732,073	2.0	721,883	△ 1.4	732,741	1.5	753,868	2.9
減価償却費等		2,978,503	3.1	2,890,705	△ 2.9	2,886,577	△ 0.1	2,888,657	0.1	2,805,316	△ 2.9
支払利息等		516,445	△ 5.2	485,545	△ 6.0	452,154	△ 6.9	422,874	△ 6.5	398,075	△ 5.9
経常損 (△) 益		1,340,566	△10.7	1,256,968	△ 6.2	1,415,283	12.6	1,236,763	△12.6	1,222,023	△ 1.2
純損 (△) 益		1,341,783	△10.8	1,253,769	△ 6.6	1,417,731	13.1	1,218,518	△14.1	1,222,023	0.3
累積欠損金		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
不良債務		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
経常収支比率 (B/D)		123.2	△ 2.8	121.9	△ 1.1	125.7	3.1	121.7	△ 3.2	121.8	0.1
総収支比率 (A/C)		123.0	△ 2.8	121.5	△ 1.2	125.7	3.5	121.3	△ 3.5	121.8	0.4

## ⑦ 資本的支出とその財源の推移

(税込み) (単位: 千円、%)

項目	年度	30	元	2	3	4	対前年増減率
		資本的支出					
建設改良費		3,847,903	3,051,513	4,498,157	3,704,133	4,600,886	24.2
企業債償還金		1,760,482	1,740,591	1,715,960	1,708,338	1,740,159	1.9
その他		56,200	43,976	0	0	0	-
計		5,664,585	4,836,080	6,214,117	5,412,471	6,341,045	17.2
同財源							
企業債		1,709,200	1,472,900	1,775,500	1,877,400	1,447,900	△ 22.9
国庫補助金		18,638	0	110,199	18,780	34,795	85.3
他会計出資金		468,989	283,693	377,299	198,083	276,117	39.4
工事負担金		173,982	111,891	116,403	82,260	152,747	85.7
受託建設収入		1,253	927	1,033	842	1,336	58.7
その他		2	0	52	0	14	皆増
損益勘定留保資金等		3,027,633	2,733,189	3,445,964	2,920,239	4,035,063	38.2
消費税資本的収支調整額		264,888	233,480	387,667	314,867	393,073	24.8
計		5,664,585	4,836,080	6,214,117	5,412,471	6,341,045	17.2

(注) 財源のその他=固定資産売却代金

⑧ 費目別原価構成

(単位：円)

科目	年度		元		2		3		4		
	有収水量		28,426,381m <sup>3</sup>		28,542,826m <sup>3</sup>		28,523,729m <sup>3</sup>		28,149,496m <sup>3</sup>		
	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	
営業費用	原水費	209,367,360	7.17	228,607,995	8.04	216,813,389	7.60	230,371,409	8.08	232,751,341	8.27
	浄水費	775,803,350	26.57	780,399,402	27.45	756,704,129	26.51	851,421,212	29.85	835,843,265	29.69
	配水及び給水費	796,844,539	27.29	765,476,564	26.93	738,010,769	25.86	724,886,924	25.41	737,288,034	26.19
	量水器管理費	136,305,451	4.67	180,604,490	6.36	87,132,881	3.05	176,908,798	6.20	171,562,976	6.09
	業務費	175,636,233	6.02	174,766,752	6.15	182,049,651	6.38	177,442,409	6.22	181,016,172	6.43
	総係費	190,608,208	6.53	206,726,945	7.27	180,922,294	6.34	210,623,881	7.38	244,371,468	8.68
	減価償却費	2,825,341,607	96.76	2,836,471,845	99.78	2,796,151,374	97.96	2,858,639,992	100.22	2,769,537,772	98.39
	資産減耗費	153,161,032	5.24	54,233,273	1.91	90,425,695	3.17	30,016,760	1.05	35,778,144	1.27
小計	5,263,067,780	180.25	5,227,287,266	183.89	5,048,210,182	176.87	5,260,311,385	184.41	5,208,149,172	185.01	
営業外費用	支払利息及び 業債取扱諸費	516,445,410	17.69	485,544,618	17.08	452,154,380	15.84	422,874,253	14.83	398,075,260	14.14
	雑支	7,759,904	0.27	19,465,973	0.68	16,928,045	0.59	9,101,183	0.32	9,769,694	0.35
	小計	524,205,314	17.96	505,010,591	17.76	469,082,425	16.43	431,975,436	15.15	407,844,954	14.49
合計	5,787,273,094	198.21	5,732,297,857	201.65	5,517,292,607	193.30	5,692,286,821	199.56	5,615,994,126	199.50	
供給単価	211.90		212.48		210.31		211.89		213.36		

⑨ 性質別原価構成

(単位：円)

科目	年度		元		2		3		4		
	有収水量		28,426,381m <sup>3</sup>		28,542,826m <sup>3</sup>		28,523,729m <sup>3</sup>		28,149,496m <sup>3</sup>		
	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	金額	1m <sup>3</sup> 当たり 経費	
職員給与費	給料	339,685,155	11.63	329,825,112	11.60	348,419,683	12.20	349,045,410	12.24	354,201,459	12.58
	手当等	179,403,649	6.14	172,669,288	6.07	164,392,062	5.76	170,174,315	5.97	179,637,988	6.38
	法定福利費	110,548,744	3.79	106,527,839	3.75	106,483,841	3.73	105,931,994	3.71	108,093,967	3.84
	賃金	16,276,944	0.56	19,522,808	0.69	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	退職給付費	13,789,244	0.47	47,287,197	1.66	44,455,767	1.56	56,209,296	1.97	55,865,517	1.98
	小計	659,703,736	22.59	675,832,244	23.77	663,751,353	23.25	681,361,015	23.89	697,798,931	24.78
旅費	875,276	0.03	583,278	0.02	77,060	0.00	340,590	0.01	1,027,161	0.04	
被服費	1,977,250	0.07	1,394,935	0.05	1,184,841	0.04	1,378,930	0.05	1,402,790	0.05	
備用品費	14,414,283	0.49	14,399,132	0.51	14,456,305	0.51	14,918,406	0.52	14,904,678	0.53	
燃料費	10,699,030	0.37	9,861,148	0.35	7,994,985	0.28	7,089,040	0.25	7,226,752	0.26	
光熱水費	13,979,469	0.48	13,148,200	0.46	12,217,380	0.43	13,712,434	0.48	15,561,747	0.55	
印刷製本費	2,210,112	0.07	2,539,645	0.09	1,335,460	0.05	1,132,725	0.04	1,863,844	0.07	
通信運搬費	14,209,458	0.49	15,073,789	0.53	14,369,470	0.50	13,834,685	0.48	12,883,023	0.46	
委託料	689,140,370	23.60	692,893,683	24.37	682,798,434	23.92	731,202,450	25.63	889,919,580	31.61	
賃借料	43,423,183	1.49	43,111,012	1.52	42,855,436	1.50	43,820,055	1.54	42,435,907	1.51	
修繕費	202,992,888	6.96	216,562,950	7.62	139,283,677	4.88	181,931,465	6.38	104,508,244	3.71	
動力費	289,123,372	9.90	281,022,808	9.88	250,851,913	8.79	280,557,415	9.84	368,251,956	13.08	
薬品費	35,336,544	1.21	38,965,626	1.37	39,661,524	1.39	43,295,012	1.52	46,206,456	1.64	
材料費	4,394,000	0.15	4,192,276	0.15	4,454,308	0.16	5,601,810	0.20	4,532,118	0.16	
負担金	72,915,100	2.50	88,169,555	3.10	105,210,222	3.69	105,114,116	3.68	82,282,925	2.92	
福利厚生費	2,234,355	0.08	2,283,587	0.08	2,292,281	0.08	2,215,122	0.08	2,141,525	0.08	
減価償却費	2,825,341,607	96.76	2,836,471,845	99.78	2,796,151,374	97.96	2,858,639,992	100.22	2,769,537,772	98.39	
資産減耗費	153,161,032	5.24	54,233,273	1.91	90,425,695	3.17	30,016,760	1.05	35,778,144	1.27	
支払利息	516,445,410	17.69	485,544,618	17.08	452,154,380	15.84	422,874,253	14.82	398,075,260	14.14	
その他	234,696,619	8.04	256,014,253	9.01	195,766,509	6.86	253,250,546	8.88	119,655,313	4.25	
合計	5,787,273,094	198.21	5,732,297,857	201.65	5,517,292,607	193.30	5,692,286,821	199.56	5,615,994,126	199.50	
供給単価	211.90		212.48		210.31		211.89		213.36		

⑩ 供給単価と給水原価の推移

項目	年度	30			元			2			3			4		
		金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)
供給単価		211.90	—	1.7	212.48	—	0.3	210.31	—	△ 1.0	211.89	—	0.8	213.36	—	0.7
給水原価	資本費	114.45	63.6	△ 0.5	116.86	63.7	2.1	113.80	64.8	△ 2.6	115.05	63.1	1.1	112.53	61.7	△ 2.2
	人件費	22.59	12.5	1.9	23.77	12.9	5.2	23.26	13.2	△ 2.1	23.89	13.1	2.7	24.79	13.6	3.8
	その他	43.08	23.9	18.7	42.90	23.4	△ 0.4	38.67	22.0	△ 9.9	43.39	23.8	12.2	45.11	24.7	4.0
	計	180.12	100.0	3.8	183.53	100.0	1.9	175.73	100.0	△ 4.2	182.33	100.0	3.8	182.43	100.0	0.1
年間総有収水量 <sup>3</sup>		29,198,147		△ 0.2	28,426,381		△ 2.6	28,542,826		0.4	28,523,729		△ 0.1	28,149,496		△ 1.3
給水収益 <sup>4</sup>		6,186,958		1.4	6,040,027		△ 2.4	6,002,839		△ 0.6	6,043,832		0.7	6,006,027		△ 0.6
費用合計 <sup>5</sup>		5,259,061		3.5	5,217,128		△ 0.8	5,015,893		△ 3.9	5,200,755		3.7	5,135,276		△ 1.3

- (注) 1. 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量  
 2. 給水原価＝費用合計÷年間総有収水量  
 3. 資本費＝(支払利息＋減価償却費)÷年間総有収水量  
 4. 費用合計＝経常費用－(受託工事費＋材料売却原価＋長期前受金戻入)

⑪ 経常収益と料金収入の推移

(税抜き) (単位：千円、%)

項目	経常収益		料金収入		経常収益に占める料金収入 $\frac{(B)}{(A)}$	料金改定	
	金額 (A)	対前年増減率	金額 (B)	対前年増減率		年 月 日	平均改定率
17	6,042,783	1.8	5,715,789	1.4	94.6		
18	6,013,247	△ 0.5	5,665,864	△ 0.9	94.2		
19	5,989,417	△ 0.4	5,629,178	△ 0.6	94.0		
20	5,729,644	△ 4.3	5,412,214	△ 3.9	94.5		
21	5,857,554	2.2	5,447,908	0.7	93.0		
22	6,246,322	6.6	5,836,617	7.1	93.4	H22. 6. 1	7.71
23	6,487,347	3.9	5,811,323	△ 0.4	89.6		
24	6,507,452	0.3	5,808,181	△ 0.1	89.3		
25	6,651,476	2.2	6,042,520	4.0	90.8	H25. 6. 1	7.86
26	7,047,460	6.0	5,893,979	△ 2.5	83.6		
27	7,164,917	1.7	5,872,259	△ 0.4	82.0		
28	7,147,551	△ 0.2	5,877,229	0.1	82.2		
29	7,117,281	△ 0.4	6,101,255	3.8	85.7	H29. 6. 1	5.49
30	7,127,839	0.1	6,186,958	1.4	86.8		
元	6,989,265	△ 1.9	6,040,027	△ 2.4	86.4		
2	6,932,576	△ 0.8	6,002,839	△ 0.6	86.6		
3	6,929,050	△ 0.1	6,043,832	0.7	87.2		
4	6,838,017	△ 1.3	6,006,027	△ 0.6	87.8		

⑫ 一般会計繰入金の推移

(単位：千円、%)

項目		年度	30 決算額 (対前年増減率)	元 決算額 (対前年増減率)	2 決算額 (対前年増減率)	3 決算額 (対前年増減率)	4 決算額 (対前年増減率)	備 考		
一般会計からの繰入金	営業 収 益	基準内繰入金	7,797 (△20.3)	6,520 (△16.4)	13,036 (99.9)	9,251 (△29.0)	9,894 (7.0)	消火栓維持管理費負担金	9,894	
		基準外繰入金	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)			
	営業外 収 益	基準内繰入金	172,865 (1.7)	187,712 (8.6)	190,931 (1.7)	184,666 (△3.3)	169,094 (△8.4)	児童手当 旧簡水建設改良(利息) 旧簡水建設改良(臨時措置分利息) 旧簡水建設改良(統合後実施分利息) 旧簡水高料金対策	8,192 30,565 3,720 152 126,465	
		基準外繰入金	90,574 (△42.5)	86,302 (△4.7)	73,270 (△15.1)	47,699 (△34.9)	44,284 (△7.2)	上水道化工事(利息) 衛星画像による漏水解析業務事業費 寄付金(企業版ふるさと納税) 旧簡水資産維持費	60 5,775 1,000 37,449	
	計 (A)		271,236 (△19.6)	280,534 (△3.4)	277,237 (△1.2)	241,616 (△12.8)	223,272 (△7.6)			
	資本 勘定繰入金	資本的 収 入	基準内繰入金	495,022 (27.9)	297,428 (△39.9)	397,732 (33.7)	207,125 (△47.9)	286,420 (38.3)	消火栓設置負担金 災害・安全対策事業 脱炭素化事業 旧簡水建設改良(元金) 旧簡水建設改良(臨時措置分元金)	10,767 91,356 4,510 167,006 12,781
		基準外繰入金	418 (2.7)	429 (2.6)	440 (2.6)	452 (2.7)	464 (2.7)	上水道化工事(元金)	464	
	計 (B)		495,440 (27.8)	297,857 (△39.9)	398,172 (33.7)	207,577 (△47.9)	286,884 (38.2)			
	繰 入 金 合 計 (C)		766,676 (5.7)	578,391 (△24.6)	675,409 (16.8)	449,193 (△33.5)	510,156 (13.6)			
	水道事業会計	収 益 的 収 入 (D)		7,184,039 (0.1)	7,074,746 (△1.5)	6,935,024 (△2.0)	6,946,734 (0.2)	6,838,017 (△1.6)		
資 本 的 収 入 (E)		2,372,064 (△11.8)	1,869,411 (△21.2)	2,380,486 (27.3)	2,177,365 (△8.5)	1,912,909 (△12.1)				
収 入 合 計 (F)		9,556,103 (△3.1)	8,944,157 (△6.4)	9,315,510 (4.2)	9,124,099 (△2.1)	8,750,926 (△4.1)				
繰 入 率	収益的収入に対する率 (A/D)		3.8	4.0	4.0	3.5	3.3			
	資本的収入に対する率 (B/E)		20.9	15.9	16.7	9.5	15.0			
	総収入に対する率 (C/F)		8.0	6.5	7.3	4.9	5.8			

(注) 総務省「地方公営企業決算の状況」による区分

⑬ 企業債の状況

1) 現況

(単位：円、件、%)

項目	区分	企 業 債		前年度末 未償還高	当年度発行額	当年度償還額	当年度末未償還高	
		発行総額	件数				現 在 高	構成比
1. 政府資金	財務省理財局	17,125,200,000	76	6,513,154,594	0	789,087,540	5,724,067,054	18.8
		17,125,200,000	76	6,513,154,594	0	789,087,540	5,724,067,054	18.8
2. 機構資金	地方公共団体金融機構	33,156,200,000	115	24,199,608,964	1,447,900,000	943,699,038	24,703,809,926	81.2
		33,156,200,000	115	24,199,608,964	1,447,900,000	943,699,038	24,703,809,926	81.2
3. 民間資金	市中銀行等	116,300,000	4	16,489,495	0	7,372,536	9,116,959	0.0
		116,300,000	4	16,489,495	0	7,372,536	9,116,959	0.0
計		50,397,700,000	195	30,729,253,053	1,447,900,000	1,740,159,114	30,436,993,939	100.0

(注) 借換債を含む。  
企業債のうち、10件は当年度で償還終了となった。



## 2) 企業債の推移

(単位：円、%)

年度 項目		30		元		2		3		4	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
借 入	財務省 理財局	0	0.0	0	0.0	36,400,000	2.1	0	0.0	0	0.0
	地方公共団体 金融機構	1,709,200,000	100.0	1,472,900,000	100.0	1,739,100,000	97.9	1,877,400,000	100.0	1,447,900,000	100.0
	市中銀行等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	1,709,200,000	100.0	1,472,900,000	100.0	1,775,500,000	100.0	1,877,400,000	100.0	1,447,900,000	100.0
償 還	利息	516,445,410	22.7	485,544,618	21.8	452,154,380	20.9	422,874,253	19.8	398,075,260	18.6
	元金	1,760,482,205	77.3	1,740,591,220	78.2	1,715,960,161	79.1	1,708,337,812	80.2	1,740,159,114	81.4
	計	2,276,927,615	100.0	2,226,135,838	100.0	2,168,114,541	100.0	2,131,212,065	100.0	2,138,234,374	100.0
年度末未償還高		30,768,342,246	—	30,500,651,026	—	30,560,190,865	—	30,729,253,053	—	30,436,993,939	—

## 3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表

R 5. 3. 31現在 (単位: 件、円)

利 率 %	財務省理財局		地方公共団体金融機構		市中銀行等		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
0.001	0	0	1	2,014,111	0	0	1	2,014,111
0.040	2	36,400,000	0	0	0	0	2	36,400,000
0.100	1	6,535,012	0	0	0	0	1	6,535,012
0.200	0	0	1	50,400,000	0	0	1	50,400,000
0.250	0	0	1	858,737	0	0	1	858,737
0.300	0	0	1	2,082,874	0	0	1	2,082,874
0.400	0	0	1	67,400,000	0	0	1	67,400,000
0.500	0	0	10	6,587,450,764	0	0	10	6,587,450,764
0.600	2	14,421,796	8	3,683,552,559	0	0	10	3,697,974,355
0.689	0	0	0	0	2	5,746,304	2	5,746,304
0.700	0	0	5	1,830,596,278	0	0	5	1,830,596,278
0.900	3	133,045,891	2	9,138,355	0	0	5	142,184,246
0.950	0	0	1	1,789,444	0	0	1	1,789,444
0.989	0	0	0	0	2	3,370,655	2	3,370,655
1.000	0	0	1	4,526,907	0	0	1	4,526,907
1.200	1	6,848,108	4	1,546,518,327	0	0	5	1,553,366,435
1.300	0	0	6	1,598,478,072	0	0	6	1,598,478,072
1.350	0	0	1	2,262,126	0	0	1	2,262,126
1.400	0	0	5	1,639,233,986	0	0	5	1,639,233,986
1.500	0	0	5	1,424,817,984	0	0	5	1,424,817,984
1.600	3	364,327,070	0	0	0	0	3	364,327,070
1.650	0	0	1	187,969,325	0	0	1	187,969,325
1.700	2	339,631,463	4	1,642,946,326	0	0	6	1,982,577,789
1.900	5	1,061,491,123	11	1,529,056,984	0	0	16	2,590,548,107
2.000	15	1,548,009,042	5	501,083,794	0	0	20	2,049,092,836
2.050	0	0	2	363,692,087	0	0	2	363,692,087
2.100	14	1,526,851,757	17	1,561,071,212	0	0	31	3,087,922,969
2.150	0	0	4	104,172,830	0	0	4	104,172,830
2.200	3	59,662,360	6	223,544,123	0	0	9	283,206,483
2.300	1	16,477,738	1	12,125,791	0	0	2	28,603,529
2.600	3	222,107,946	0	0	0	0	3	222,107,946
2.700	1	16,928,286	0	0	0	0	1	16,928,286
2.850	0	0	1	53,368,424	0	0	1	53,368,424
2.900	0	0	1	21,387,259	0	0	1	21,387,259
3.150	2	70,516,321	0	0	0	0	2	70,516,321
3.200	0	0	2	26,762,953	0	0	2	26,762,953
3.250	0	0	2	25,508,294	0	0	2	25,508,294
3.400	3	168,737,973	0	0	0	0	3	168,737,973
3.650	1	2,375,611	0	0	0	0	1	2,375,611
3.850	2	59,565,254	0	0	0	0	2	59,565,254
4.200	1	8,763,931	0	0	0	0	1	8,763,931
4.300	3	50,787,045	0	0	0	0	3	50,787,045
4.600	1	2,482,608	0	0	0	0	1	2,482,608
4.650	2	8,100,719	0	0	0	0	2	8,100,719
計	71	5,724,067,054	110	24,703,809,926	4	9,116,959	185	30,436,993,939

## 4) 建設投資額に占める企業債比率の推移

(税込み) (単位: 千円、%)

項目 年度	建設投資額 ①		企業債 ②		建設投資額に占める 企業債の比率②/①
	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	
15	1,531,996	△ 26.3	733,800	△ 4.0	47.9
16	1,545,041	0.9	615,700	△ 16.1	39.9
17	1,738,114	12.5	953,600	54.9	54.9
18	2,370,164	36.4	1,428,600	49.8	60.3
19	1,656,953	△ 30.1	946,100	△ 33.8	57.1
20	2,350,054	41.8	1,450,000	53.3	61.7
21	2,626,223	11.8	1,883,000	29.9	71.7
22	2,332,251	△ 11.2	1,404,300	△ 25.4	60.2
23	3,061,313	31.3	2,061,200	46.8	67.3
24	2,875,320	△ 6.1	1,719,300	△ 16.6	59.8
25	3,069,221	6.7	1,900,600	10.5	61.9
26	3,414,017	11.2	1,727,600	△ 9.1	50.6
27	3,629,257	6.3	1,802,300	4.3	49.7
28	3,285,502	△ 9.5	1,660,300	△ 7.9	50.5
29	3,903,536	18.8	2,085,000	25.6	53.4
30	3,847,903	△ 1.4	1,709,200	△ 18.0	44.4
元	3,051,513	△ 20.7	1,472,900	△ 13.8	48.3
2	4,498,157	47.4	1,775,500	20.5	39.5
3	3,704,133	△ 17.7	1,877,400	5.7	50.7
4	4,600,886	24.2	1,447,900	△ 22.9	31.5

(注) 建設投資額＝建設改良費総額－受託建設費  
企業債に借換債を含まない。

⑭ 経営比較分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度基礎数値	
自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	57.04	58.16	59.10	59.19	59.70	$\frac{35,252,656 \text{千円} + 4,962,762 \text{千円} + 10,418,056 \text{千円}}{84,818,253 \text{千円}} \times 100$	
普及率 (%)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$	72.09	72.03	72.00	71.96	71.90	$\frac{263,563 \text{人}}{366,591 \text{人}} \times 100$	
経営の健全性・効率性	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	(112.62) 123.16	(113.35) 121.93	(112.36) 125.65	(112.26) 121.73	121.76	$\frac{6,838,017 \text{千円}}{5,615,994 \text{千円}} \times 100$
	累積欠損金比率 (%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	(0.75) 0.00	(0.51) 0.00	(0.29) 0.00	(0.25) 0.00	0.00	$\frac{0 \text{円}}{6,046,129 \text{千円}} \times 100$
	流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	(318.89) 417.38	(309.10) 513.12	(306.08) 569.62	(306.15) 529.39	467.04	$\frac{15,935,372 \text{千円}}{3,411,977 \text{千円}} \times 100$
	企業債残高対給水収益比率 (%)	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{給水収益}} \times 100$	(269.96) 497.31	(290.42) 504.98	(294.66) 509.10	(285.27) 508.44	506.77	$\frac{30,436,994 \text{千円}}{6,006,027 \text{千円}} \times 100$
健全性・効率性	料金回収率 (%)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	(105.35) 117.64	(106.11) 115.77	(103.75) 119.68	(105.30) 116.21	116.96	$\frac{6,006,027 \text{千円}}{5,135,276 \text{千円}} \times 100$
	給水原価 (円)	$\frac{\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	(161.82) 180.12	(161.03) 183.53	(159.93) 175.73	(162.77) 182.33	182.43	$\frac{5,135,276 \text{千円}}{28,149,496 \text{m}^3}$
	施設利用率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	(62.30) 55.74	(61.71) 54.96	(63.12) 55.21	(62.57) 55.24	47.43	$\frac{90,375 \text{m}^3}{190,548 \text{m}^3} \times 100$
	有収率 (%)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	(90.20) 86.96	(90.03) 85.63	(90.09) 85.82	(90.21) 85.73	85.34	$\frac{28,149,496 \text{m}^3}{32,986,969 \text{m}^3} \times 100$
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率 (%)	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却資産}} \times 100$	(48.86) 48.14	(49.60) 49.69	(50.31) 50.27	(50.74) 51.44	52.40	$\frac{65,752,305 \text{千円}}{125,469,925 \text{千円}} \times 100$
	管路経年化率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(18.51) 18.97	(20.49) 21.1	(21.34) 22.90	(23.27) 24.75	27.44	$\frac{681.33 \text{km}}{2,482.57 \text{km}} \times 100$
	管路更新率 (%)	$\frac{\text{当該年度に更新した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(0.70) 0.86	(0.72) 0.61	(0.69) 0.79	(0.69) 0.55	0.25	$\frac{6.30 \text{km}}{2,482.57 \text{km}} \times 100$

※普及率については、行政区域内に県営水道事業区域が存在するため、同事業区域を除いた給水区域内人口で算出すると99.83%になる。

(参考)

項目	算出方法	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度基礎数値	
耐震化の状況	管路の耐震管率 (%)	$\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	13.1	13.9	14.4	15.8	16.2	$\frac{401.43 \text{km}}{2,482.57 \text{km}} \times 100$
	基幹管路の耐震管率 (%)	$\frac{\text{基幹管路のうち耐震管延長}}{\text{基幹管路延長}} \times 100$	40.3	40.6	41.5	43.2	43.8	$\frac{156.43 \text{km}}{357.51 \text{km}} \times 100$

⑮ 経営分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度基礎数値
負荷率(%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	(89.7) 89.7	(90.9) 91.4	(88.2) 91.7	(91.5) 91.1	90.2	$\frac{90,375 \text{ m}^3}{100,139 \text{ m}^3} \times 100$
最大稼働率(%)	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	(69.5) 62.1	(67.9) 60.1	(71.6) 60.2	(68.4) 60.6	52.6	$\frac{100,139 \text{ m}^3}{190,548 \text{ m}^3} \times 100$
有効率(%)	$\frac{\text{年間総有効水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	90.0	89.3	89.6	88.9	88.2	$\frac{29,081,732 \text{ m}^3}{32,986,969 \text{ m}^3} \times 100$
配水管使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	(19.3) 13.7	(19.0) 13.5	(18.9) 13.5	(18.9) 13.4	13.3	$\frac{32,986,969 \text{ m}^3}{2,482,569 \text{ m}}$
配水管と給水人口 (人/km)	$\frac{\text{給水人口}}{\text{導送配水管延長}}$	(163.8) 110.3	(162.3) 109.4	(159.3) 108.5	(160.6) 107.4	106.2	$\frac{263,563 \text{ 人}}{2482.57 \text{ km}}$
供給単価 (円)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	(169.65) 211.90	(170.86) 212.48	(165.94) 210.31	(171.39) 211.89	213.36	$\frac{6,006,027,040 \text{ 円}}{28,149,496 \text{ m}^3}$
職員一人当たり	給水人口 (人)	(3,672) 3,266	(3,703) 3,245	(3,292) 2,850	(3,326) 2,830	2,804	$\frac{263,563 \text{ 人}}{94 \text{ 人}}$
	給水量 (m <sup>3</sup> )	(389,535) 351,785	(391,000) 342,487	(351,591) 303,647	(353,219) 303,444	299,463	$\frac{28,149,496 \text{ m}^3}{94 \text{ 人}}$
	営業収益 (千円)	(68,910) 75,025	(69,619) 73,218	(61,008) 64,452	(63,277) 64,693	64,321	$\frac{6,046,129 \text{ 千円}}{94 \text{ 人}}$
	有形固定資産 (千円)	(496,205) 581,844	(505,709) 586,751	(463,396) 539,394	(472,481) 553,171	560,594	$\frac{67,831,902 \text{ 千円}}{121 \text{ 人}}$

※職員数については、令和2年度から会計年度任用職員を含める。

⑯ 財務分析

(注) ( )内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項目	算出方法	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度基礎数値 (単位：千円)
固定資産 構成比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	(87.4) 82.2	(87.5) 81.7	(87.6) 81.8	(87.7) 80.8	81.2	$\frac{68,882,881}{68,882,881 + 15,935,372 + 0} \times 100$
固定負債 構成比率(%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	(27.1) 38.7	(26.2) 38.3	(25.6) 37.7	(25.1) 37.2	36.3	$\frac{30,772,802}{84,818,253} \times 100$
固定資産対 長期資本比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	(91.0) 85.8	(91.2) 84.7	(91.3) 84.5	(90.7) 83.9	84.6	$\frac{68,882,881}{35,252,656 + 4,962,762 + 30,772,802 + 10,418,056} \times 100$
固定比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	(125.8) 144.0	(125.5) 140.4	(124.6) 138.4	(122.5) 136.5	136.0	$\frac{68,882,881}{35,252,656 + 4,962,762 + 10,418,056} \times 100$
当座比率(%)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	(302.5) 416.4	(293.7) 511.8	(290.2) 567.0	(290.5) 528.3	466.1	$\frac{15,229,677 + 672,528}{3,411,977} \times 100$
現金比率(%)	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	(270.9) 398.6	(261.6) 492.3	(258.8) 542.3	(260.0) 510.0	446.4	$\frac{15,229,677}{3,411,977} \times 100$
総収支比率(%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	(112.7) 123.0	(113.1) 121.5	(112.6) 125.7	(112.2) 121.3	121.8	$\frac{6,838,017}{5,615,994} \times 100$
営業収支比率(%)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	(104.2) 118.3	(104.9) 116.3	(102.2) 120.0	(103.3) 115.6	116.1	$\frac{6,046,129 - 0}{5,208,149 - 0} \times 100$
利子負担率(%)	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金等} + \text{固定負債}(\text{企業債}) + \text{流動負債}(\text{企業債})} \times 100$	(1.8) 1.7	(1.7) 1.6	(1.5) 1.5	(1.4) 1.4	1.3	$\frac{398,075}{0 + 28,691,995 + 1,744,999} \times 100$
企業債償還元金対 減価償却額比率(%)	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	(72.7) 76.6	(72.0) 75.0	(72.8) 74.8	(72.4) 72.2	76.0	$\frac{1,740,159}{2,769,538 - 480,718} \times 100$
企業債利息対 料金収入比率(%)	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	(5.2) 8.3	(4.8) 8.0	(4.5) 7.5	(4.0) 7.0	6.6	$\frac{398,075}{6,006,027} \times 100$
企業債元利償還元 対料金収入比率(%)	$\frac{\text{企業債元利償還元}}{\text{料金収入}} \times 100$	(25.5) 36.8	(25.1) 36.9	(25.7) 36.1	(25.1) 35.3	35.6	$\frac{2,138,234}{6,006,027} \times 100$

## (2) 水道料金

### ① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）

区分 用途	年度	給水件数		有収水量		調定金額		備考	
		件数(件)	対前年比(%)	水量(m <sup>3</sup> )	対前年比(%)	料金(円)	対前年比(%)	供給単価(円)	対前年比(%)
一般家事用	30	124,034	100.1	21,114,251	99.4	4,164,362,639	101.5	197.23	102.1
	元	124,321	100.2	20,724,415	98.2	4,106,027,287	98.6	198.13	100.5
	2	125,443	100.9	21,494,008	103.7	4,220,982,571	102.8	196.38	99.1
	3	126,709	101.0	21,205,283	98.7	4,193,769,564	99.4	197.77	100.7
	4	127,088	100.3	20,802,999	98.1	4,147,377,209	98.9	199.36	100.8
業務用	30	10,418	99.9	8,034,875	100.9	2,005,272,833	101.5	249.57	100.6
	元	10,304	98.9	7,656,662	95.3	1,917,537,772	95.6	250.44	100.3
	2	10,294	99.9	7,000,320	91.4	1,764,285,006	92.0	252.03	100.6
	3	10,219	99.3	7,267,701	103.8	1,831,530,575	103.8	252.01	100.0
	4	10,249	100.3	7,291,232	100.3	1,839,142,237	100.4	252.24	100.1
公衆浴場用	30	10	90.9	23,840	74.0	1,323,510	77.6	55.52	104.9
	元	10	100.0	21,216	89.0	1,203,828	91.0	56.74	102.2
	2	10	100.0	20,599	97.1	1,177,379	97.8	57.16	100.7
	3	10	100.0	19,467	94.5	1,129,832	96.0	58.04	101.5
	4	10	100.0	17,996	92.4	1,068,051	94.5	59.35	102.3
別荘地用	30	298	97.4	25,181	91.9	15,998,826	83.1	635.35	90.4
	元	283	95.0	24,088	95.7	15,258,365	95.4	633.44	99.7
	2	279	98.6	27,899	115.8	16,394,198	107.4	587.63	92.8
	3	272	97.5	31,278	112.1	17,401,601	106.1	556.35	94.7
	4	267	98.2	37,269	119.2	18,439,543	106.0	494.77	88.9
合計	30	134,760	100.1	29,198,147	99.8	6,186,957,808	101.4	211.90	101.7
	元	134,918	100.1	28,426,381	97.4	6,040,027,252	97.6	212.47	100.3
	2	136,026	100.8	28,542,826	100.4	6,002,839,154	99.4	210.31	99.0
	3	137,210	100.9	28,523,729	99.9	6,043,831,572	100.7	211.89	100.8
	4	137,614	100.3	28,149,496	98.7	6,006,027,040	99.4	213.36	100.7

注) 件数は年度末の給水件数

② 1戸当たり1カ月平均使用水量及び水道料金（税込み）

（単位：m<sup>3</sup>・円）

年 度	一 般 家 事 用		業 務 用		公 衆 浴 場 用		別 荘 地 用		平 均	
	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金
30	14.3	3,035	63.1	17,015	192.3	11,527	5.8	3,968	18.1	4,141
元	13.9	3,002	60.6	16,498	176.8	10,900	5.7	3,915	17.6	4,059
2	14.4	3,108	55.6	15,417	171.7	10,793	6.7	4,345	17.6	4,066
3	14.1	3,062	58.1	16,108	162.2	10,357	7.5	4,560	17.4	4,064
4	13.7	3,006	58.5	16,222	150.0	9,790	8.9	4,857	17.1	4,012

注) (1) 1カ月の使用水量 =  $\frac{\text{総使用水量}}{\text{調定延件数}} \div 2$ （小数点第2位四捨五入）

(2) 1カ月の料金 =  $\frac{\text{総水道料金}}{\text{調定延件数}} \div 2$ （円未満の端数は四捨五入）

③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）

（単位：件・％）

年 度	項 目	納 付 制		口 座 振 替 制		計	
		件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比
30		32,223	23.9	102,327	76.1	134,550	100.0
元		33,041	24.5	101,604	75.5	134,645	100.0
2		33,403	24.7	101,953	75.3	135,356	100.0
3		34,012	25.0	102,280	75.0	136,292	100.0
4		34,685	27.5	91,600	72.5	126,285	100.0

注) (1) 年間の平均値で掲載。

(2) 口座振替制については領収書は交付しない。但し、振替後の検針時に配布している。

『使用水量のお知らせ』に「上・下水道料金振替済のお知らせ」として記載している。

④ 水道料金収納状況（税込み）

（R5. 3. 31現在）（単位：件・円・％）

年 度	調 定		収 入		未 収		収納率（金額比）	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	R5. 3月末	各年度の翌年度5月末
2	811,953	6,603,123,069	811,246	6,598,330,258	707	4,792,811	99.93	99.97
3	818,009	6,648,214,743	817,158	6,642,549,106	851	5,665,637	99.91	99.92
4	823,342	6,606,629,762	746,496	6,053,723,623	76,846	552,906,139	91.63	99.58

⑤ 検針件数（隔月検針）

（単位：件）

年 度	上水道メーター	井戸メーター	減算メーター	合 計	3月の検針員数 (人)	検針員1人当りの 1ヶ月平均検針数
28	152,213	813	25	153,051	62	1,241
29	153,438	800	31	154,269	62	1,248
30	154,293	788	31	155,112	61	1,272
元	155,447	773	19	156,239	61	1,281
2	156,201	748	25	156,974	64	1,225
3	157,074	742	23	157,839	59	1,337
4	157,775	732	22	158,529	59	1,343

※ 件数は年度末の件数（2月、3月の合計）

※ 篠ノ井・川中島・更北地区は県企業局委託法人で検針（本表に含まない）

※ 井戸メーター・減算メーターは、地区にかかわらず全て市上下水道局委託法人で検針

※ 集合住宅：754棟 19,862件（市給水地区内、集中検針対象件数 R5. 3月現在）

⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）

（単位：件・m<sup>3</sup>・円）

年度	件 数			料 金 水 量			水 道 料 金		
	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計
2	777,333	34,620	811,953	27,601,183	941,643	28,542,826	6,371,177,933	231,945,136	6,603,123,069
3	783,745	34,264	818,009	27,604,437	919,292	28,523,729	6,420,888,213	227,326,530	6,648,214,743
4	789,482	33,860	823,342	27,224,970	924,526	28,149,496	6,376,863,344	229,766,418	6,606,629,762



⑦ 水道料金表

(1カ月につき)

用途	メーターの口径 (ミリメートル)	基本料金		水量料金		
		使用水量	料金 (円)	使用水量 (立方メートル)	料金 (円)	
一般用	13		1,199	1～10	1立方メートルにつき 68.2	
	20		1,650	11～20		174.9
	25		2,112	21～30		189.2
	30		2,552	31～50		215.6
				51～100		250.8
				101以上		269.5
		40		4,367	1～50	204.6
		50		8,602	51～100	265.1
		75		17,776	101以上	269.5
		100		33,440		
		150		86,636		
		200		171,732		
		350		697,719		
公衆浴場用	13		1,023	1～1,200 1,201以上	46.2 103.4	
	20		1,408			
	25		1,793			
	30		2,167			
	40		3,674			
	50		7,238			
別荘用	飯綱高原地区 以外の地区	10立方メートルまで	3,905	11～20	203.5	
				21～40	231	
				41～100	264	
				101以上	297	
		10立方メートルまで	2,255	11以上	192.5	

注) 水道料金は上記表に基づき算出した基本料金と水量料金の合算額とする。(円未満切り捨て)

総額表示(税込み)

平成25年6月1日施行 改定率 平均7.86%

平成26年4月1日施行 (消費税5%→8%に伴う改定)

平成29年6月1日施行 改定率 平均5.49%

令和元年10月1日施行 (消費税8%→10%に伴う改定)

(参考) 県営水道料金表

(1カ月につき)

メーターの口径	基本水量	料金	超過料金
13 ミリメートル	10立方メートルまで	1,413円	基本水量を超える1立方メートルについて 190円
20	20	3,313	
25	25	4,263	
30	40	7,113	
40	60	10,913	
50	100	18,513	
75	200	37,513	
100	300	56,513	
125	400	75,513	
150	600	113,513	
200	1,000	189,513	

メーター口径20ミリメートルで基本水量に満たない場合

使用水量	料金
10立方メートル以下	2,373
10立方メートルを超え15立方メートル以下	2,843

### (3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）

#### ① 概 要

- 1) 根拠条例 長野市上下水道事業経営審議会条例（平成6年長野市条例第19号）  
（平成19年4月1日に長野市水道料金等審議会条例を改正し施行）
- 2) 設置目的 水道事業及び下水道事業の経営に関し、必要な事項を審議するため。
- 3) 任 務 上下水道事業管理者の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査及び審議する。
  - ・水道事業及び下水道事業の経営に関する重要な事項
  - ・水道料金及び下水道使用料に関すること
  - ・その他上下水道事業管理者が必要と認める事項
- 4) 構 成 委員20人以内で組織し、任期3年
- 5) 委 員（令和5年3月31日現在）

氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 等		備 考
山 沖 義 和	国立大学法人信州大学	教授	会 長
伊 藤 隆 三	長野商工会議所	副会頭	副 会 長
山 本 恭 子	長野県弁護士会	会員	
竹 内 健 司	国立大学法人信州大学	准教授	
野 口 暢 子	長野県立大学	グローバルマネジメント学部講師	
吉 村 侑 祐	日本公認会計士協会東京会長長野県会	幹事	
北 沢 陽二郎	長野市公衆浴場組合	組合長	
伊 藤 秀 樹	長野市ホテル旅館協同組合	常務理事	
三 浦 和 幸	長野県クリーニング生活衛生同業組合	理事	
傳 田 かお里	長野県豆腐商工業協同組合	組合員	
柳 原 静 子	長野市地域女性ネットワーク	会長	
坂 口 まき子	長野市食生活改善推進協議会	理事	
中 村 志保美	信州新町味噌製造加工グループ	会員	
川 浦 俊 樹	長野市建設業協会	副会長	
坂 井 有 一	公募委員		
宮 澤 弘 明	公募委員		
池 田 雅 次	公募委員		

敬称略、順不同

② 開催状況

回	期 日	場 所	主 な 審 議 内 容
1	6月22日(水)	東部浄化センター 1階会議室	(1) 今年度の審議会スケジュール (2) 水道及び下水道事業の概要 (3) 水道事業の広域化
2	7月29日(金)	東部浄化センター 1階会議室	(1) 諮問（下水道使用料等について） (2) 過去の答申経過 (3) 令和3年度決算の概要 (4) 水道・下水道事業の経営戦略の進捗状況 (5) 下水道事業経営戦略の見直し方針 (6) 下水道使用料等について
3	9月30日(金)	東部浄化センター 1階会議室	(1) 公営企業会計のしくみ (2) 下水道事業経営戦略の見直し (3) 今後50年間の経営見直し (4) 下水道使用料等について
4	10月31日(月)	東部浄化センター 1階会議室	(1) 下水道事業経営戦略の見直し (2) 下水道使用料等の見直しについて (3) 水道事業広域化検討の取組み状況
5	12月16日(金)	第 二 庁 舎 10階講堂	(1) 今後50年間の経営見直しの見直し (2) 下水道使用料等（答申案）について (3) 答申（下水道使用料等について） (4) 下水道事業経営戦略の見直し（案）について (5) 下水道事業経営戦略（案）に係る市民意見の募集
6	3月22日(水)	東部浄化センター 1階会議室	(1) 下水道事業経営戦略（案）の市民意見結果報告及び最終案 (2) 水道事業広域化の検討状況報告及び今後の予定 (3) 川合新田水源の地下水調査

③ 過去の答申内容（長野市水道料金等審議会時を含む）

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
S47. 1. 22	S47. 3. 13 7回開催	(1) S47～50年度の資金不足額2,644,537千円を解消するため、料金改定の必要を認める。 (2) 改定は隔年とし、S47年度約70%、S49年度約19%が妥当 ○附帯意見 ① 業務用中、官公署の料金は、20%程度の増額が適当。この増収分は、一般家事用等の調整財源とし、上げ幅の抑えを配慮のこと。
S48. 5. 17 飯綱高原別荘地区の料金について諮問	S48. 6. 6 4回開催	(1) 飯綱別荘地区は、S43年に設定されたままであること、利用が季節的であること等の特殊性により、一般料金と適切な格差をもって設定されることが望ましく、経営比率を基本として算定した料金が妥当である。 (2) 改定は約214%とし、永住者及びこれに準ずる者を除き個々適用とする。 ○附帯意見 ① 料金体系、業種別については、S49年度一般料金の改定と併せて配慮のこと。
S49. 12. 24	S50. 2. 21 6回開催	(1) S49年度からの6期拡張等の計画実施のために生ずる資金不足額 1,794,607千円を解消するため、改定の必要を認める。

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		<p>(2) S50年度に75.1%の値上げを必要とするが、一時にこれを実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S50年度50%、S51年度33%が適当</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 私立福祉施設（保育、幼稚園含む）、地区公民館、集会所、公衆浴場等については、別に考慮</p> <p>② 一層の企業努力でS51年度の値上げを極力抑えること。</p> <p>③ 答申を尊重のこと。</p>
S50.12.25	S51. 2. 9 5回開催	<p>(1) 当局の企業努力等もあり、S51年度約27.2%の値上げは適当と認める。ただし、条例第24条第2項の条項は、廃止のこと。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 一層の企業努力によりS52年度値上げを極力抑えること。</p>
S55. 7. 25	S55. 8.27 7回開催	<p>(1) S49年度からの6期拡張計画等の実施のために生ずる資金不足額3,104,091千円を解消するため、改定の必要を認める。</p> <p>(2) 料金体系は、基本料金に口径別の考えを取り入れ、従量料金は、現行の体系による併用型を採用することが適当。</p> <p>(3) S55年度53.1%の値上げを必要とするが、一時に実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S55年度（11月から）約38%、S57年度約26.1%の値上げが適当。</p>
S56.12.24	S57. 2.13 7回開催	<p>(1) 当局の企業努力等もありS57年度総体平均20.06%（一般分平均20.25%、別荘地特別分5.36%）の値上げが適当と認める。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 業務用料金については、将来生活関連企業の料金を抑える一方、大口使用者の料金通増制についても検討すること。</p> <p>② 別荘地料金については、今後極力料金を抑えるよう努力すること。</p> <p>③ 今後の改定に当たっては、一時に大幅な値上げを行わず、小差改定に努めること。</p> <p>④ 私立福祉施設（保育園及び幼稚園含む。）及び公衆浴場等については、別に考慮すること。</p>
S62.11.27	S63. 1.22 3回開催	<p>(1) 安定した給水体制を確保するための施設整備等に必要な資金のため、S63年度平均11.5%の引き上げは、やむを得ないものと認める。</p> <p>なお、別荘料金については、据置きを認める。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 現行の料金体系（口径別及び用途別の併用型料金体系）のうち用途別による料金格差の緩和を図るため、一般家事用への影響を考慮の上、全国的に採用の多い口径別料金体系への逐次移行について、今後検討を進めること。</p> <p>なお、公衆浴場の料金体系については、今後とも別途配慮すること。</p> <p>② 水道事業の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げ率の抑制に努めること。</p> <p>③ 市民サービスの向上については、水道事業運営の基本に据え、各種施策を進めること。</p>
H元. 2.28	H元. 2.28 1回開催	<p>(1) 安定した健全経営を維持するため、平成元年4月1日からの3%の引上げは、やむを得ないものと認める。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 水道料金等に消費税が導入されることについて、委員の一部に反対の意見もあった。</p> <p>② 水道の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げの抑制に努めること。</p>

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		<p>③ 水道料金等に10円未満の端数が生じたときは、納入の利便を図るため、当該金額を切り捨てるものとする。</p> <p>④ 水道料金等に消費税が導入されることに伴う料金改定について、市民に十分理解が得られるような措置を講ずる必要がある。</p>
H 6 . 10 . 3	H 7 . 1 . 18 4 回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成7年度から平成9年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 料金体系については、次のとおりとする。</p> <p>① 一般家事用及び業務用の用途区分を廃止し、口径別料金体系に改める。</p> <p>② 別荘地用及び共用栓用以外の基本料金に係る使用水量を廃止する。</p> <p>③ 「超過料金」の名称を「水量料金」に改める。</p> <p>④ 一般用及び公衆浴場用の水量料金に係る使用水量区分を改める。</p> <p>(3) 水道料金を平均8.62%引き上げる。</p> <p>(4) 改定後の料金は、平成7年5月1日使用分から適用するものとする。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 大口使用者と小口使用者との料金格差を縮小するよう努めること。</p> <p>② 物価上昇や水道財政を考慮し、概ね3年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅改定を避けるように努めること。</p> <p>③ 公営企業の経営原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。</p> <p>④ 料金改定について住民の理解を深めるよう、PR等に努めること。</p> <p>⑤ 限りある水資源を無駄なく大切に使うこと等の必要性についてPR活動を強化すること。</p>
(H 9 . 10 . 7)	(H 9 . 10 . 7)	水道料金等審議会を開催し、平成10年度から平成12年度までの3か年を料金算定期間とした経営状況を報告し、水道料金を据え置きとした。(諮問なし)
H13. 1.30	H13. 1.30 1 回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成13年度から平成15年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p>
H15. 11. 5	H15.12.25 3 回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成16年度から平成18年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p>
H18. 6.26	H18.11.24 3 回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成19年度から平成21年度までの3か年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p> <p>○附帯意見</p> <p>現状の逦増料金体系において一部に不公平感が生じており、累進度の緩和を含め料金体系の在り方についての検討が必要である。</p>
H21.11. 6	H22. 1. 7 4 回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成22年度から平成24年度までの3年間とする。</p> <p>(2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.5パーセントとする。</p> <p>(3) 水道料金を平均9.73パーセント引き上げる。</p> <p>(4) 改定後の料金は、平成22年6月1日使用分から適用するものとする。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 公営企業として独立採算の原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。</p> <p>② 経済情勢や水道経営状況に鑑み、概ね3年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅な改定を避けるよう努めること。</p> <p>③ 料金改定について、水道使用者に周知するとともに、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行い、事業に対する理解が更に深まるよう努めること。</p> <p>④ 料金体系における累進度の緩和については、使用者間の負担の公平性を高め、大口使用者の需要を促すため、今後も引続き緩和に努めること。</p> <p>※市議会建設企業委員会からの意見により、平均7.71%の引き上げとした。</p>

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
H24. 8.27	H25. 1. 9 7回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成25年度から平成28年度までの4年間とする。</p> <p>(2) 上記の期間における資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.0パーセントとする。</p> <p>(3) 水道料金を平均7.86パーセント引き上げる。</p> <p>(4) 改定後の料金は、平成25年6月1日使用分から適用するものとする。</p> <p>(5) 共用給水装置による料金種別を廃止する。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 業務の見直しを積極的に推進し、一層のコスト削減を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。</p> <p>② 今後の水道料金及び下水道使用料の見直しについては、利用者負担を勘案し、概ね5年以内とすること。</p> <p>③ 料金改定について利用者に周知するとともに、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。</p> <p>④ 水需要の変化や負担の公平性の観点から、逦増制料金及び別荘用料金のあり方について検討すること。</p>
H28. 7.27	H29. 1.17 7回開催	<p>(1) 料金算定期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間とする。</p> <p>(2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率を年0.50パーセントとする。</p> <p>(3) 基本料金を改定し、水道料金に占める基本料金の構成割合を36パーセントとする。</p> <p>(4) 水道料金を平均5.49パーセント引き上げる。</p> <p>(5) 公衆浴場用水道料金については、公衆浴場の経営実態を勘案し、現行料金を据え置きとする。</p> <p>(6) 別荘用水道料金のうち飯綱高原地区については、現行料金を据え置きとし、それ以外の地区については、一般用料金改定の例により引き上げるものとする。</p> <p>(7) 改定後の料金は、平成29年6月1日使用分からの適用とする。</p> <p>(8) 別荘用下水道については、使用しない場合であっても基本料金を納付することとしているが、一般用下水道と同様に、使用中止を認める取扱とすることが適当である。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 水道事業経営戦略に基づき、より一層の経営効率化を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。</p> <p>② 今後の給水人口減少を見据え、将来世代の負担を軽減するため、企業債借入額の抑制を図るよう努めること。</p> <p>③ 今回作成した経営見通しの事後検証を実施し、安定的な事業運営が見込めない場合には、必要に応じて水道料金の見直しを行うこと。</p> <p>④ 利用者への料金改定の周知に当たっては、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の施設更新計画及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。</p>
R 3. 7.29	R 3.12.21 6回開催	<p>(1) 料金算定期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間とする。</p> <p>(2) 水道料金は、据え置きとする。</p> <p>○附帯意見</p> <p>① 長野市水道事業経営戦略に基づき、より一層の経営効率化と経費削減を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。</p> <p>② 将来世代の負担を軽減するため、借入金利の動向も勘案しながら、企業債借入額の抑制に努めること。</p> <p>③ 今回作成した経営見通しの事後検証を実施し、定期的に水道料金の見直しを行うこと。</p>

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		④ 人口減少社会においても持続可能な水道事業経営とするため、基盤強化に向けた広域化、広域連携について引き続き検討を進めること。

令和2年度は水道料金見直し年であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活への影響や水需要への影響が見通せないこと、審議会における十分な審議時間の確保が困難であることが見込まれることから、水道料金見直しを令和3年度に先送りすることとした。

なお、次回、令和6年度の見直しはそのままとする。

## (4) 主な委託業務（主として100万円以上）

(単位：円)

区 分	委 託 業 務 内 容	委 託 料	備 考
浄 水 関 係	犀川・夏目ヶ原浄水場等運転管理業務	211,833,600	
	機械点検業務	66,435,600	
	乾燥汚泥搬出業務	29,347,565	数量単価契約
	旧簡易水道地区水質検査	13,731,652	
	給水栓水毎日検査・採水業務	5,918,176	
	沈砂池浚渫・清掃業務	825,000	
	戸隠浄水場膜ろ過設備保守点検委託	29,260,000	北部 浄水費分
	戸隠水源導水管災害復旧業務委託	2,191,530	北部 原水費分
	日名水源撤去基本設計業務委託	4,840,000	西部 原水費分
	信州新町穂刈浄水場ほか流量計保守点検業務委託	1,980,000	西部
	中条三ヶ野浄水場保守点検業務委託	12,595,000	西部
	大岡地区ほか水質計器保守点検業務委託	1,397,000	西部 浄水費分
		2,574,000	西部 原水費分
信州新町南部浄水場ほか膜ろ過装置保守点検業務委託	2,145,000	西部	
配 水 ・ 給 水 関 係	公道分修繕業務	121,286,000	
	機械点検業務	17,693,500	
	漏水調査業務	13,788,500	
	配水池等清掃業務	5,313,000	
	維持管理道路除雪業務	3,373,945	
料 金 関 係	検針・料金徴収業務	137,572,460	
	水道料金システム処理業務	9,898,278	
	コンビニ収納業務	6,524,640	数量単価契約
そ の 他	宿日直業務	31,803,508	
	施設草刈・剪定・伐採業務	16,606,500	
	水道GIS整備・更新業務等	5,500,000	
	長野市上下水道局広報紙配布業務	2,717,000	
	財務会計システム運用支援業務	1,468,500	
	公営企業会計システム構築業務委託	18,590,000	
	財務会計システム移行データ抽出業務委託	1,529,880	
	現場用モバイルワークPC導入・運用支援業務委託	2,971,564	